



# パワーポイント講座 基礎編 (一部応用編を含む) 電子テキスト(PDF 版)

(PowerPoint2010)

© 2014 Sakura  
2014/06/06



.....ふるさと福井の豆知識.....

- ・ふるさとの日 2月7日
- ・県の花 水仙
- ・県の鳥 つぐみ
- ・県の木 松
- ・県の魚 越前がに

## はじめに

パワーポイントの基本操作、画像・図の挿入、アニメーション技法(アニメーションの設定・効果の設定)等、作って・見て・楽しめる魅力的なスライド作成テクニックの基礎を学びます。

本テキストは、PowerPoint の基本事項と応用技法を学べるように、オリジナル作品の作り方について操作方法・手順を分かりやすくキャプチャー画像入りで解説、丹精をこめて作成しています。ぜひ、新しい作品づくりの参考テキストとしてご活用ください。

本講座での学習が、パワーポイントの多彩な機能を使って、楽しい作品づくりへの「学びの道しるべ」になれば幸いです。

なお、教材については地球環境を守るためペーパーレス化、電子テキスト(PDF 版)での配布としています。

電子テキスト(PDF 版)をプリンターで印刷してお使いになるときは、第13章「印刷」を参照してください。

本テキストは、個人使用・営利目的に関わらずテキストの二次配布はご遠慮ください。

2014 年 6 月 6 日  
Sakura

# 目次

(基礎編)

## はじめに

### 第1章 PowerPoint の概要 ..... 1

1. PowerPoint の起動
2. PowerPoint の画面構成

### 第2章 スライドの作成(オリジナルレイアウトの作成) ..... 2

1. スライドマスターの向き設定
2. マスタータイトルの書式設定
3. テキスト(表紙)のプレースホルダー
4. 図「1面配置」のプレースホルダー編集
5. 図「2面配置」のプレースホルダー編集
6. 図「4面配置」のプレースホルダー編集
7. 図「裏表紙」のプレースホルダー編集
8. 背景のスタイル設定

### 第3章 スライドの作成 ..... 10

1. 表示を「スライドマスター」から「標準」に切り替え
2. スライドのレイアウトに「テキスト」、「図」を追加する(完成図)
3. スライドごとの編集
  - (1) 1枚目のスライド編集
  - (2) 2枚目のスライド編集
  - (3) 3枚目のスライド編集
  - (4) 4枚目のスライド編集
  - (5) 5枚目のスライド編集
4. 作成したスライドの確認
5. アウトラインでのテキスト一覧確認

### 第4章 画面切り替えの設定 ..... 18

1. 画面切り替えの設定

### 第5章 アニメーションの設定 ..... 19

1. 1枚目のスライドのアニメーション
2. 2枚目のスライドのアニメーション
3. 3枚目のスライドのアニメーション
4. 4枚目のスライドのアニメーション
5. 5枚目のスライドのアニメーション
6. ユーザ設定のアニメーション

<b>第6章 スライドショー</b> .....	<b>33</b>
1. 作成したスライドをスライドショーで確認	
<b>第7章 オーディオファイルの挿入</b> .....	<b>34</b>
1. 1枚目のスライドにオーディオの挿入	
2. 画面切り替えの設定	
<b>第8章 スライドショー</b> .....	<b>39</b>
1. スライドショーの実行	
<b>第9章 アニメーションのタイムライン(復習)</b> .....	<b>40</b>
1. 1枚目スライドのタイムライン	
2. 2枚目スライドのタイムライン	
3. 3枚目スライドのタイムライン	
4. 4枚目スライドのタイムライン	
5. 5枚目スライドのタイムライン	
<b>第10章 メディアの挿入と設定(復習)</b> .....	<b>45</b>
1. オーディオファイルの挿入	
2. 再生オーディオの設定	
<b>第11章 プレゼンテーションの自動切り替え</b> .....	<b>47</b>
1. プレゼンテーションの自動切り替えの設定	
2. スライドショーの設定	
<b>第12章 ファイル・メディアへの保存</b> .....	<b>49</b>
1. ファイルの保存	
2. メディア(USB メモリ)への保存	
3. メディア(USB メモリ)の安全な取り外し	
<b>第13章 印刷</b> .....	<b>52</b>
1. PDF テキストの印刷	
<b>第14章 パソコン用語の基礎知識</b> .....	<b>53</b>
1. ハードディスクドライブ(HDD)	
2. メモリ(memory)	
3. ダイアログボックス(dialogbox)	
4. ハンドル	
5. ビットとバイト	
6. 10進数と2進数	
7. クリップアートのハンドル	

## **第15章 Windows の歴史 ..... 54**

### **おわりに**

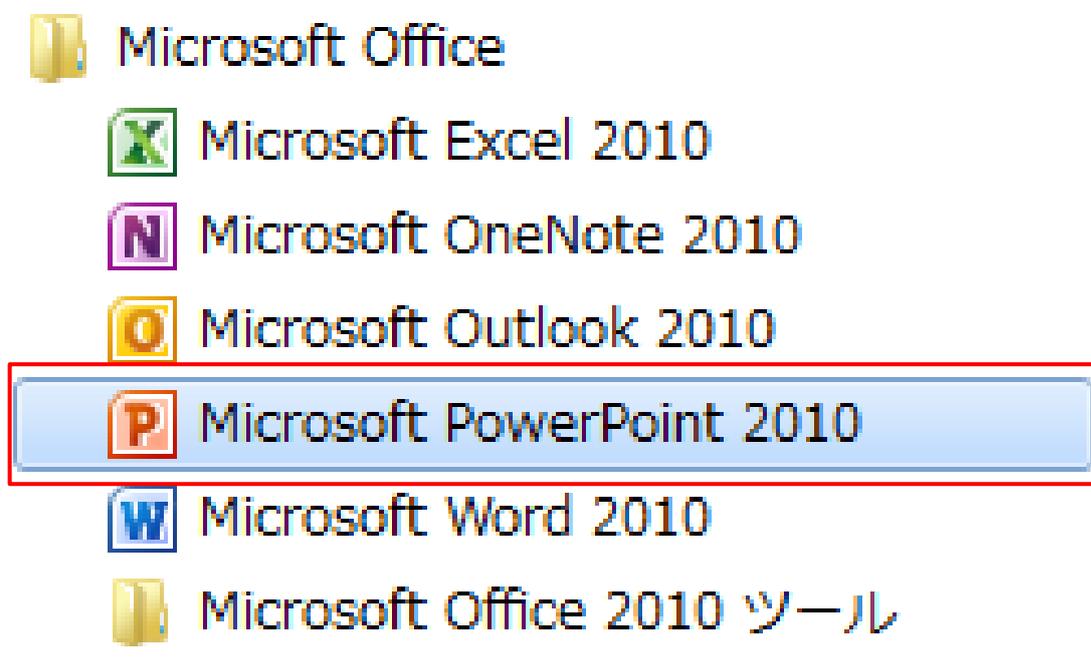
(応用編)

## **第16章 アニメーションの設定 ..... 56**

1. ユーザ設定パス
2. 図の挿入とユーザ設定パス
3. アニメーションの詳細設定
4. アニメーションの動作の確認
5. ユーザ設定アニメーションと図の重ね技法①
6. スライドショーの実行
7. 完成後のアニメーションのタイムライン
8. ユーザ設定アニメーションと図の重ね技法②
9. ユーザ設定アニメーション「サンプルスライドショー」

## 第1章 PowerPoint の概要

### 1. PowerPoint の起動

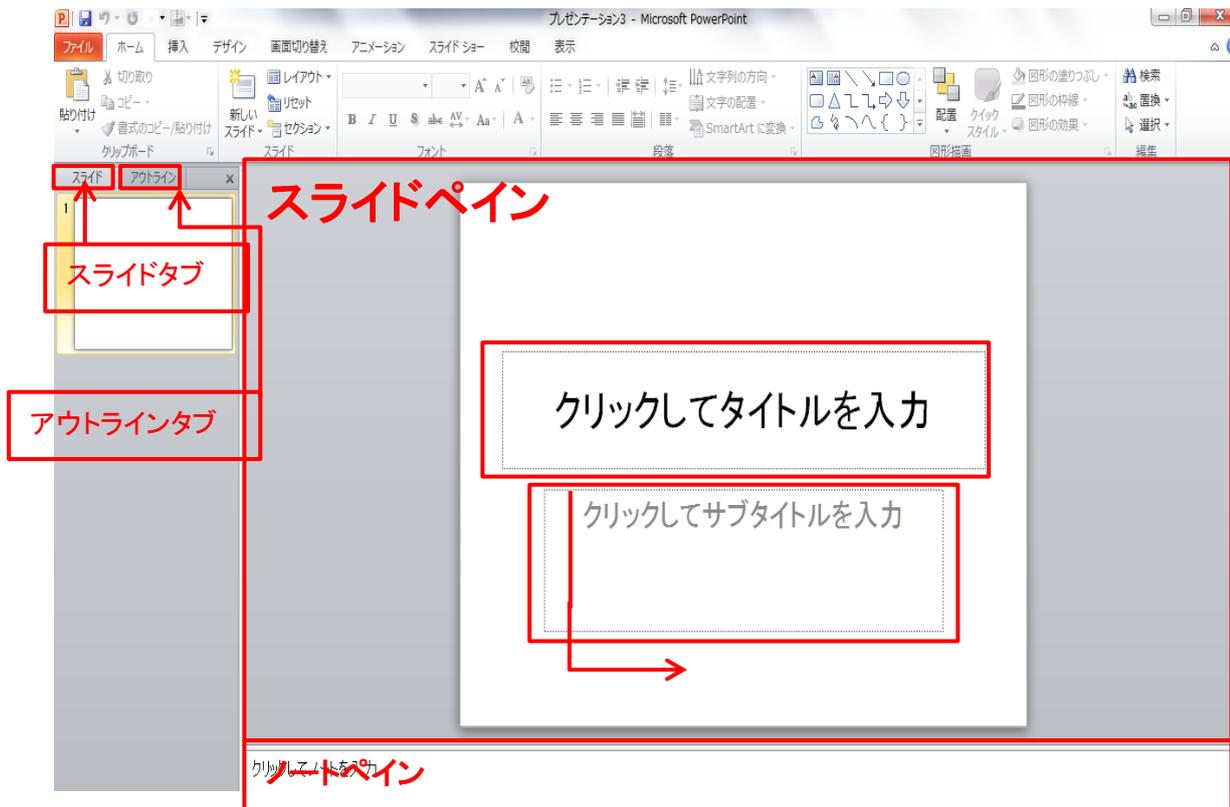


(1) 画面左下「スタート」から「すべてのプログラム」、表示された一覧から「Microsoft Office フォルダ」を開き「Microsoft PowerPoinnt2010」をクリックします。PowerPoint 画面が表示されます。

(メモ)

[目次へ戻る](#)

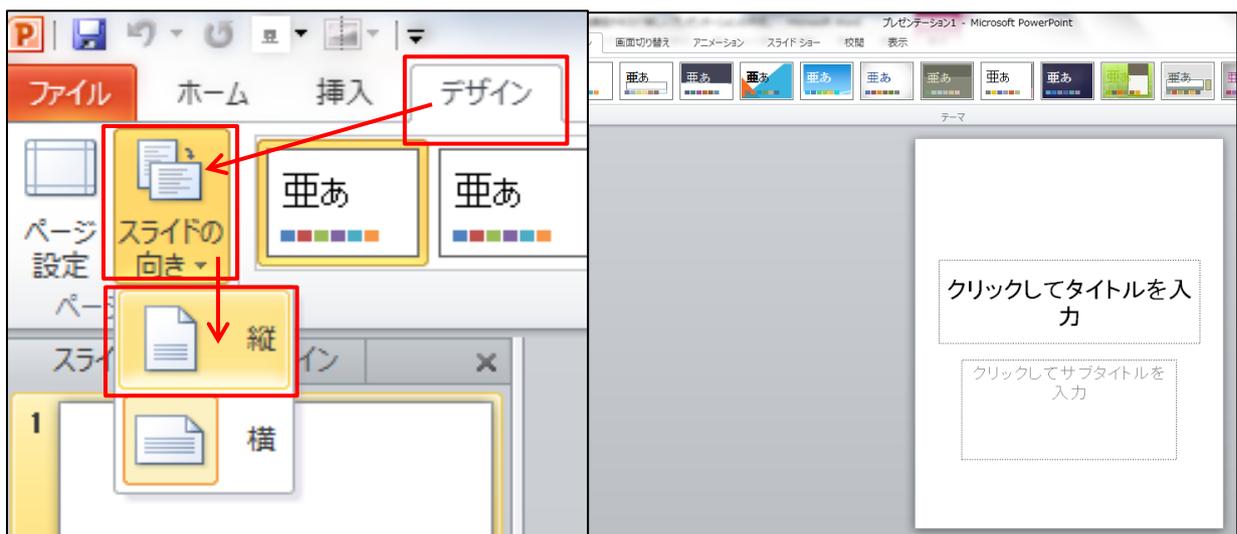
## 2. PowerPoint 画面構成



### 第2章 スライドの作成(オリジナルレイアウトの作成)

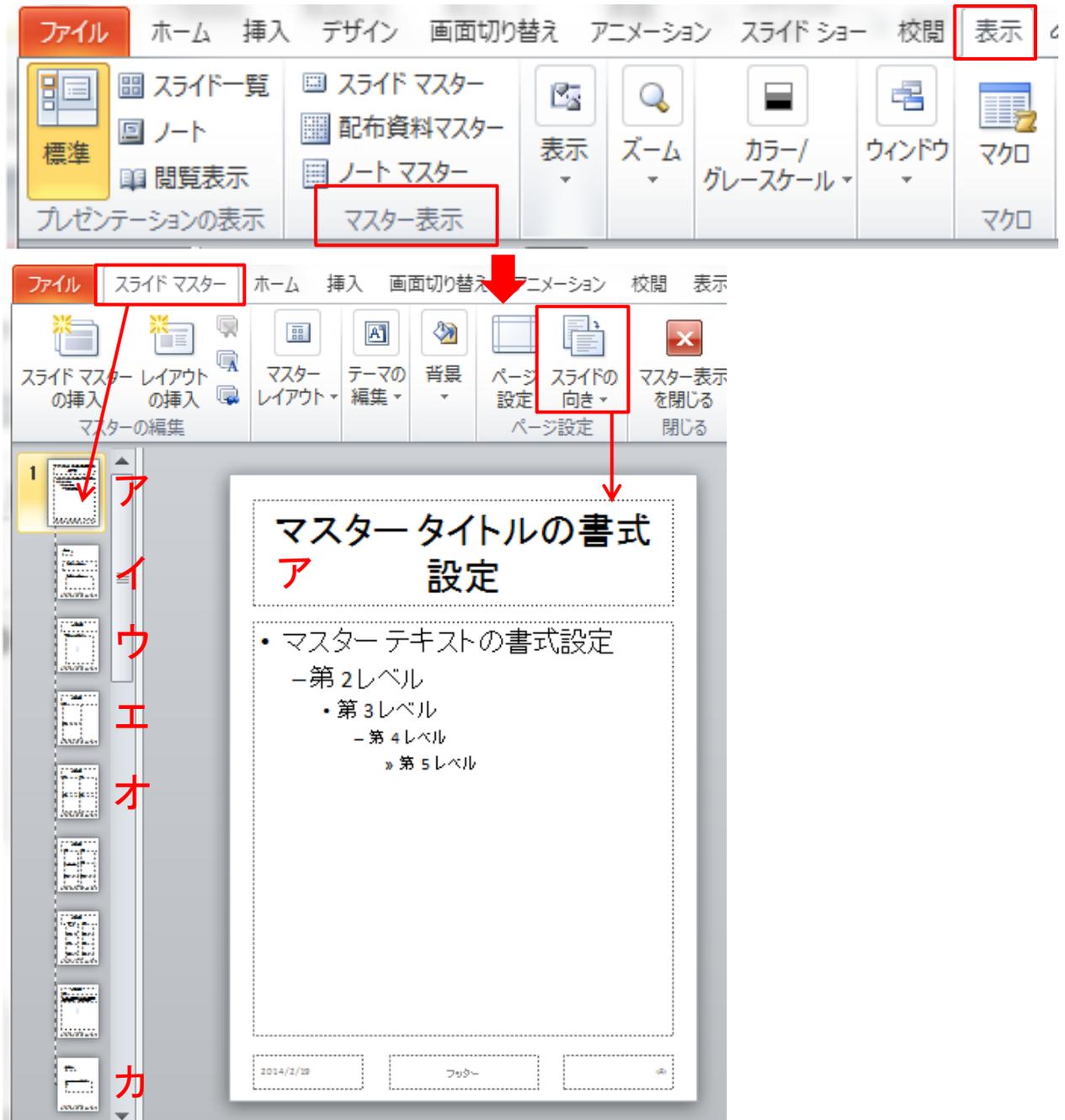
#### 1. スライドマスターの向き設定

「デザイン」タブ→「ページ設定」グループの「スライドの向き」をクリックし「横」から「縦」を選択します。



[目次へ戻る](#)

## 2. スライドマスターの表示と書式設定(例)



- ①「表示」タブからマスター表示グループの「スライドマスター」をクリックします。
- ②スライドマスターが表示されます。(ア)

[目次へ戻る](#)

③マスタータイトルの書式設定、背景のスタイル、プレースホルダーのサイズなど、共通の設定は「スライドマスター」で管理されています。

◇スライドマスターでマスタータイトルの書式設定例

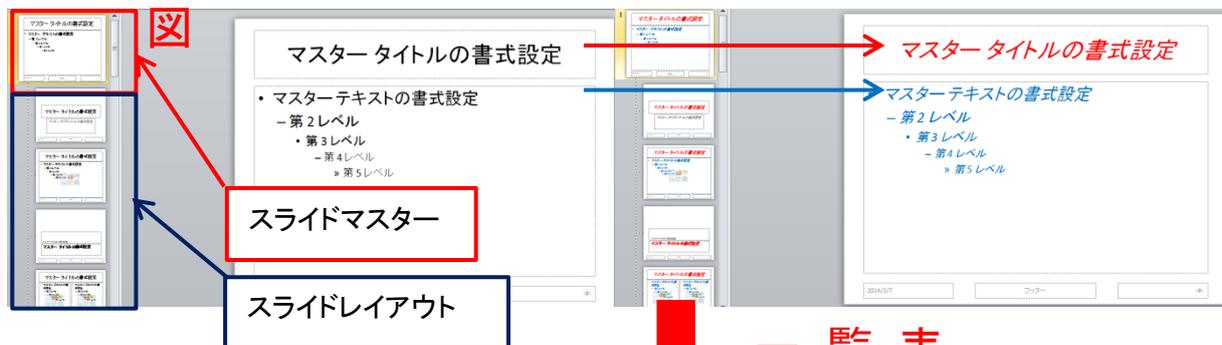
(ア) 設定前



(イ) 書式設定

①マスタータイトル→フォントを斜体、フォントの色を赤

②マスターテキスト→フォントを斜体、フォントの色を青



(ウ) スライドマスターから標準に切り替え

・スライドマスターで設定したマスタータイトルの書式がスライドに反映されます。



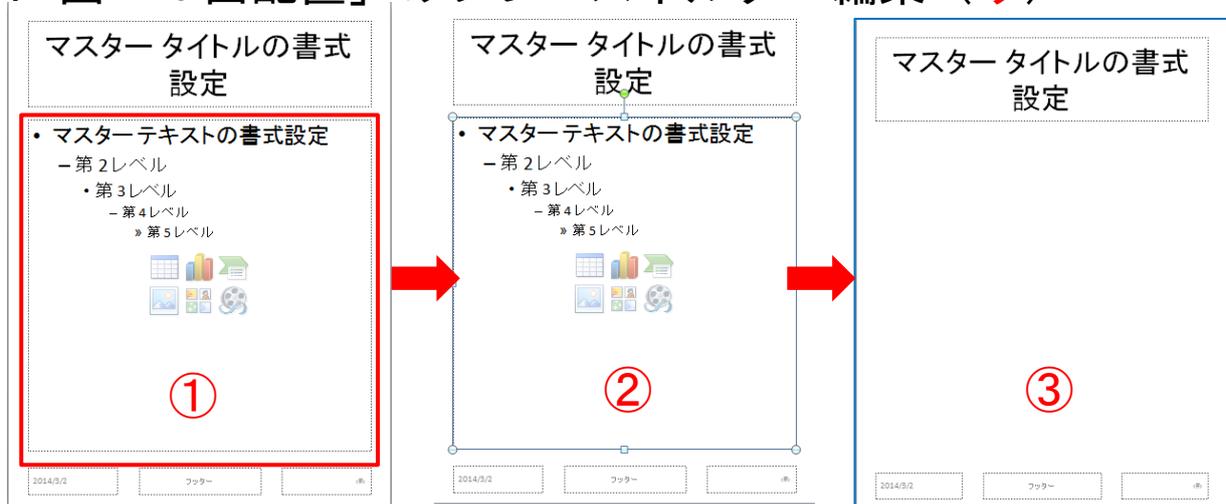
[目次へ戻る](#)

### 3. テキスト(表紙)のプレースホルダー(イ)



- ここでは、テキスト(表紙)のプレースホルダーは編集しません。  
(一口メモ)
- 文字や画像、グラフ、表を入力する点線の枠で囲まれた、それぞれの領域のことを「プレースホルダー」と呼びます。

### 4. 図「1面配置」のプレースホルダー編集(ウ)

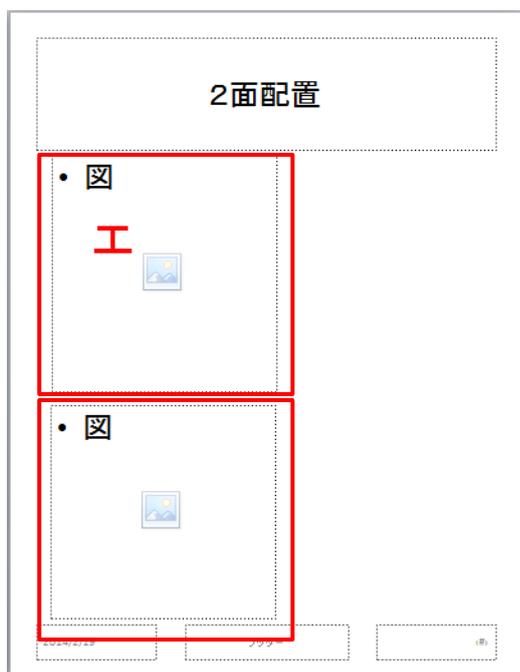


- ①プレースホルダー(赤枠)を選択します。
- ②選択されると「ハンドル(○と□)」の付いた線で囲まれます。
- ③選択された状態で「Delete」キーを押し、プレースホルダーを削除します。
- ④マスターレイアウトグループの「プレースホルダーの挿入」をクリックし「図(P)」を選択します。
- ⑤スライド上で「Shift」キーを押しながら図を描画します。図の中央に「図」のマークが表示され、「1面配置」のプレースホルダーが設定されます。

[目次へ戻る](#)

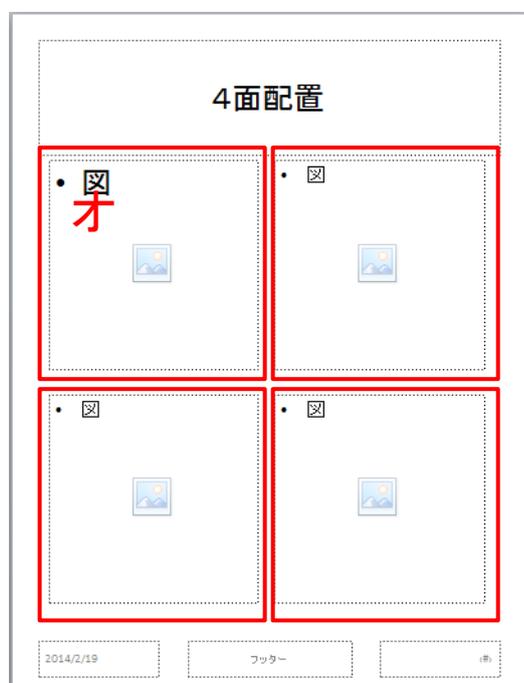


## 5. 図「2面配置」のプレースホルダー（エ）



・前記3、図の「1面配置」のプレースホルダー編集と同様にプレースホルダーの枠を「丸ハンドルと四角ハンドル」を使って、図のように拡大し編集、「二面配置」のプレースホルダーを作成します。

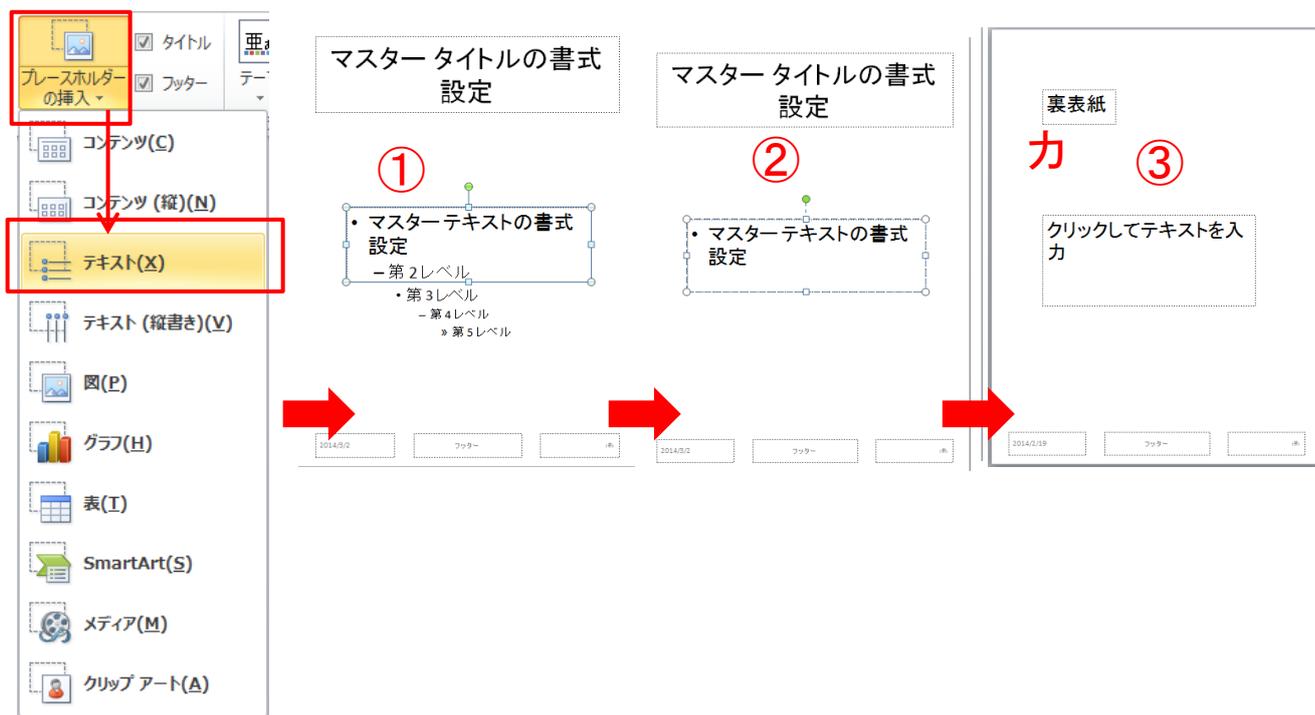
## 6. 図の「4面配置」のプレースホルダー（オ）



・前記3、図の「1面配置」のプレースホルダー編集と同様にプレースホルダーの枠を「丸ハンドルと四角ハンドル」を使って、図のように拡大し編集、「四面配置」のプレースホルダーを作成します。

[目次へ戻る](#)

## 7. 図の「裏表紙」のプレースホルダー（カ）

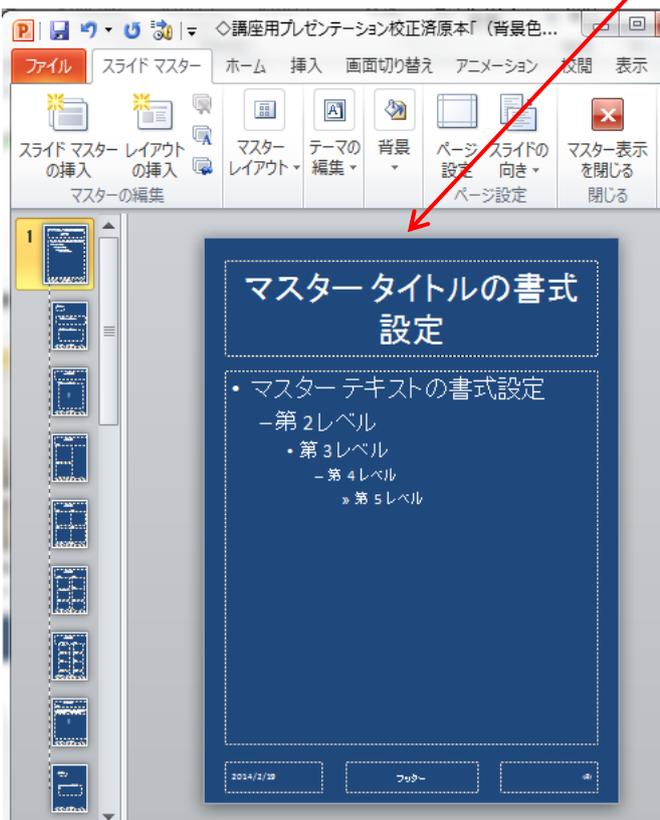
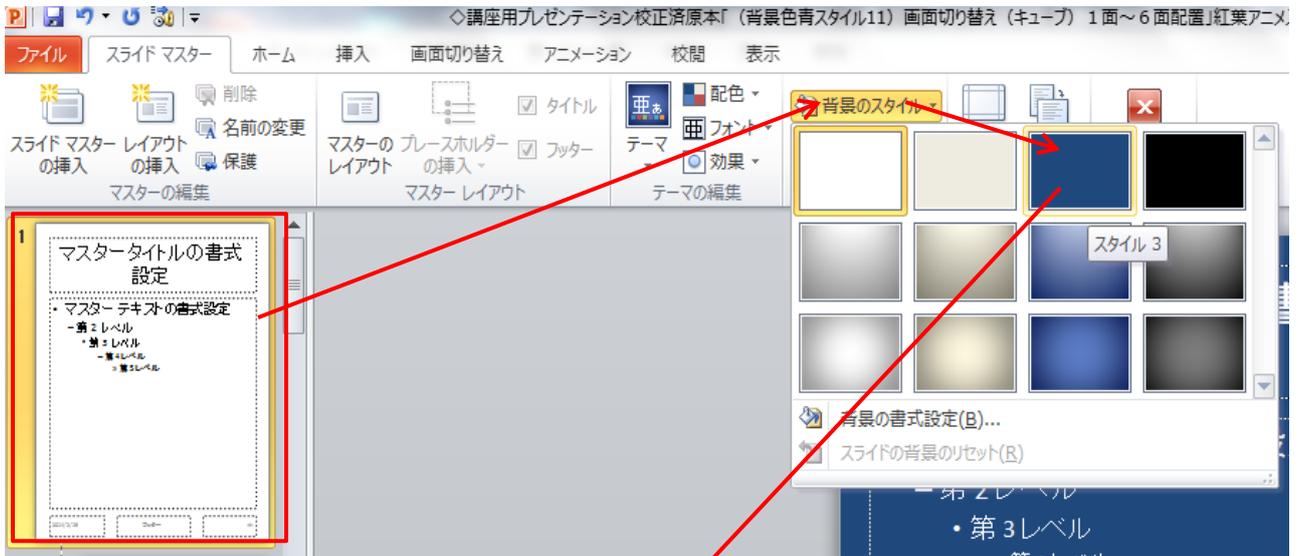


- 図のようにプレースホルダーの枠を「丸ハンドルと四角ハンドル」を使って描画します(①)。つぎに、文字の一部を削除します(②)。これでテキストのプレースホルダーが作成されます(③)。

(メモ)

[目次へ戻る](#)

## 8. 背景のスタイル設定

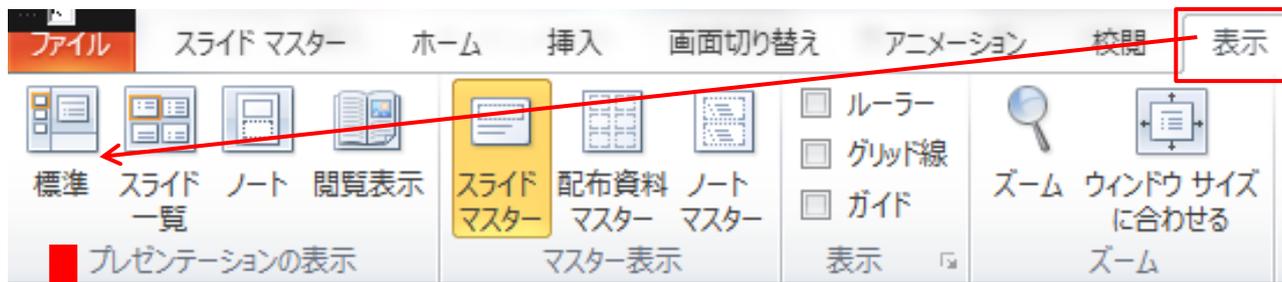


※スライドマスターで背景のスタイルを設定します。  
ここでは、「スタイル 3(青)」を選択。全てのスライドの背景が「スタイル 3」に設定されます。

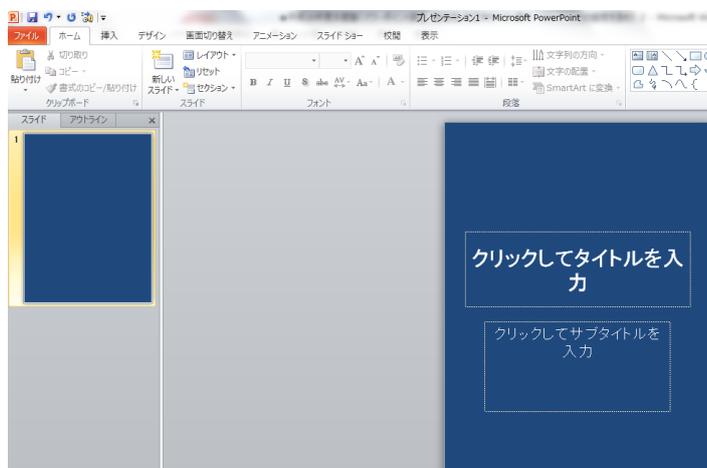
[目次へ戻る](#)

## 第3章 スライドの作成

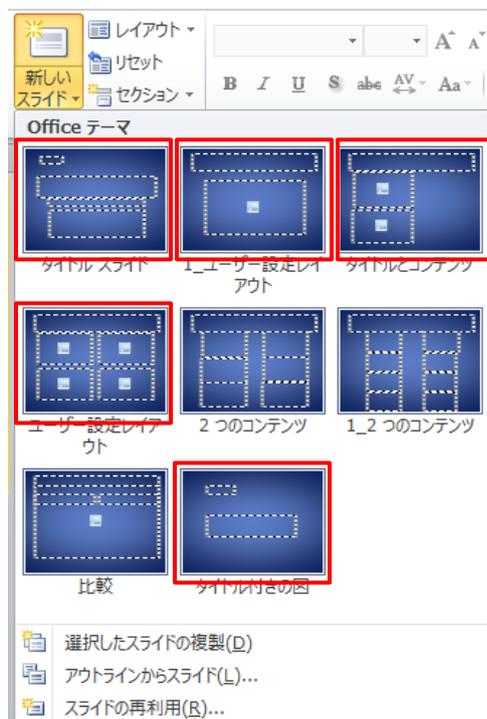
### 1. 表示を「スライドマスター」から「標準」に切り替え



#### ①切り替え後の表示画面



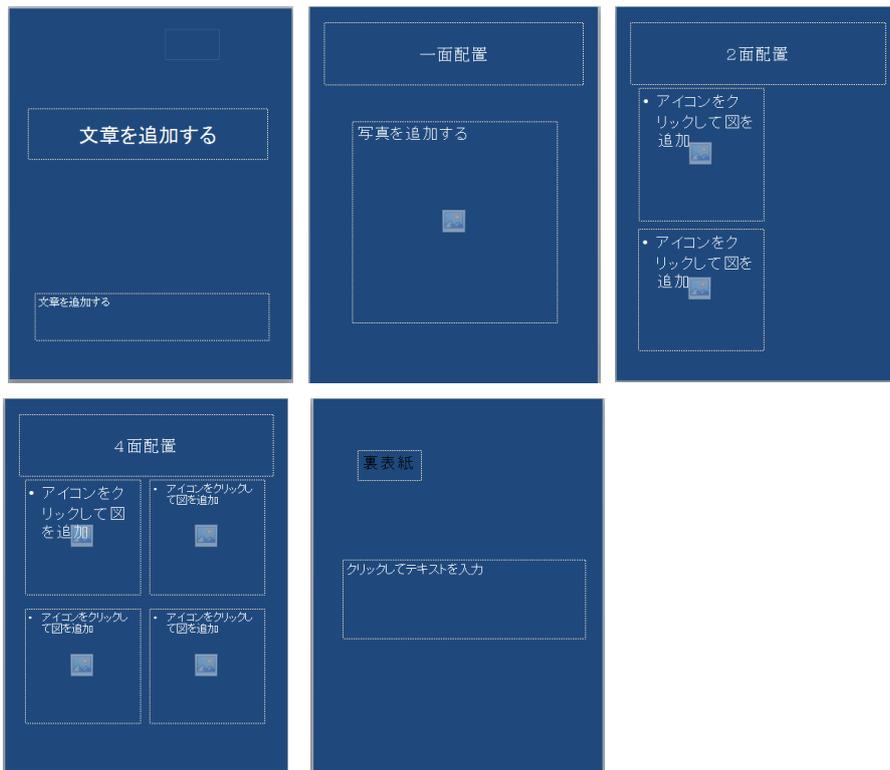
### 2. 新しいスライドの作成



①「ホーム」タブ→「スライド」グループの「新しいスライド」をクリックし、表示された「Office テーマ」のダイアログボックスからスライドマスターで作成したレイアウトのスライドを1枚ずつ選択していきます。

[目次へ戻る](#)

## ②レイアウトのスライドを1枚ずつ選択して作成したスライド



## 3. スライドのレイアウトに「テキスト」、「図」を追加(完成図)



※5枚のスライドのプレースホルダーに「テキスト」と「図」を追加します。

[目次へ戻る](#)

## 4. スライドの編集

### (1) 1枚目のスライド編集(テキスト入力)



ア. 「**タイトル**」のプレースホルダーを選択します。



イ. 「**マイタイトル**」を入力。フォントは「**MSP ゴシック、フォントサイズ 40、白**」



※①選択されている「プレースホルダー」にはハンドルが表示されます。

※②「プレースホルダー」内の「文章を追加する」の文字上でクリックします。カーソルが点滅し文字の入力待ちとなります。



ウ. 「**サブタイトル**」のプレースホルダーを選択します。



エ. サブタイトルを各自入力。フォントは「**MSP ゴシック、フォントサイズ 24、白**」

[目次へ戻る](#)

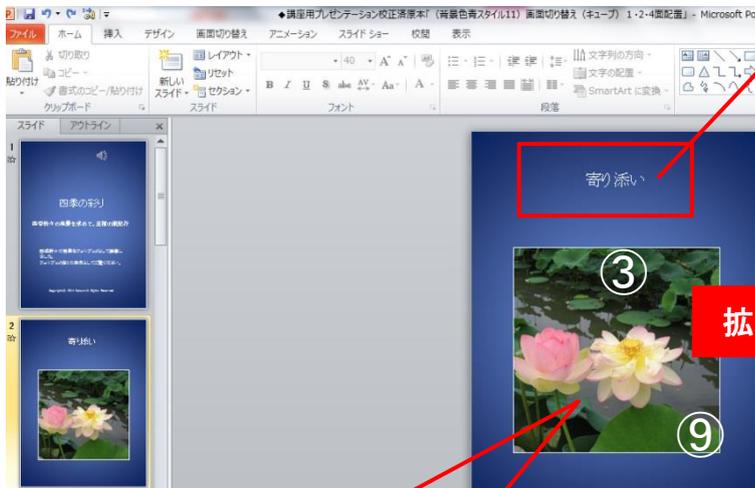
## (2) 2枚目のスライド編集(写真挿入とキャプション入力)



- ①「アイコンをクリックして図を追加」のプレースホルダーの中にある「図(図をファイルから挿入)」をクリックします。ドキュメントライブラリーが表示され画面右下には「開く」が表示されています。
- ②ドキュメントライブラリーの中から「1寄り添い」の写真を選択すると「開く」の表示は「挿入」に変わります。「挿入」をクリックします。
- ③写真が「プレースホルダー」の枠内に挿入されます。(図1)
- ④挿入された写真を選択します。(図2)
- ⑤選択された写真の「枠線」上で「右クリック」します。
- ⑥開いたダイアログボックスから「図の書式設定」を選択します。(図3)
- ⑦開いた「図の書式設定」ダイアログボックスから「線の色」→「線の色」→「線(単色)」→色「白」を選択→「閉じる」をクリックします。(図4)
- ⑧「図の書式設定」ダイアログボックスから「線のスタイル」→「線のスタイル」→「幅(2pt)」を選択します。(図5)
- ⑨「クリックしてタイトル入力」のプレースホルダーを選択し、写真のキャプションを入力します。(フォントは MSP 明朝、32pt、白)(図1・2)

[目次へ戻る](#)

図1



写真が挿入されました。

図2



キャプションが挿入されました。

寄り添い

④

拡大図

図4

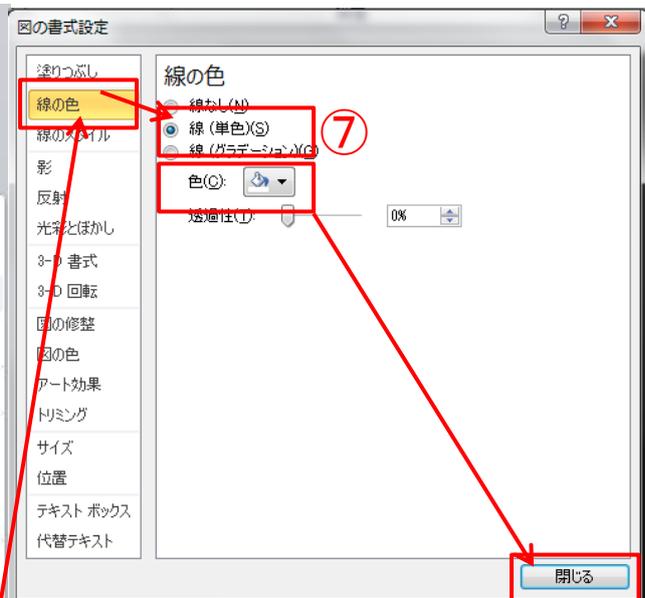
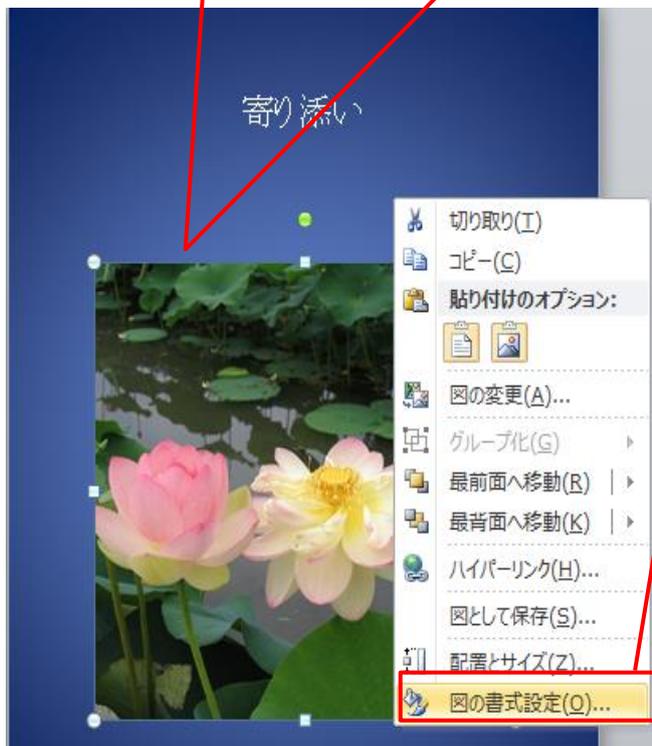


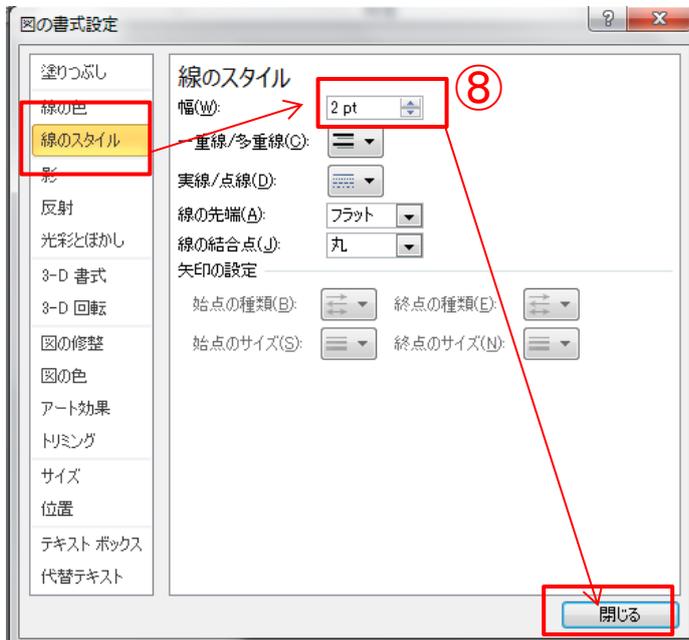
図3



④挿入された写真を選択します。写真の枠にハンドルが表示されます。

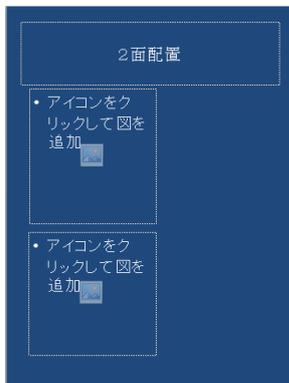
[目次へ戻る](#)

図5

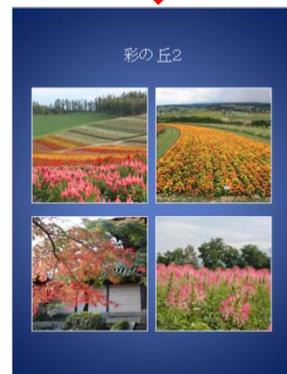


(3) 3枚目と4枚目のスライド編集(前項と同様に写真挿入と、キャプション入力)

### 3枚目

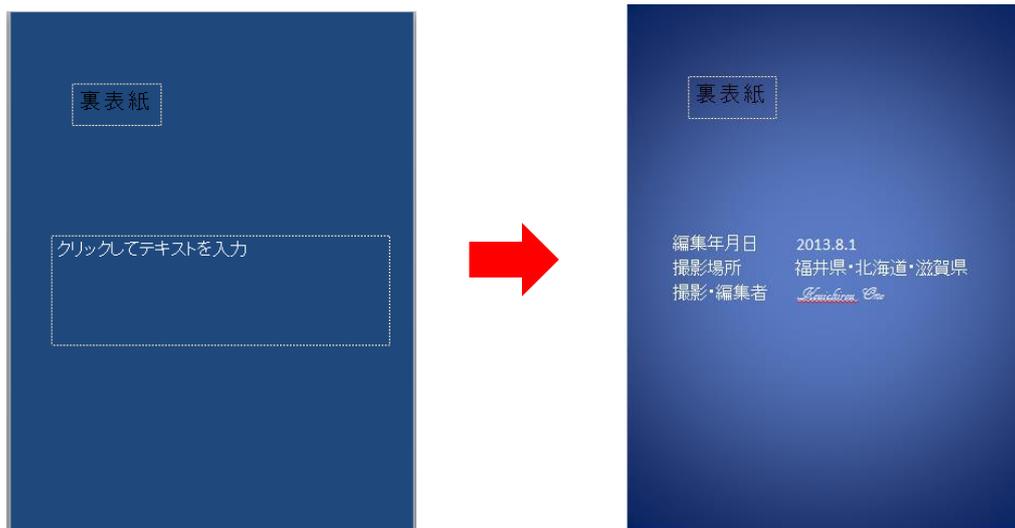


### 4枚目



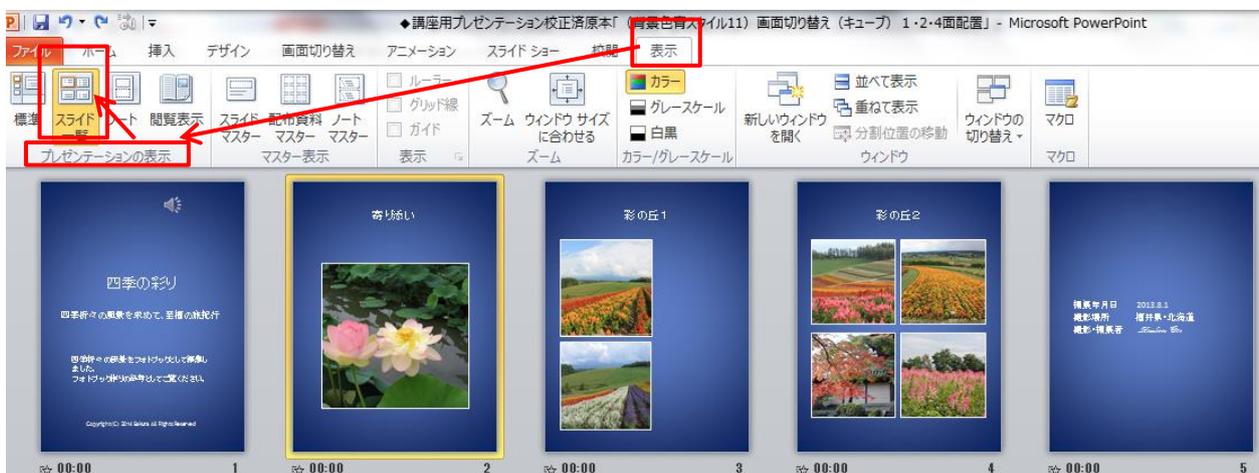
[目次へ戻る](#)

#### (4) 5枚目のスライド編集(前項と同様にテキスト入力)



- ①5枚目のスライドの「クリックしてタイトルを入力」のプレースホルダーを選択します。
- ②「編集年月日(撮影年月日)、撮影場所、撮影・編集者」を入力します。

#### 5. 作成したスライドの確認(一覧表示)

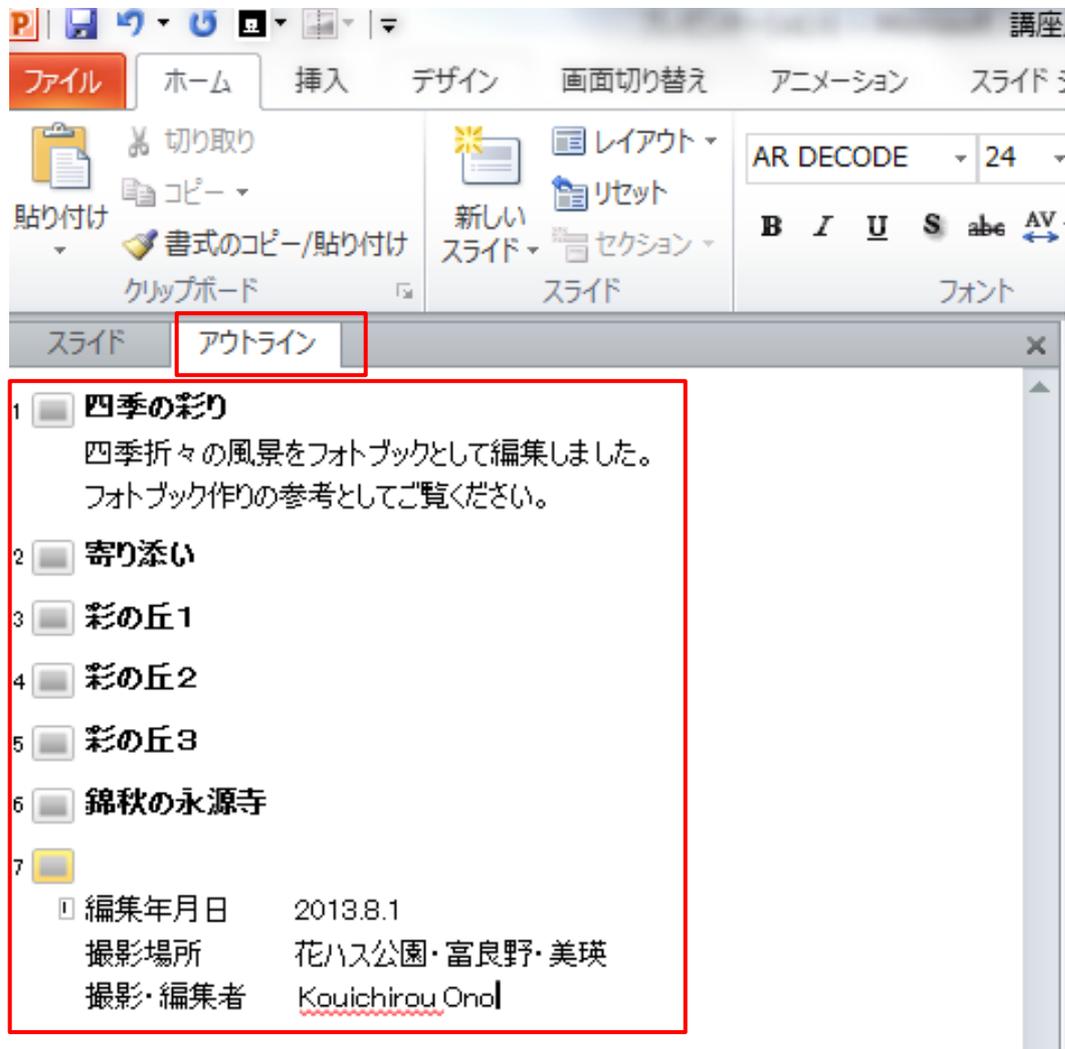


- ①「表示」タブ→「プレゼンテーションの表示」グループ→「スライド一覧」をクリックします。
- ②作成した「スライド一覧」が表示されます。
- ③作成したスライドを修正するときは、該当のスライドを選択し「テキスト」または「図」を変更します。

[目次へ戻る](#)

## 6. 「アウトラインタブ」でのテキスト一覧確認

- ①「アウトライン」タブをクリックします。
- ②作成したスライド上のテキスト一覧が表示されます。

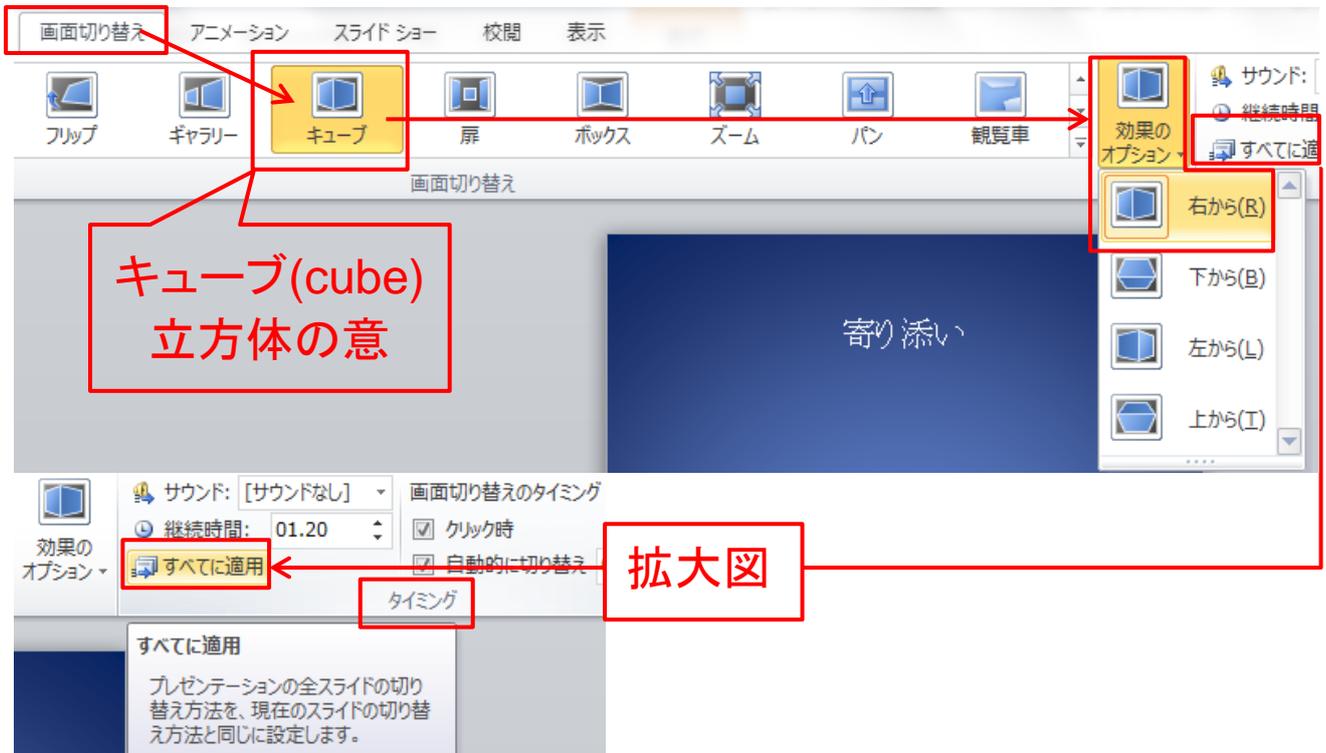


(メモ)

[目次へ戻る](#)

## 第4章 画面切り替えの設定

### 1. 画面切り替えの設定



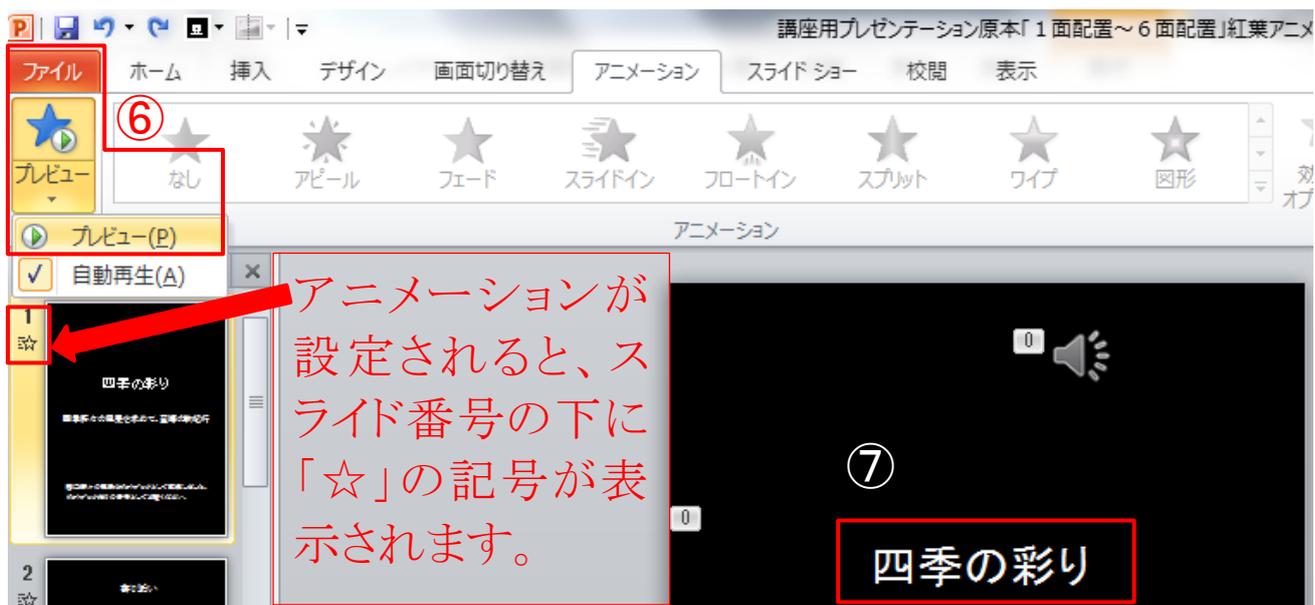
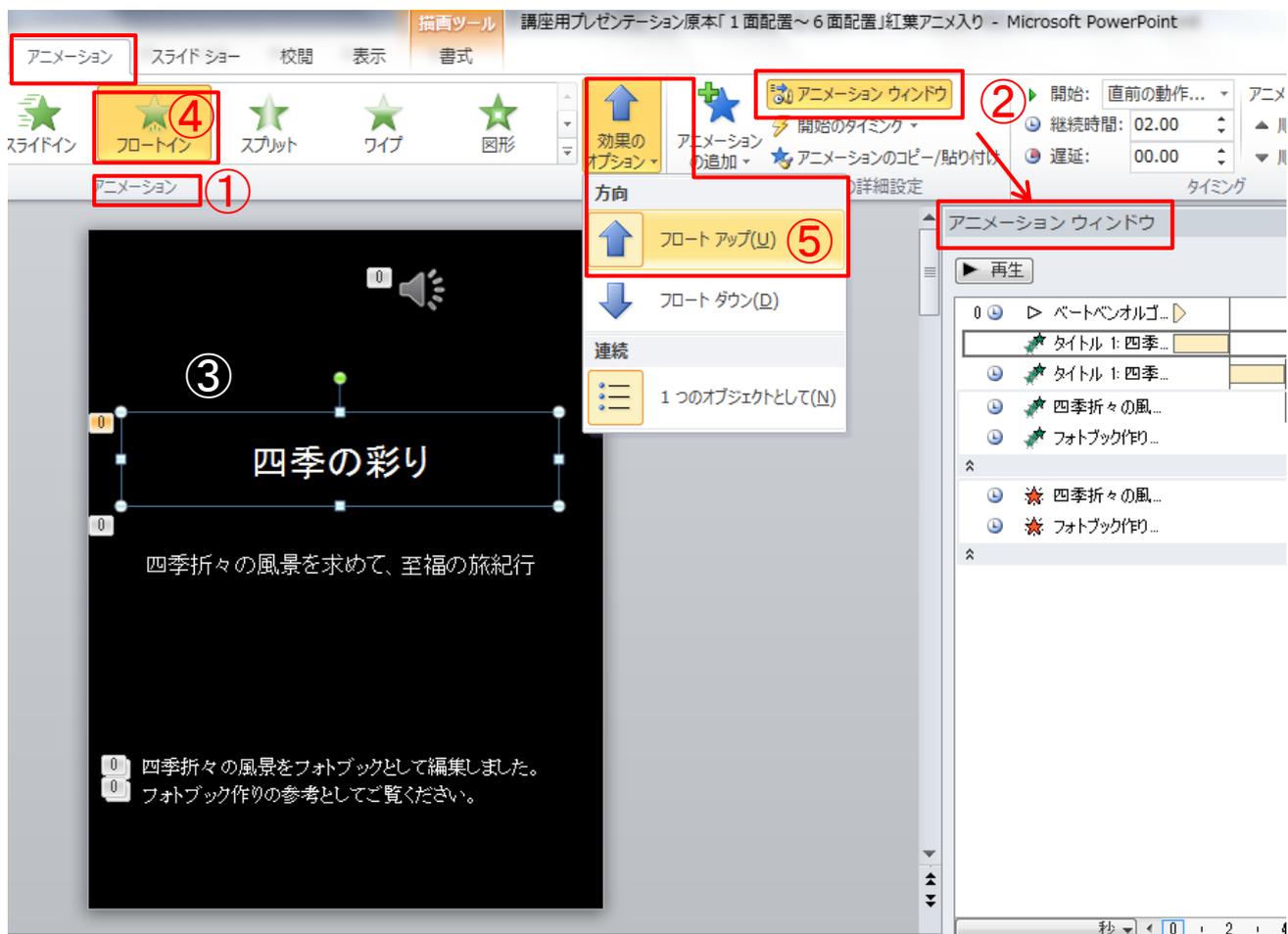
- ①「画面切り替え」から画面切り替えグループの「**キューブ**」を選択します。
- ②つぎに画面切り替えグループの「**効果のオプション**」を「**右から**」を選択します。
- ③ここでは全てのスライドに「**キューブ**」の設定をするため、タイミンググループの「**すべての適用**」ボタンをクリックします。

※「画面切り替え」グループの「**キューブ**」と「**回転**」の違い  
「**キューブ**」・・・スライド1枚1枚が立方体(サイコロ)が転がるように切り替わります。  
「**回転**」・・・背景の画面が固定された状態でスライド1枚1枚が切り替わります。

[目次へ戻る](#)

## 第5章 アニメーションの設定

### 1.1 枚目のスライドにアニメーションを設定



[目次へ戻る](#)

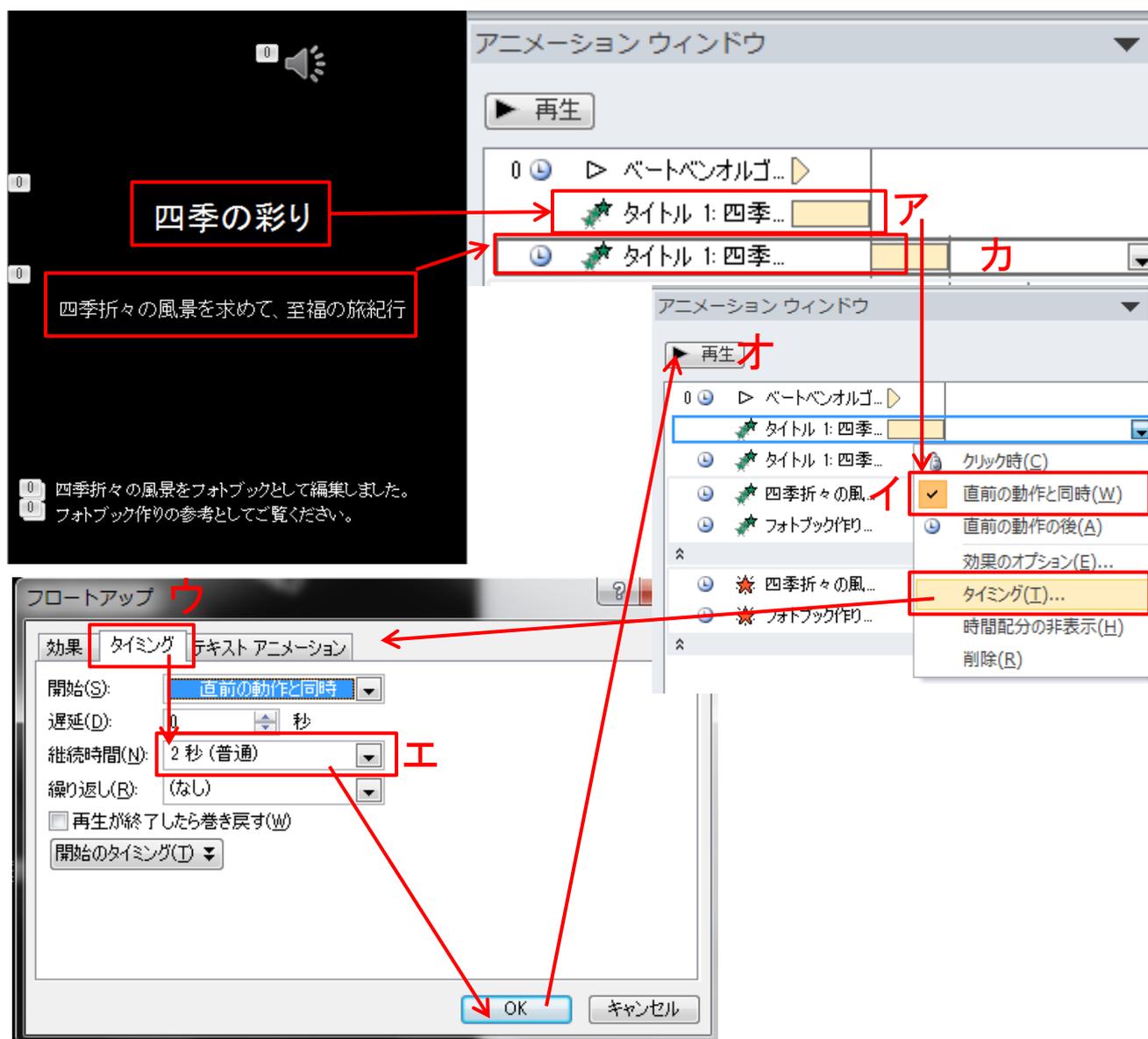
- ①「アニメーション」タブ→②「アニメーションウインドウ」をクリックしウインドウを開きます。
- ③「四季の彩り」のプレースホルダーを選択します。
- ④「アニメーション」グループの「フロートイン」を選択します。
- ⑤「アニメーション」グループの効果のオプションから「フロートアップ」を選択します。
- ⑥「アニメーション」設定と「効果のオプション」をプレビューの「プレビュー」をクリックしアニメーションの動作を確認します。
- ⑦「四季折々の風景を求めて、至福の旅紀行」のプレースホルダーを選択します。

以下、前記と同様に・・・

- ⑧「アニメーション」グループの「フロートイン」を選択します。
- ⑨「アニメーション」グループの効果のオプションから「フロートアップ」を選択します。
- ⑩「アニメーション」設定と「効果のオプション」をプレビューの「プレビュー」をクリックしアニメーションの動作を確認します。

[目次へ戻る](#)

⑪前項で開いているアニメーションウィンドウで「アニメーションの詳細設定をします。



ア. ウィンドウの中にあるタイトル、図では「タイトル1:四季」と表示されている上で右クリックします。

イ. 表示されたダイアログボックスで「直前の動作と同時」にチェックを入れます。

ウ. 次にタイミングをクリックすると、「フロートアップ」ダイアログボックスが開きます。

[目次へ戻る](#)

エ. フロートアップのタイミングから継続時間「**2秒(普通)**」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

オ. 「アニメーションウインドウ」の再生ボタンをクリックしアニメーションの動作とタイミングを確認します。

カ. 前項⑪と同様にウインドウの中にあるタイトル、図では「タイトル 1: 四季」と表示されている上で右クリックします。以下、前項⑪項の「イ～オ」の操作を行い1枚目のスライドのアニメーション設定が完了します。

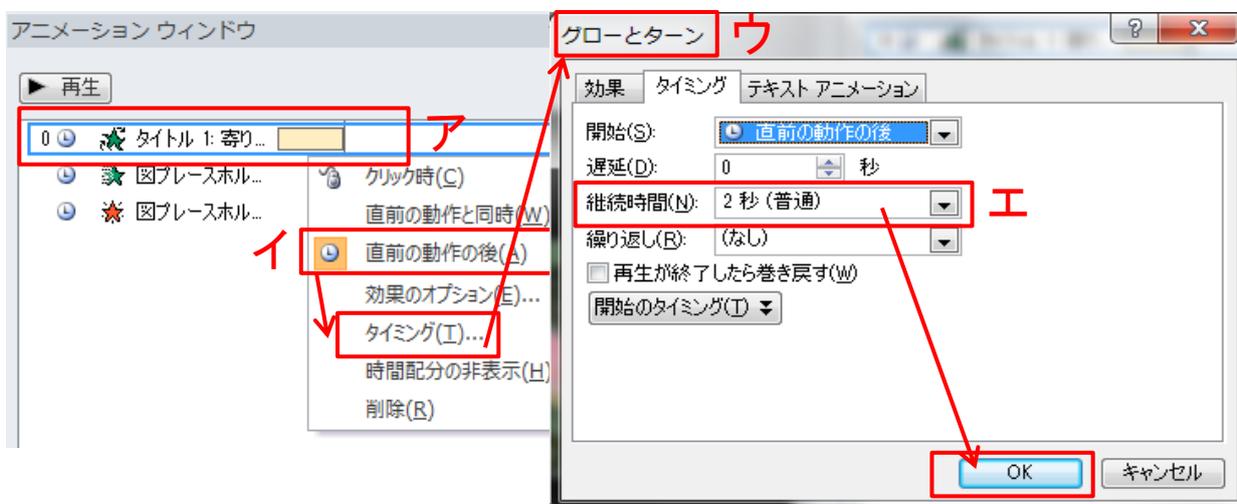
## (2) 2枚目のスライドにアニメーションを設定



- ①「寄り添い」のプレースホルダーを選択します。
- ②「アニメーション」グループの「**グローとターン**」を選択します。  
詳細図は、前一项「1枚目のスライドにアニメーションを設定」を参照。
- ③図のプレースホルダー「**写真**」を選択します。
- ④「アニメーション」グループの「**図形**」を選択します。

[目次へ戻る](#)

⑤アニメーションウインドウで「アニメーション」の詳細設定をします。

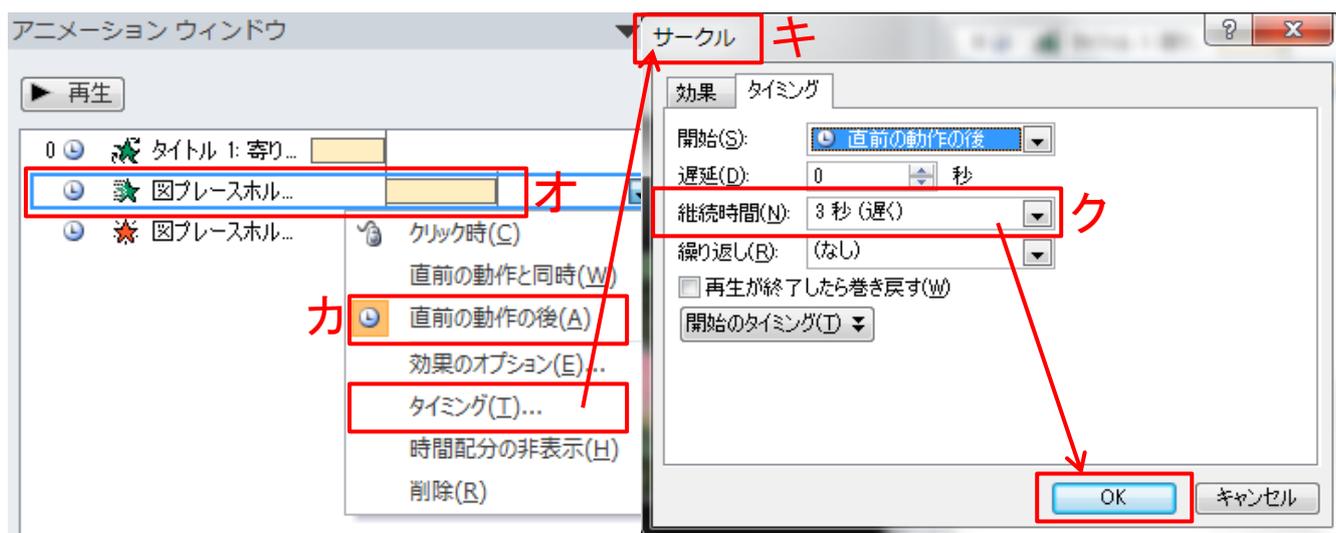


ア. ウィンドウの中にあるタイトル、図では「タイトル1: 寄り…」と表示されている上で右クリックします。

イ. 表示されたダイアログボックスで「直前の動作の後」にチェックを入れます。

ウ. 次にタイミングをクリックすると、「グローとターン」ダイアログボックスが開きます。

エ. タイミングから継続時間「2秒(普通)」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



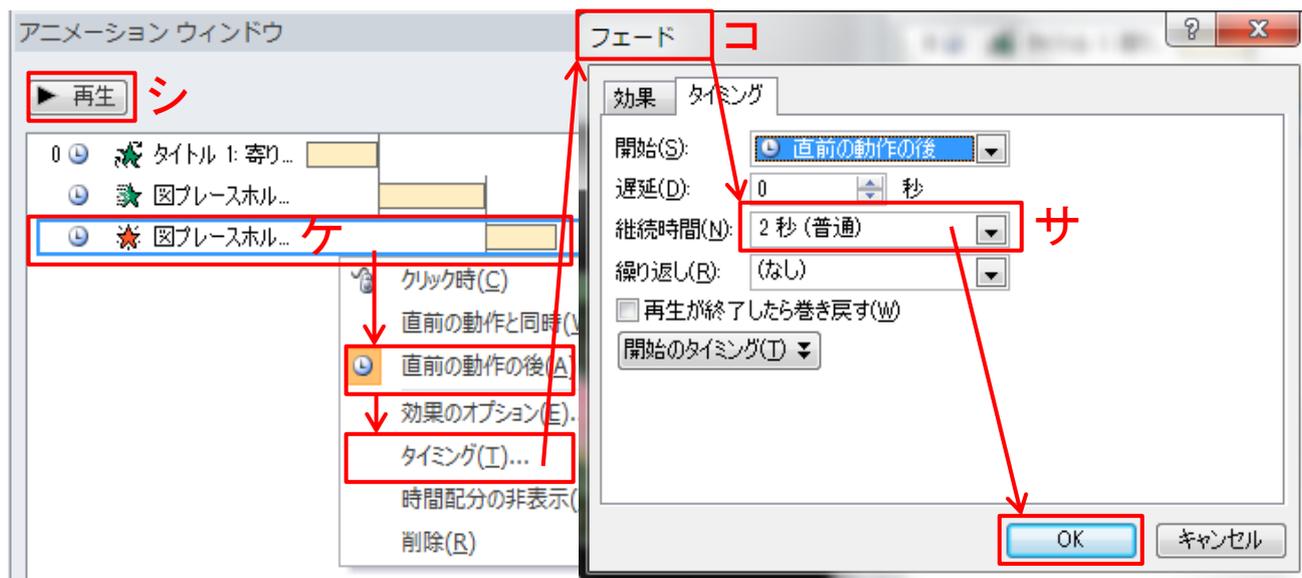
オ. 次に「図プレースホル…」と表示されている上で右クリックします。

[目次へ戻る](#)

カ. 表示されたダイアログボックスで「**直前の動作の後**」にチェックを入れます。

キ. 次にタイミングをクリックすると、「**サークル**」ダイアログボックスが開きます。

ク. タイミングから**継続時間**「**3秒(遅く)**」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



ケ. 次に「赤の☆マークが付いている**図**プレースホルド…」と表示された上で「**右クリック**」、表示されたダイアログボックスで「**直前の動作の後**」にチェックを入れます。

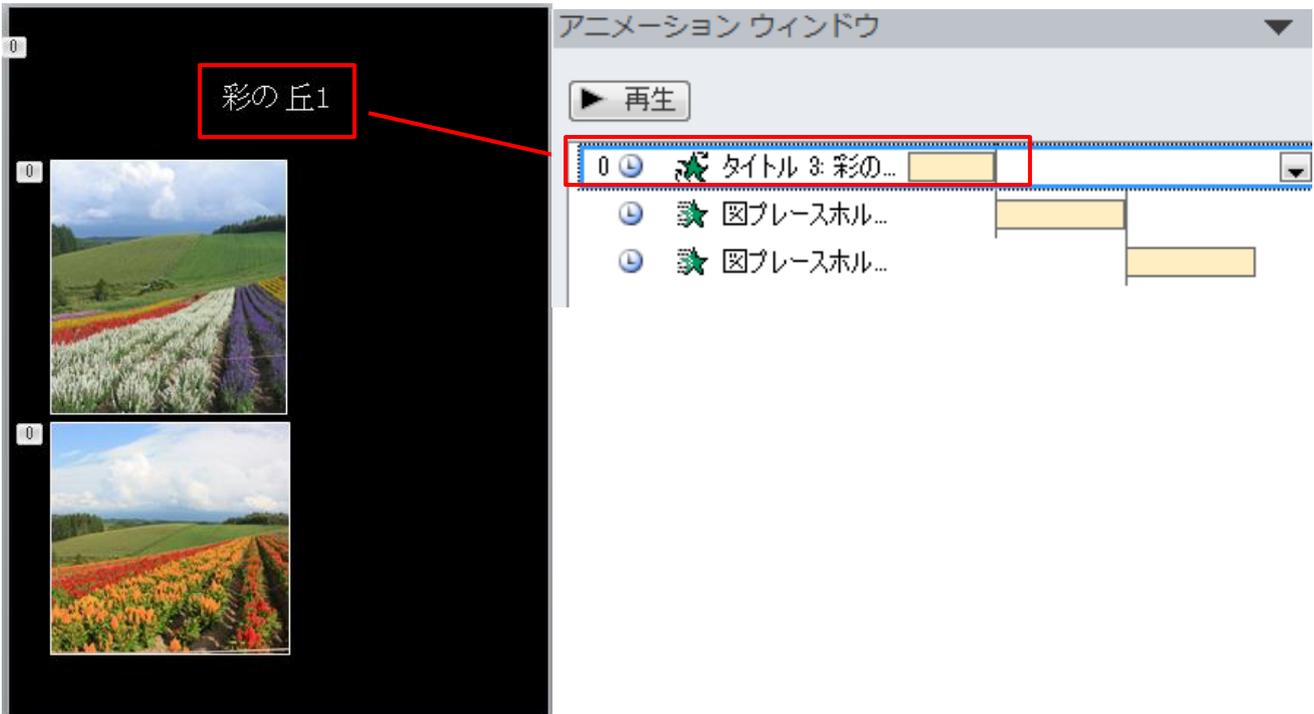
コ. 次にタイミングをクリックすると、「**フェード**」ダイアログボックスが開きます。

サ. タイミングから**継続時間**「**2秒(普通)**」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

シ. 「アニメーションウインドウ」の再生ボタンをクリックしアニメーションの動作とタイミングを確認します。これで、2枚目のスライドのアニメーション設定が完了です。

[目次へ戻る](#)

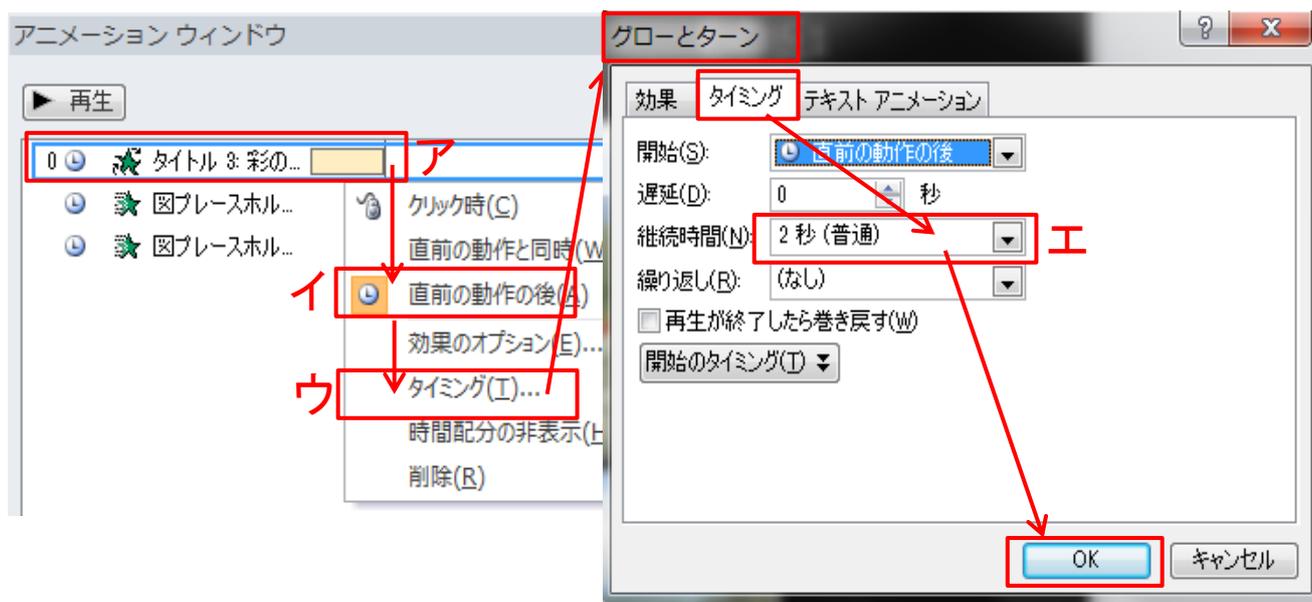
### (3) 3枚目のスライドにアニメーションを設定



- ①「タイトル3…」のプレースホルダーを選択します。
- ②「アニメーション」グループの「**グローとターン**」を選択します。
- ③1枚目の図のプレースホルダー「**写真**」を選択します。
- ④「アニメーション」グループの「**ホイール**」を選択します。
- ⑤2枚目の図のプレースホルダー「写真」を選択します。
- ⑥「アニメーション」グループの「**ホイール**」を選択します。

(メモ)

[目次へ戻る](#)



ア. ウィンドウの中にあるタイトル、図では「タイトル3彩の…」と表示されている上で右クリックします。

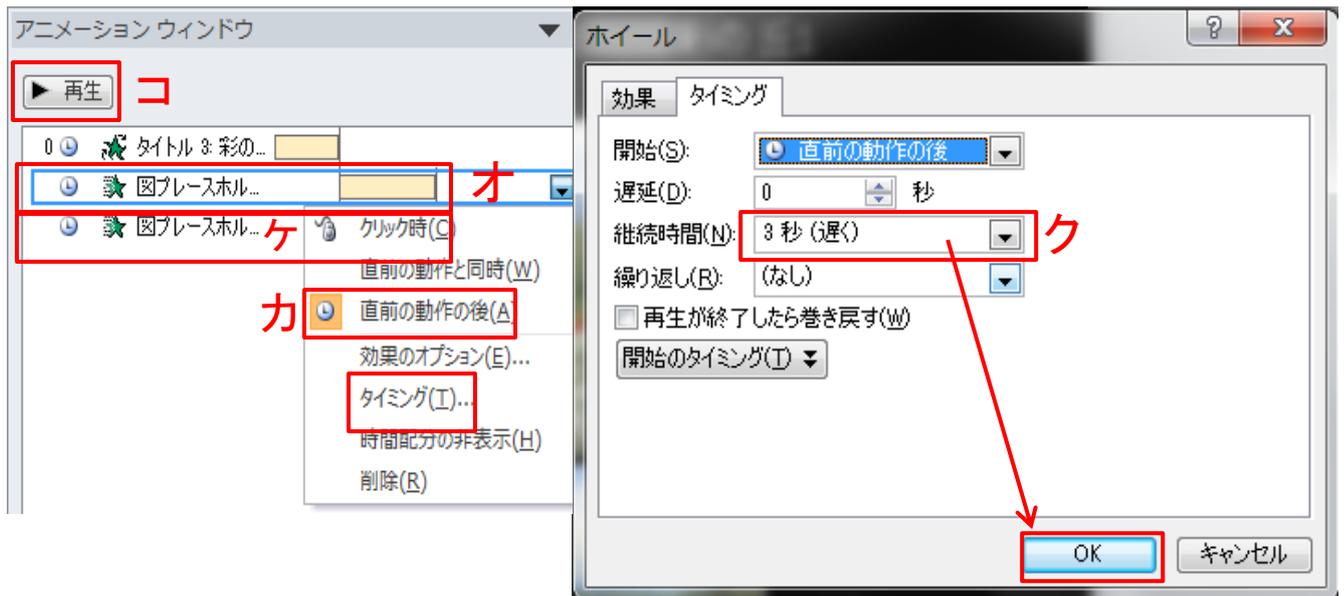
イ. 表示されたダイアログボックスで「直前の動作の後」にチェックを入れます。

ウ. 次にタイミングをクリックすると、「グローとターン」ダイアログボックスが開きます。

エ. タイミングから継続時間「2秒(普通)」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

(メモ)

[目次へ戻る](#)



オ. 次に「図プレースホル…」と表示されている上で**右クリック**します。

カ. 表示されたダイアログボックスで「**直前の動作の後**」にチェックを入れます。

キ. 次にタイミングをクリックすると、「**ホイール**」ダイアログボックスが開きます。

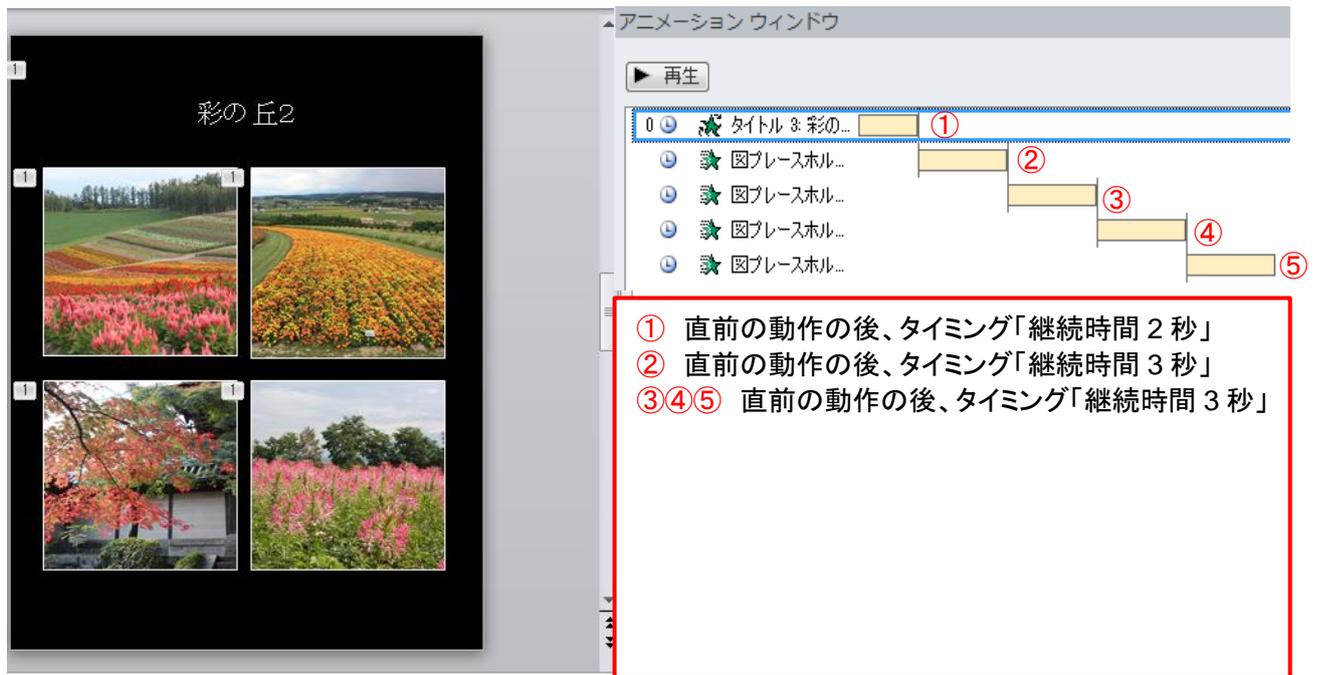
ク. タイミングから**継続時間**「**3秒(遅く)**」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

ケ. 同様に2つ目の「図プレースホルダー」上で**右クリック**し、前記「カ～ク」の操作を行います。

コ. 次に「アニメーションウインドウ」の再生ボタンをクリックしアニメーションの動作とタイミングを確認し、3枚目のスライドが完成します。

[目次へ戻る](#)

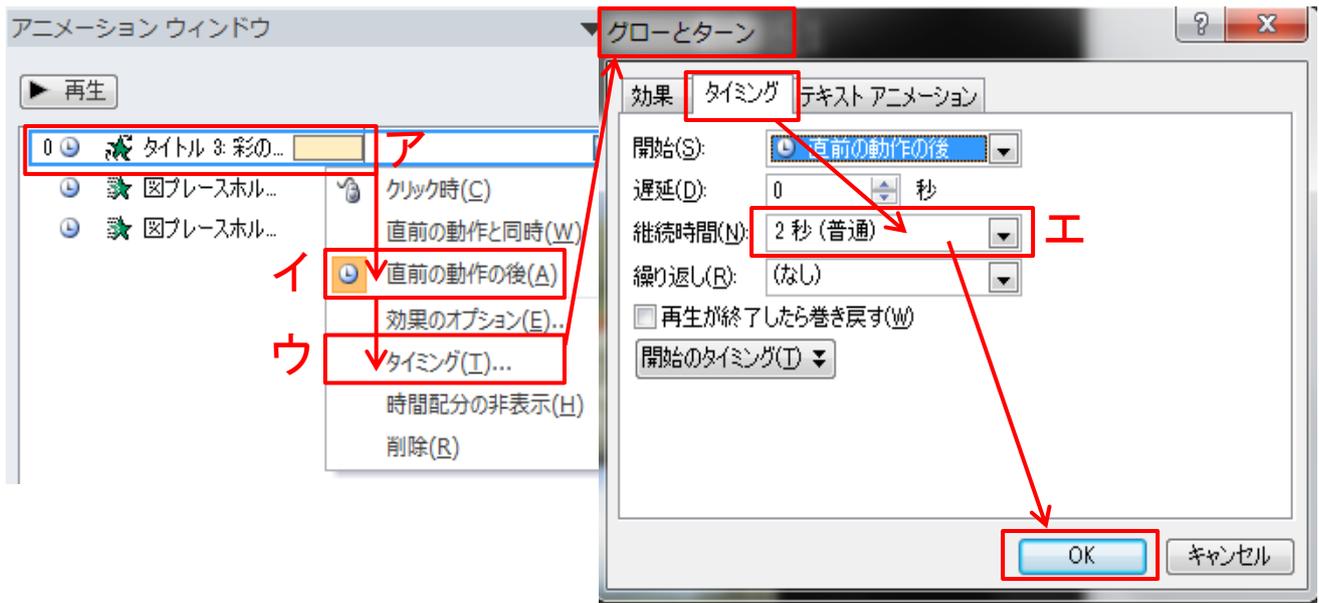
#### (4) 4枚目のスライドにアニメーションを設定



- ①「タイトル3…」のプレースホルダーを選択します。
- ②「アニメーション」グループの「**グローとターン**」を選択します。
- ③1枚目の図のプレースホルダー「**写真**」を選択します。
- ④「アニメーション」グループの「**ホイール**」を選択します。
- ⑤2枚目の図のプレースホルダー「**写真**」を選択します。
- ⑥「アニメーション」グループの「**ホイール**」を選択します。

(メモ)

[目次へ戻る](#)



ア. ウィンドウの中にあるタイトル、図では「タイトル3彩の…」と表示されている上で**右クリック**します。

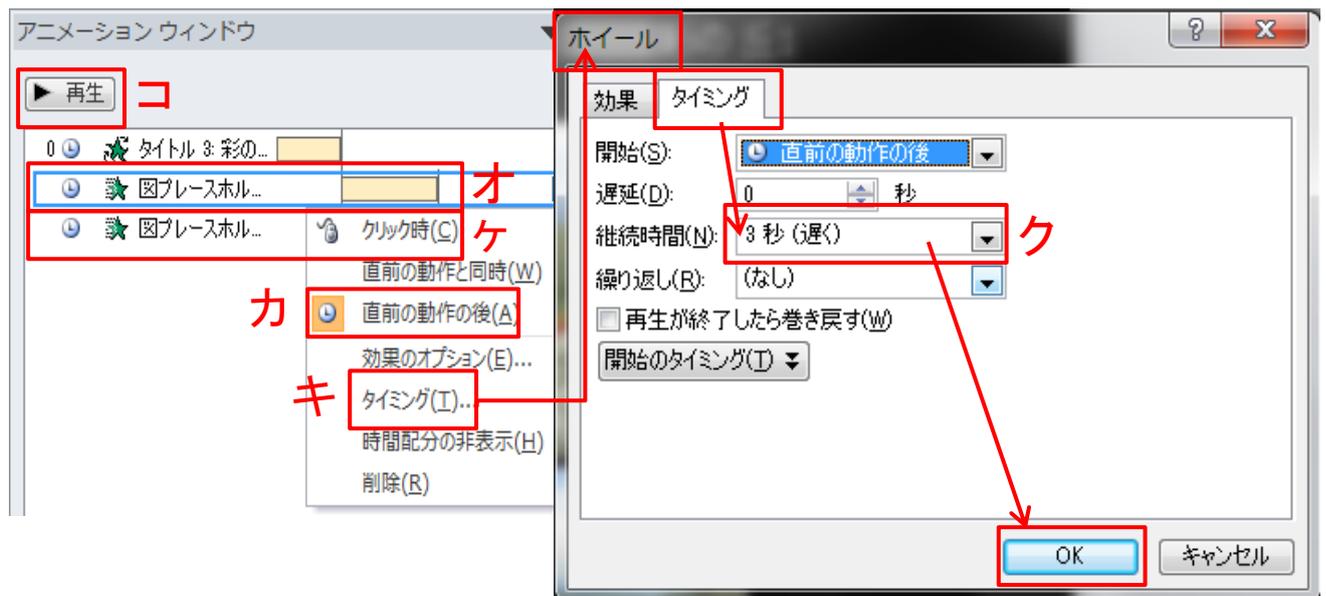
イ. 表示されたダイアログボックスで「**直前の動作の後**」にチェックを入れます。

ウ. 次にタイミングをクリックすると、「**グローとターン**」ダイアログボックスが開きます。

エ. タイミングから**継続時間「2秒(普通)」**を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

(メモ)

[目次へ戻る](#)



オ. 次に「図プレースホル…」と表示されている上で**右クリック**します。

カ. 表示されたダイアログボックスで「**直前の動作の後**」にチェックを入れます。

キ. 次にタイミングをクリックすると、「**ホイール**」ダイアログボックスが開きます。

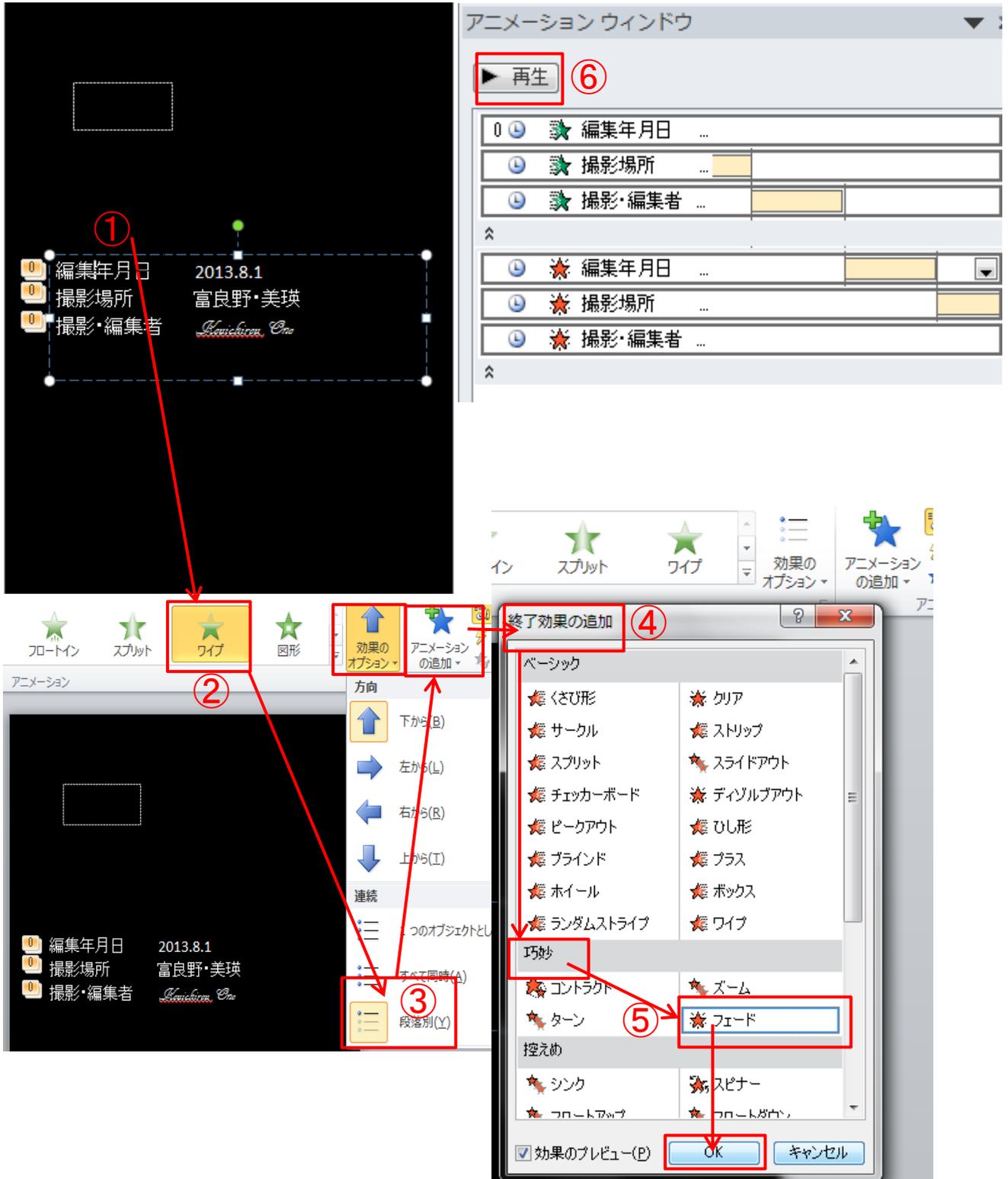
ク. タイミングから**継続時間**「**3秒(遅く)**」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

ケ. 同様に2つ目の「図プレースホルダー」上で**右クリック**し、前記「カ～ク」の操作を行います。

コ. 次に「アニメーションウィンドウ」の再生ボタンをクリックしアニメーションの動作とタイミングを確認し、4枚目のスライドが完成します。

[目次へ戻る](#)

(5) 5枚目のスライドにアニメーションを設定。



[目次へ戻る](#)

①テキストの(編集年月日、撮影場所、撮影・編集者)プレースホルダーを選択します。

②「アニメーション」グループの「ワイプ」を選択します。

③効果のオプションから「段落別」を選択します。

④つぎに「アニメーションの追加」を選択します。終了効果の追加ダイアログボックスが開きます。

⑤「巧妙」グループにある「フェード」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

⑥次に「アニメーションウインドウ」の再生ボタンをクリック、アニメーションの動作とタイミングを確認して、5枚目のスライドが完成します。

(メモ)

アニメーション「ワイプ・段落別」

編集年月日……………直前の動作の後、3秒

撮影場所……………直前の動作の後、3秒

撮影・編集者……………直前の動作の後、3秒

アニメーション終了の効果「フェード」

編集年月日……………直前の動作の後、3秒

撮影場所……………直前の動作の後、3秒

撮影・編集者……………直前の動作の後、3秒

[目次へ戻る](#)

## 第6章 スライドショー

### 1. 作成したスライドをスライドショーで確認。

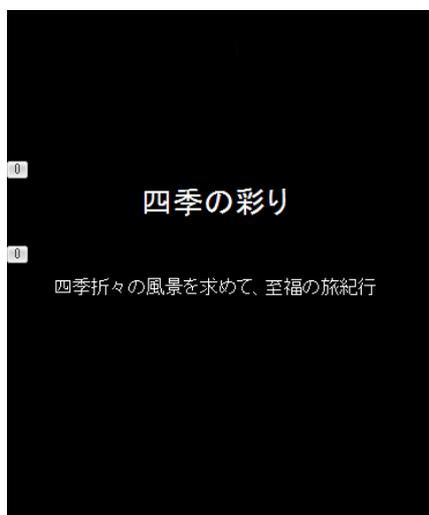


①スライドショーの実行で、スライドの編集・アニメーションが正しく設定されているかを確認します。動作に不具合があるときは、スライドの設定を再度確認し修正します。

[目次へ戻る](#)

# 第7章 オーディオファイルの挿入

## 1.1 枚目のスライドにオーディオ挿入



BGM が挿入  
されます。



② 挿入

③ ファイルからオーディオ(E)...

④ 再生 オーディオ

① 四季の彩り

⑤ クリック時(C)

⑥ 直前の動作と同時(W)

⑦ 直前の動作の後(A)

効果のオプション(E)

タイミング(I)...

開始(S): 直前の動作の後

遅延(D): 0 秒

継続時間(N):

繰り返し(R): スライドの最後まで

再生が終了したら巻き戻す(W)

開始のタイミング(T)

OK キャンセル

[目次へ戻る](#)

- ①1枚目のスライドを選択します。
- ②「挿入」タブ→「メディア」グループ→「ファイルからオーディオ」を選択します。
- ③講座用サンプルの「オーディオファイル」を選択し挿入します。  
(フリーBGM「ベートベンオルゴール・バイオリンソナタ春第1楽章」)
- ④オーディオの「スピーカー」記号をクリックまたは選択すると、再生ボタンが表示されます。再生ボタンを押して、BGMの動作を確認します。
- ⑤次にアニメーションウインドウ「ベートベンオルゴール…」と表示されている上で右クリックします。
- ⑥表示されたダイアログボックスで「直前の動作の後」にチェックを入れます。
- ⑦次にタイミングを選択し、「再生オーディオ」ダイアログボックスの「繰り返し」を「スライドの最後まで」に設定します。最後に「OK」ボタンを押します。

※再生オーディオのタイミング「開始のタイミング」、オーディオ再生のきっかけとなる設定を行うことを、開始の「タイミング」と呼びます。次の3つの中から選択し、チェックを入れます。

- ◎クリックと連動して動作(A)
- ◎次のオブジェクトのクリック時に効果を開始(C)
- ◎次のオブジェクトの再生時に効果を開始(P)

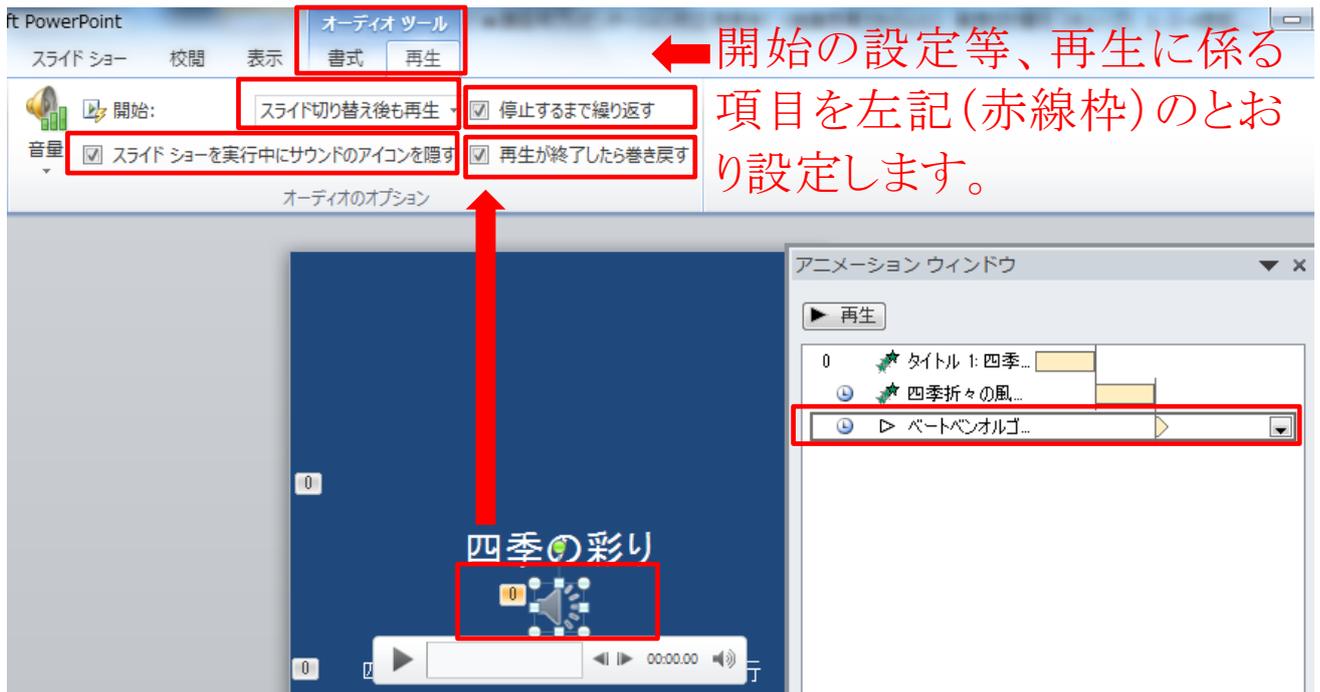
[目次へ戻る](#)

## 2. 「オーディオファイル」挿入後のアニメーション設定詳細

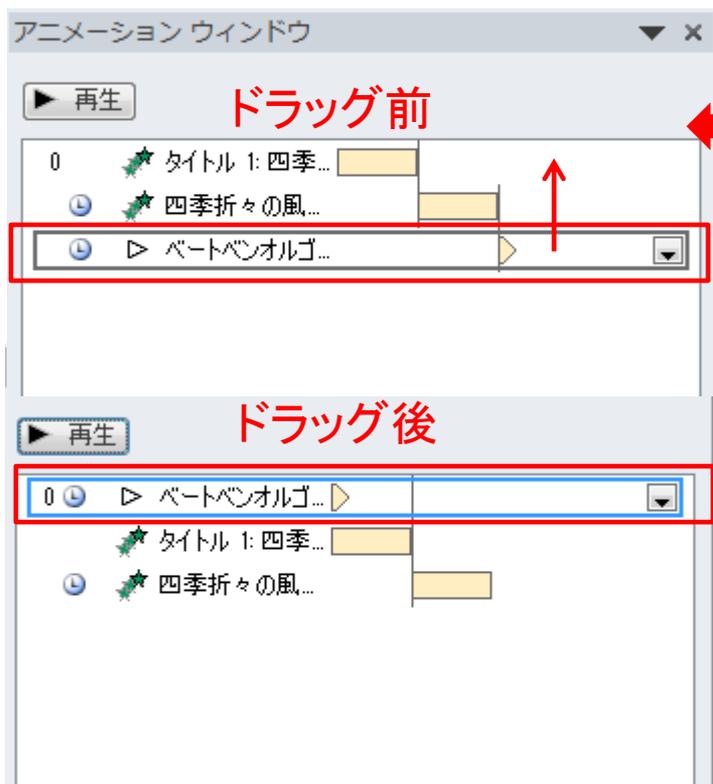
The image displays a PowerPoint slide titled "四季の彩り" (Seasons' Colors) with a music player interface. Overlaid on the slide are three windows from the PowerPoint software:

- アニメーション ウィンドウ (Animation Window):** Shows a list of animation items. The first item is "タイトル 1: 四季..." and the second is "四季折々の風...". Below the list, the "開始のタイミング" (Start Timing) is set to "ベートベンオルゴール・バイオリンソナタ春第1楽章..." (Beethoven's Piano Concerto No. 5, Spring, 1st Movement...).
- 再生 オーディオ (Audio Playback) dialog box:** This dialog is used to configure the audio playback options. The "効果" (Effect) tab is selected. The "開始(S)" (Start) is set to "直前の動作の後" (After the previous action). The "遅延(D)" (Delay) is set to 0 seconds. The "継続時間(N)" (Duration) is set to "スライドの最後まで" (Until the end of the slide). The "繰り返し(R)" (Repeat) is set to "スライドの最後まで" (Until the end of the slide). The "再生が終了したら巻き戻す(W)" (Wrap around when playback ends) checkbox is checked. The "開始のタイミング(T)" (Start Timing) is set to "クリックと運動した動作(A)" (Click and motion action). The "次のオブジェクトのクリック時に効果を開始(C)" (Start effect on click of next object) radio button is selected, with the object set to "ベートベンオルゴール・バイオリンソナタ..." (Beethoven's Piano Concerto No. 5...). The "OK" button is highlighted.
- オーディオ ツール (Audio Tools) task pane:** This pane is located in the bottom right corner of the slide. It has tabs for "書式" (Format) and "再生" (Playback). The "再生" tab is active, showing options for "開始:" (Start) set to "クリック時(C)" (On click), "音量" (Volume) set to "開始" (Start), and checkboxes for "停止するまで繰り返す" (Repeat until stopped) and "再生が終了したら巻き戻す" (Wrap around when playback ends), both of which are checked.

[目次へ戻る](#)



← 開始の設定等、再生に係る項目を左記(赤線枠)のとおり設定します。



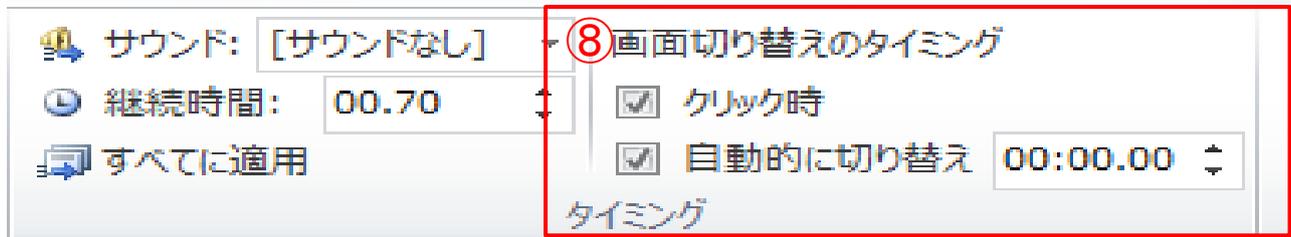
• ベートベンオルゴールにカーソルを合わせ、一番上にドラッグします。

• ドラッグ後のアニメーションのタイムラインをアニメーションウィンドウの「再生」ボタンをクリックし確認します。

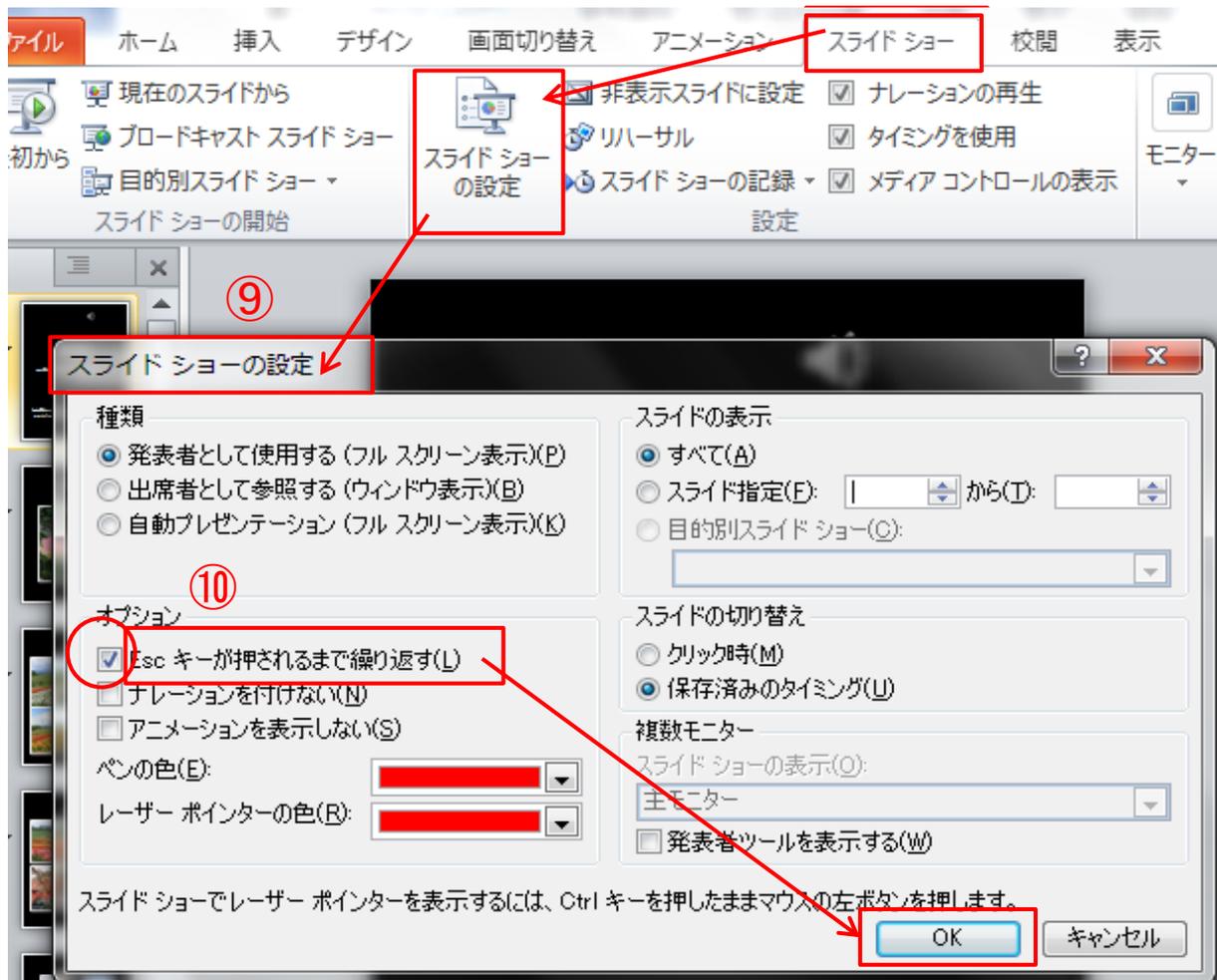
[目次へ戻る](#)



拡大図 ↓



⑧「画面切り替え」タブ→「タイミング」グループの「画面切り替えのタイミング」の「クリック時」と「自動的に切り替え」にチェックを入れます。



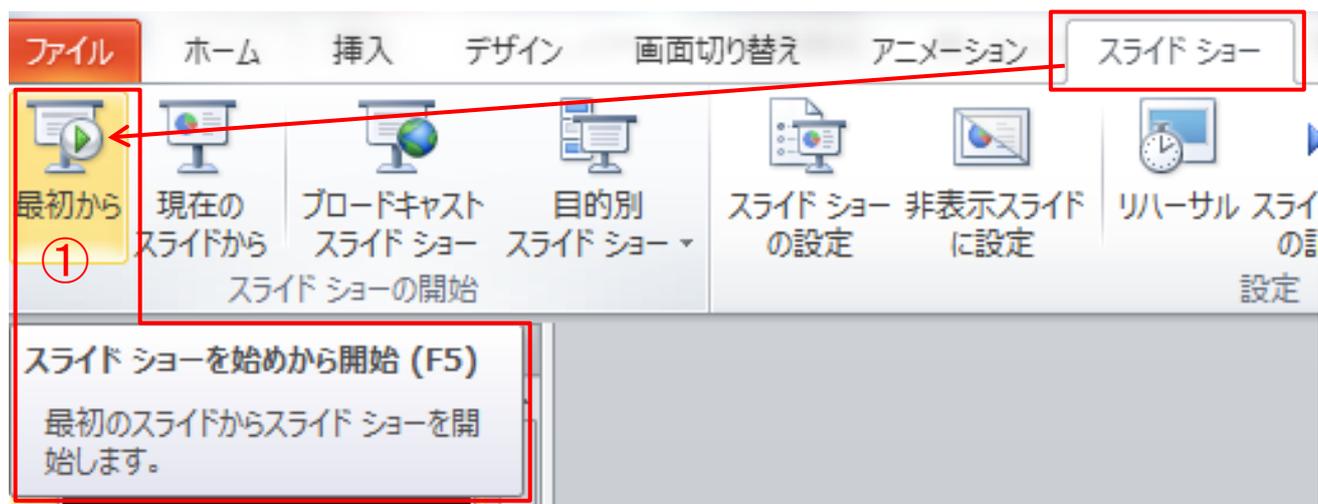
[目次へ戻る](#)

⑨「スライドショー」タブ→設定グループ「スライドショーの設定」をクリックすると、「スライドショーの設定」のウィンドウが開きます。

⑩オプション「ESC キーが押されるまで繰り返す」の「の中」にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックします。

## 第8章 スライドショー

### 1. スライドショーの実行



①「スライドショー」タブ→「スライドショーの開始グループ」の「最初から」をクリックすると、スライドショーが開始されます。

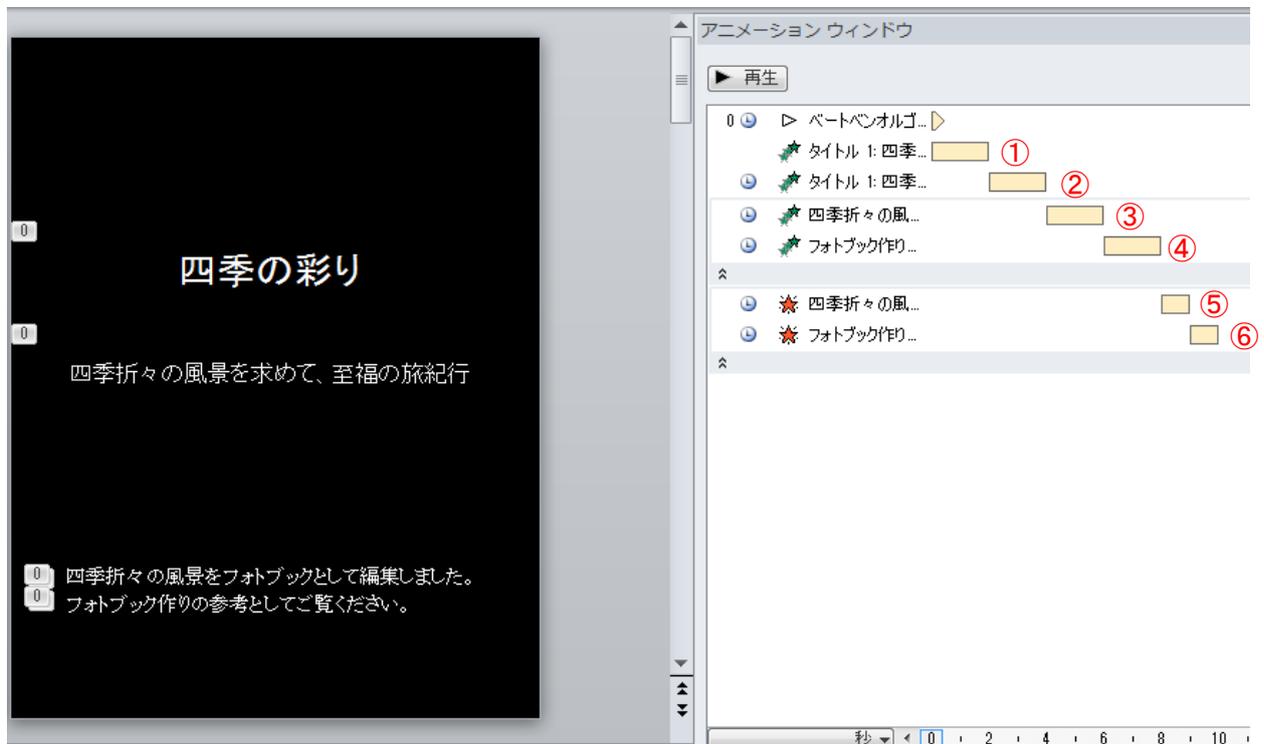
②BGM 入りのスライドショーが最後まで自動再生され、スライドショーが終了すれば完成です。

③スライドショー再生中に不具合があるときは、スライドショーを「ESC」キーを押して中断しスライド編集画面に戻します。不具合の生じたスライドのアニメーション設定に誤りがないかチェックし正しく修正します。

[目次へ戻る](#)

## 第9章 アニメーションのタイムライン(まとめ)

### 1.1 枚目スライドのタイムライン

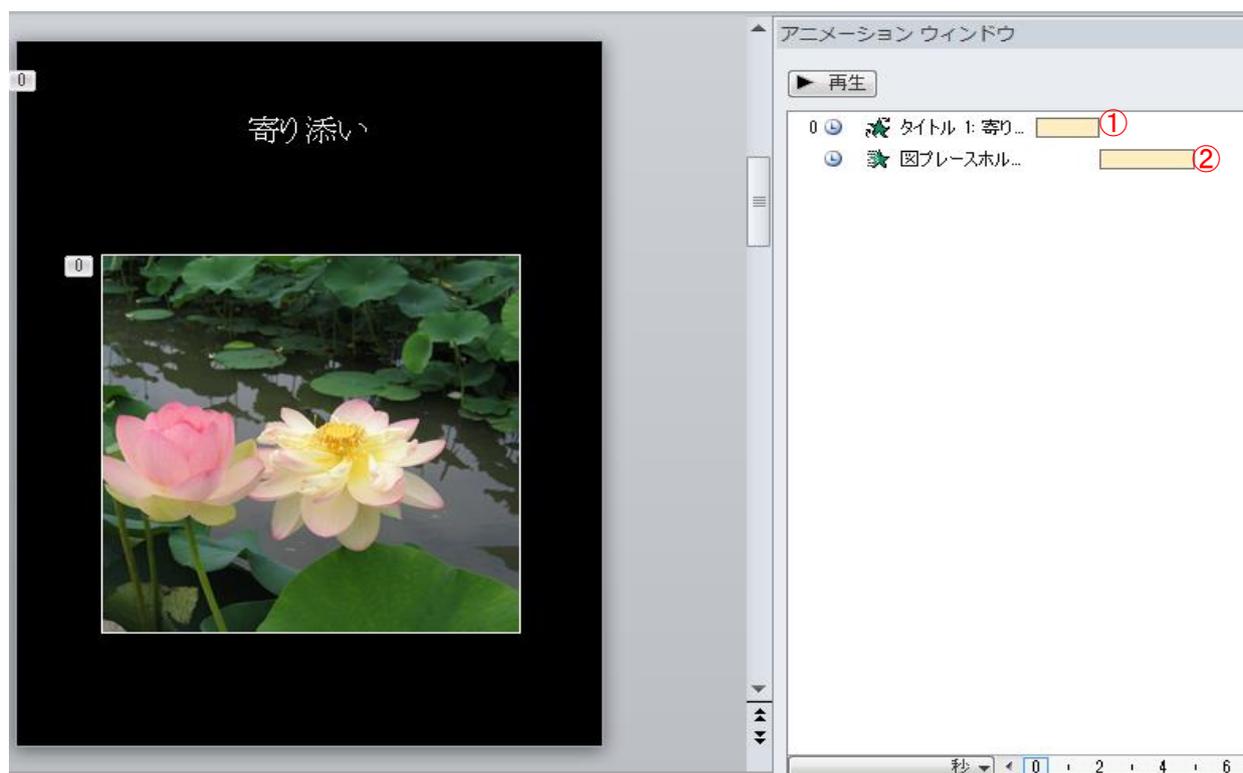


- ① 直前の動作と同時、タイミング「**継続時間 2 秒**」
- ②③④ 直前の動作の後、タイミング「**継続時間 2 秒**」
- ⑤⑥ 直前の動作の後、タイミング「**継続時間 1 秒**」

(メモ)

[目次へ戻る](#)

## 2. 2枚目のスライドのタイムライン



☆の記号は、スライドに「アニメーション」が設定されていることを表しています。

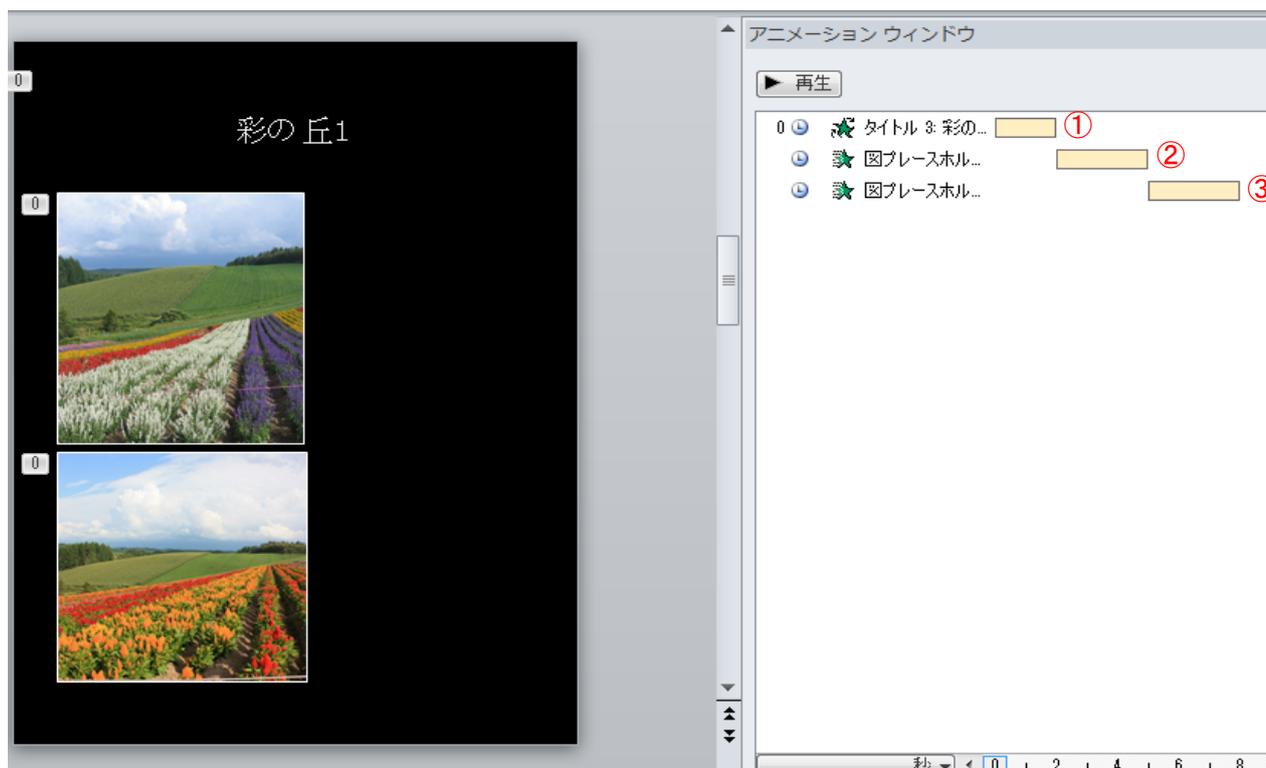
① 直前の動作の後、タイミング「**継続時間 2 秒**」

② 直前の動作の後、タイミング「**継続時間 3 秒**」

(メモ)

[目次へ戻る](#)

### 3. 3枚目のスライドのタイムライン



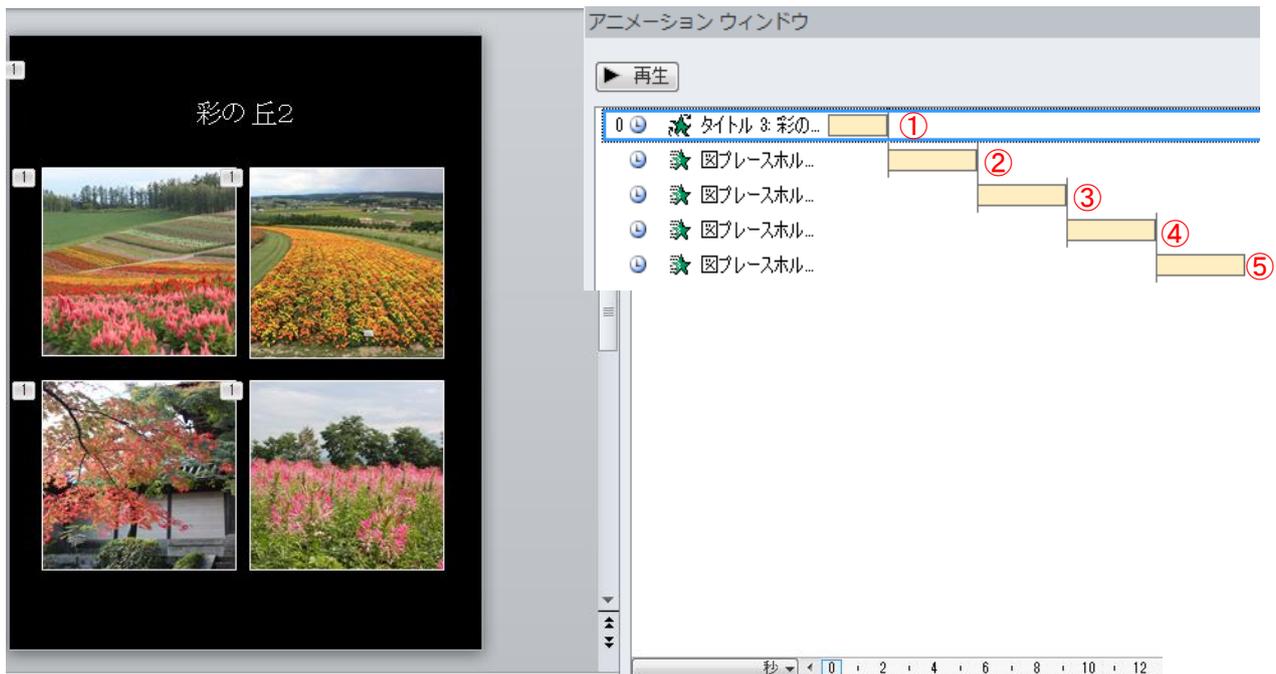
☆の記号は、スライドに「アニメーション」が設定されていることを表しています。

- ① 直前の動作の後、タイミング「継続時間 2 秒」
- ② 直前の動作の後、タイミング「継続時間 3 秒」
- ③ 直前の動作の後、タイミング「継続時間 3 秒」

(メモ)

[目次へ戻る](#)

## 4. 4枚目のスライドのタイムライン



- ① 直前の動作の後、タイミング「継続時間 2 秒」
- ② 直前の動作の後、タイミング「継続時間 3 秒」
- ③④⑤ 直前の動作の後、タイミング「継続時間 3 秒」

(メモ)

[目次へ戻る](#)

## 5. 5枚目のスライドのタイムライン

(メモ)

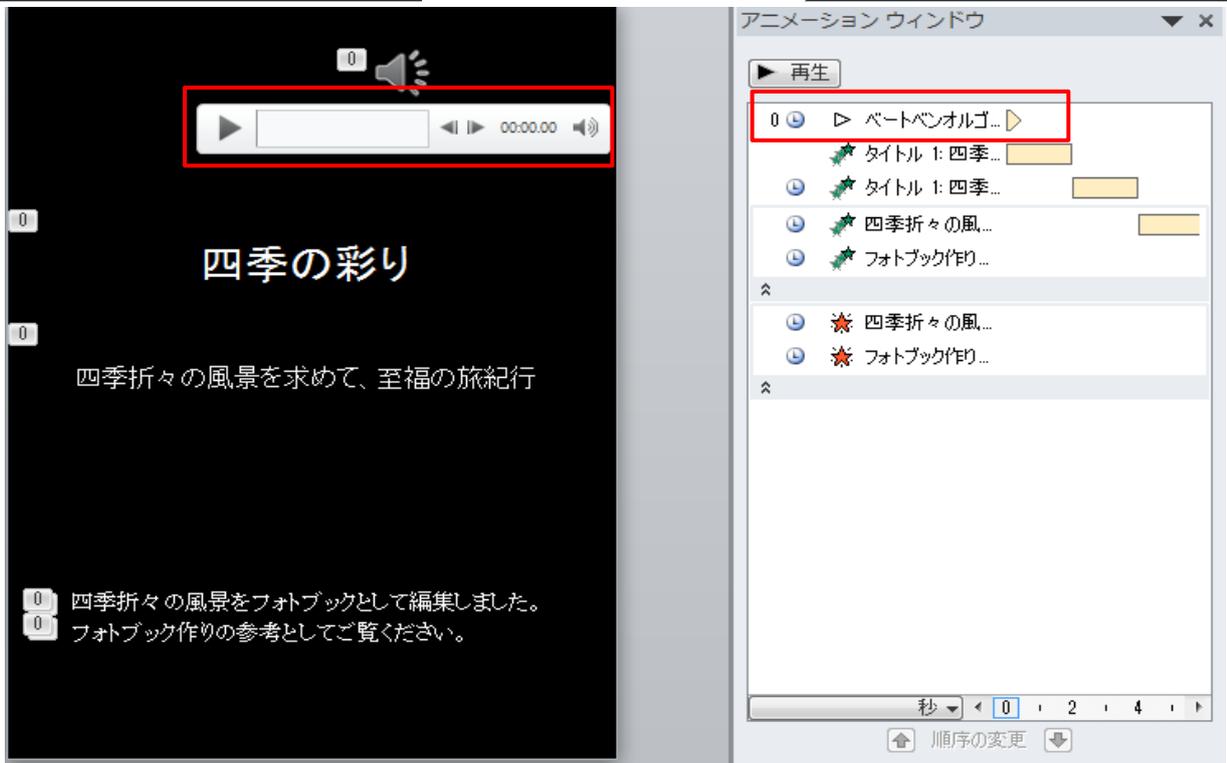
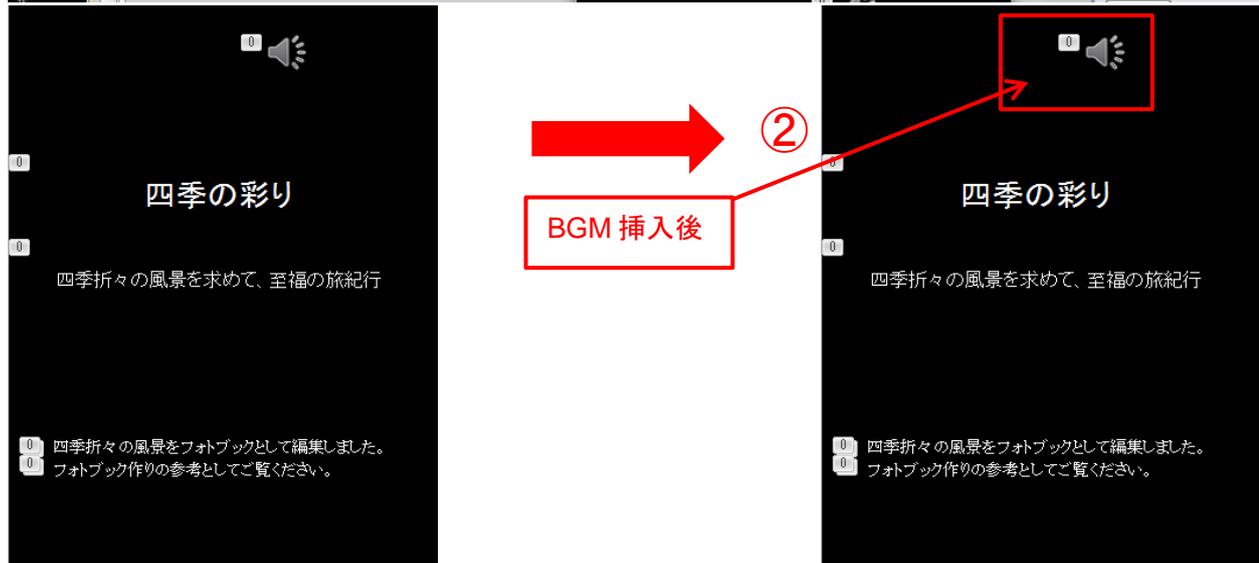
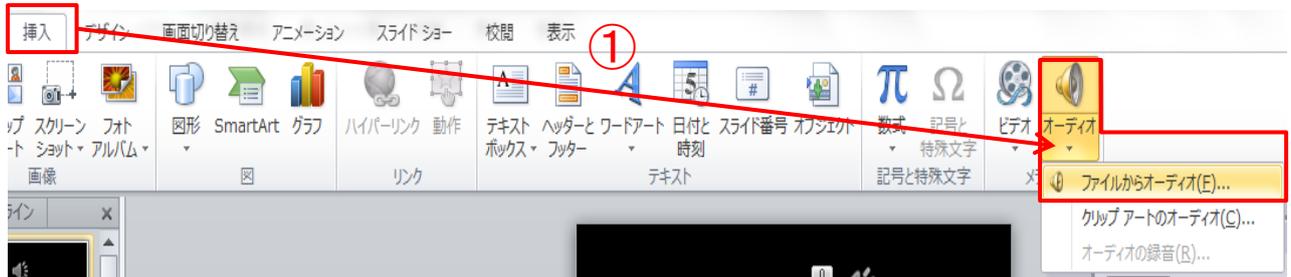


- ① 直前の動作の後、ワイプ、タイミング「継続時間 3 秒」
- ② 直前の動作の後、ワイプ、タイミング「継続時間 3 秒」
- ③ 直前の動作の後、ワイプ、タイミング「継続時間 3 秒」
- ④ 直前の動作の後、フェード、タイミング「継続時間 3 秒」
- ⑤ 直前の動作の後、フェード、タイミング「継続時間 3 秒」
- ⑥ 直前の動作の後、フェード、タイミング「継続時間 3 秒」

[目次へ戻る](#)

# 第10章 メディアの挿入と設定(まとめ)

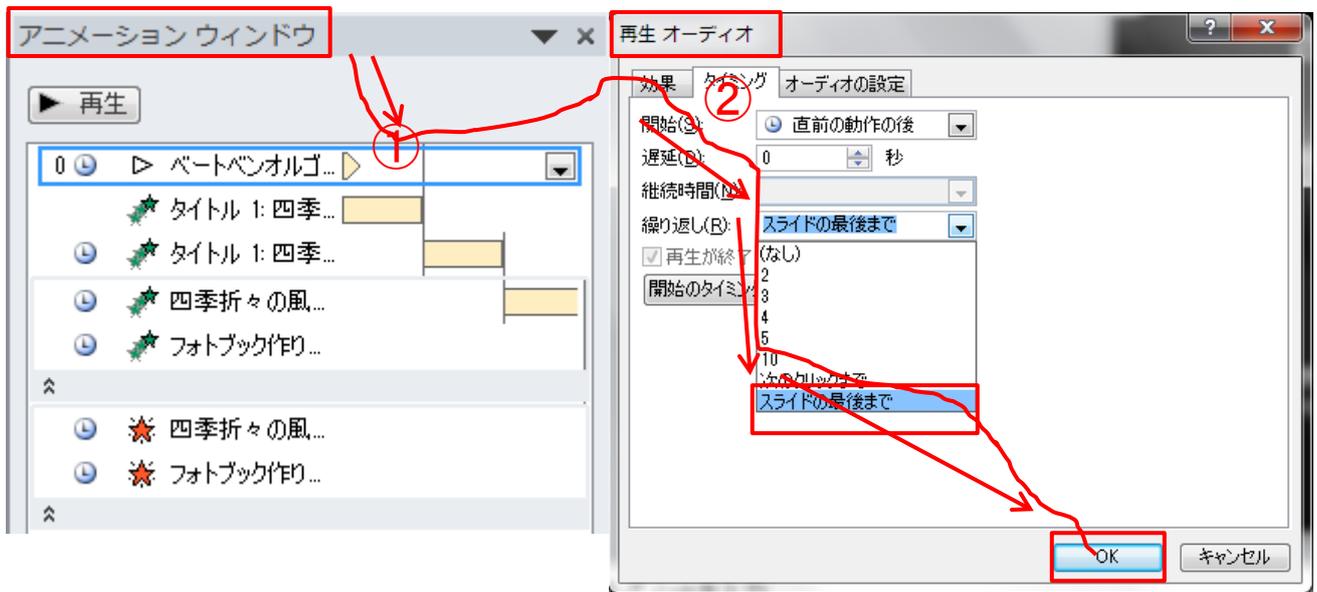
## 1. オーディオファイルの挿入



[目次へ戻る](#)

- ①1枚目のスライドを選択、「挿入」タブから「メディア」グループのオーディオをクリックし、「ファイルからオーディオ」を選択します。
- ②「オーディオ」が挿入されると「スピーカー」アイコンが表示されます。
- ③「スピーカー」アイコンにマウスを重ねると「再生ボタン」が表示されます。再生ボタンをクリックし BGM を確認します。

## 2. 再生オーディオの設定

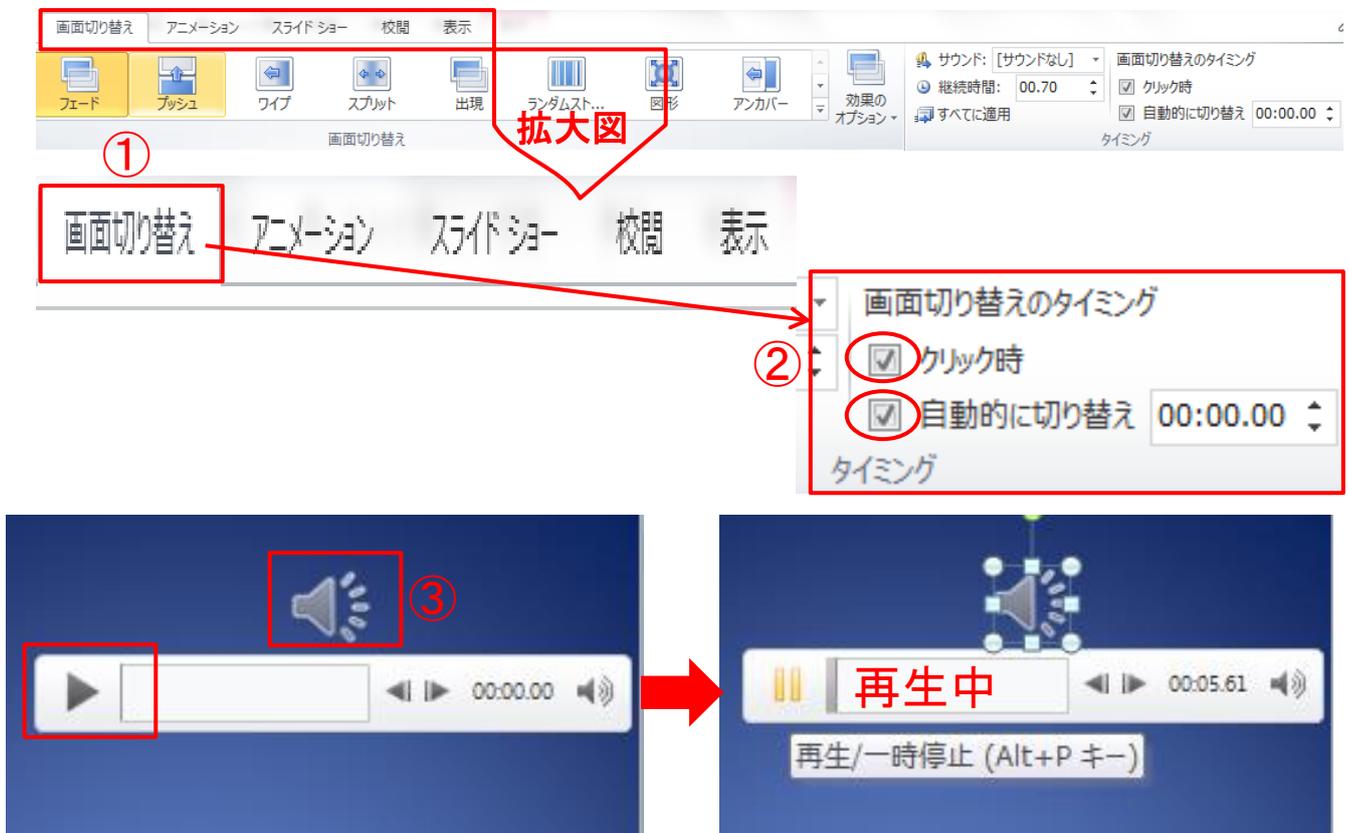


- ①アニメーションウインドウの「ベートベンオルゴ…」を選択し「右クリック」します。
- ②再生オーディオのダイアログボックスから「タイミング」を選択し、繰り返しの項目を「スライドの最後まで」を選択して「OK」ボタンを押します。このタイミング設定により、スライドの最後までオーディオが再生されます。
- ③「スピーカー」アイコンにマウスを重ねると「再生ボタン」が表示されます。再生ボタンをクリックし BGM を確認します。

[目次へ戻る](#)

# 第11章 プレゼンテーションの自動切り替え

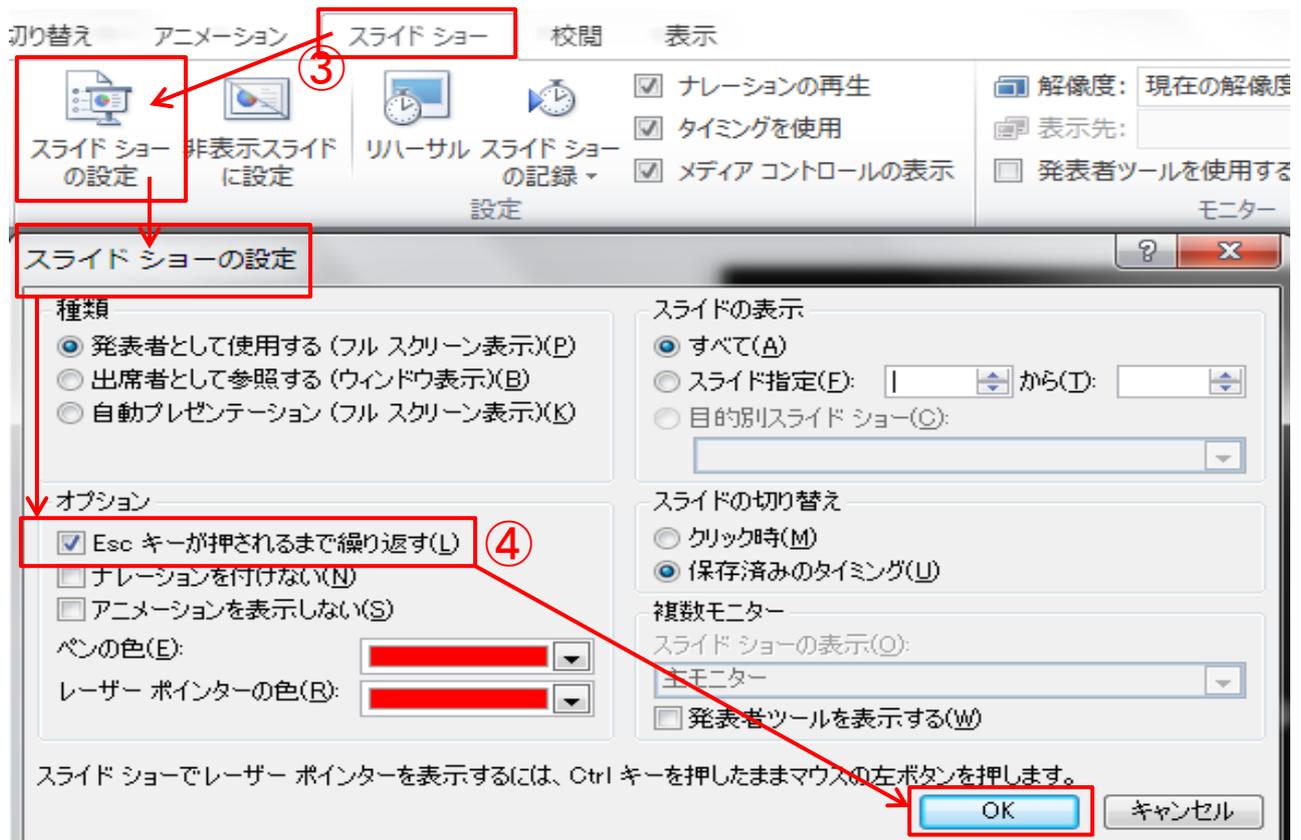
## 1. プレゼンテーションの自動切り替えの設定



- ①「画面切り替え」タブのタイミンググループ「クリック時、自動的に切り替え」の「」にチェックを入れます。
- ②再生オーディオのダイアログボックスから「タイミング」を選択し、繰り返しの項目を「**スライドの最後まで**」を選択して「OK」ボタンを押します。このタイミング設定により、スライドの最後までオーディオが再生されます。
- ③「スピーカー」アイコンにマウスを重ねると「再生ボタン」が表示されます。再生ボタンをクリックし BGM を確認します。

[目次へ戻る](#)

## 2. スライドショーの設定



③「スライドショー」タブの設定グループの「スライドショーの設定」を選択します。

④表示された「スライドショーの設定」ダイアログボックスから「オプション」の項目「 Esc キーが押されるまで繰り返す」にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックします。

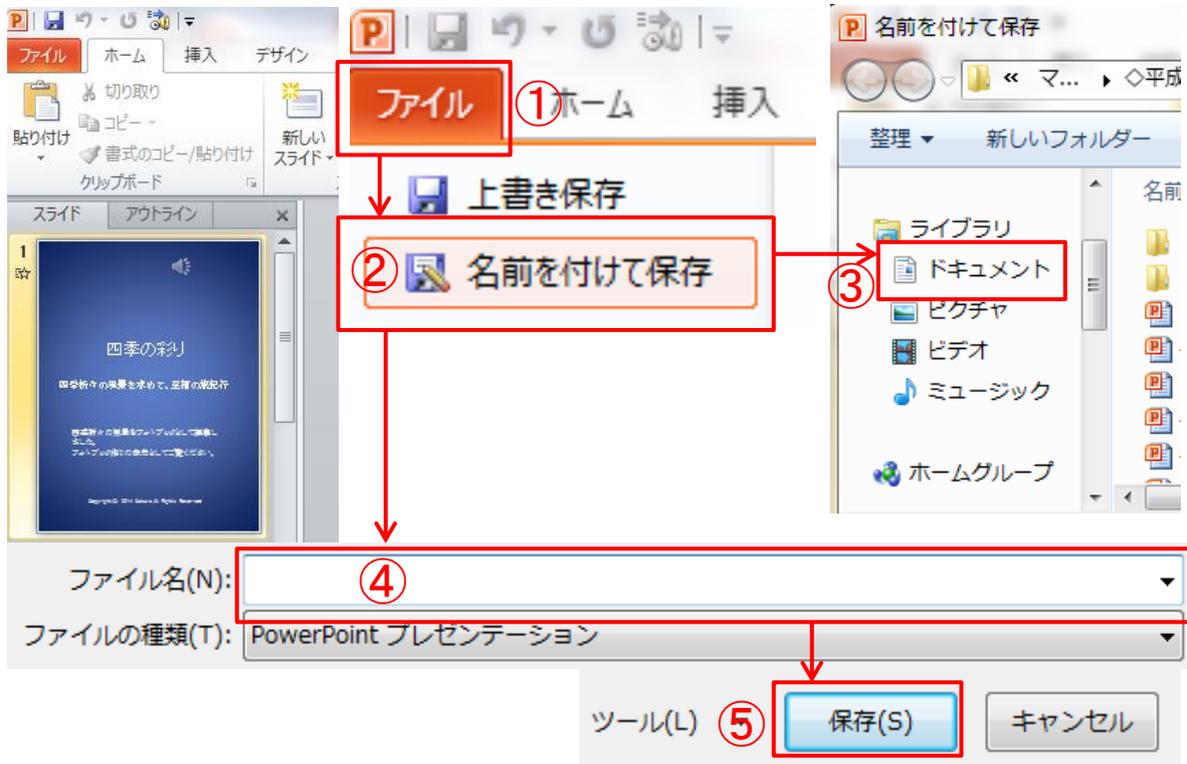
⑤上記①～④の設定により、「Esc」キーが押下されるまでオーディオ入りのスライドショーが自動で繰り返されます。

[目次へ戻る](#)

## 第12章 ファイル・メディアへの保存

### 1. ファイルの保存

#### (1) ドキュメントへの保存

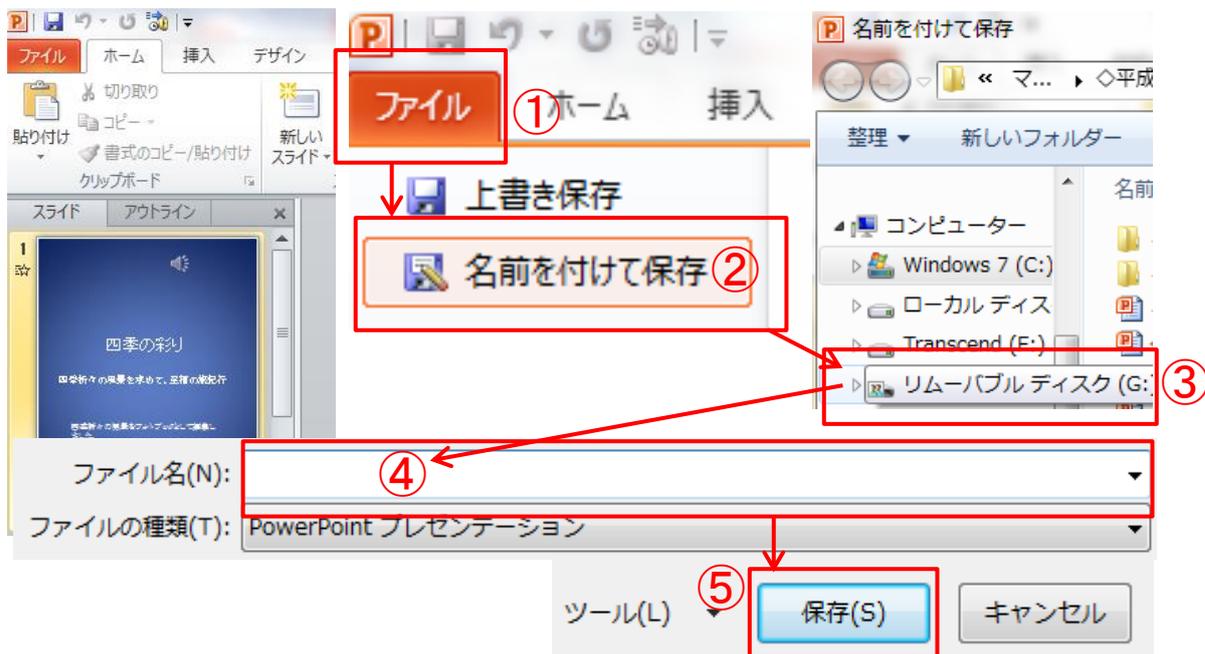


- ① ファイルを選択します。
- ② 「名前を付けて保存」を選択します。
- ③ 保存先に「ドキュメント」を選択します。
- ④ 「ファイル名」を入力します。
- ⑤ 「保存」をクリックします。

(メモ)

[目次へ戻る](#)

## (2) USB メモリへの保存



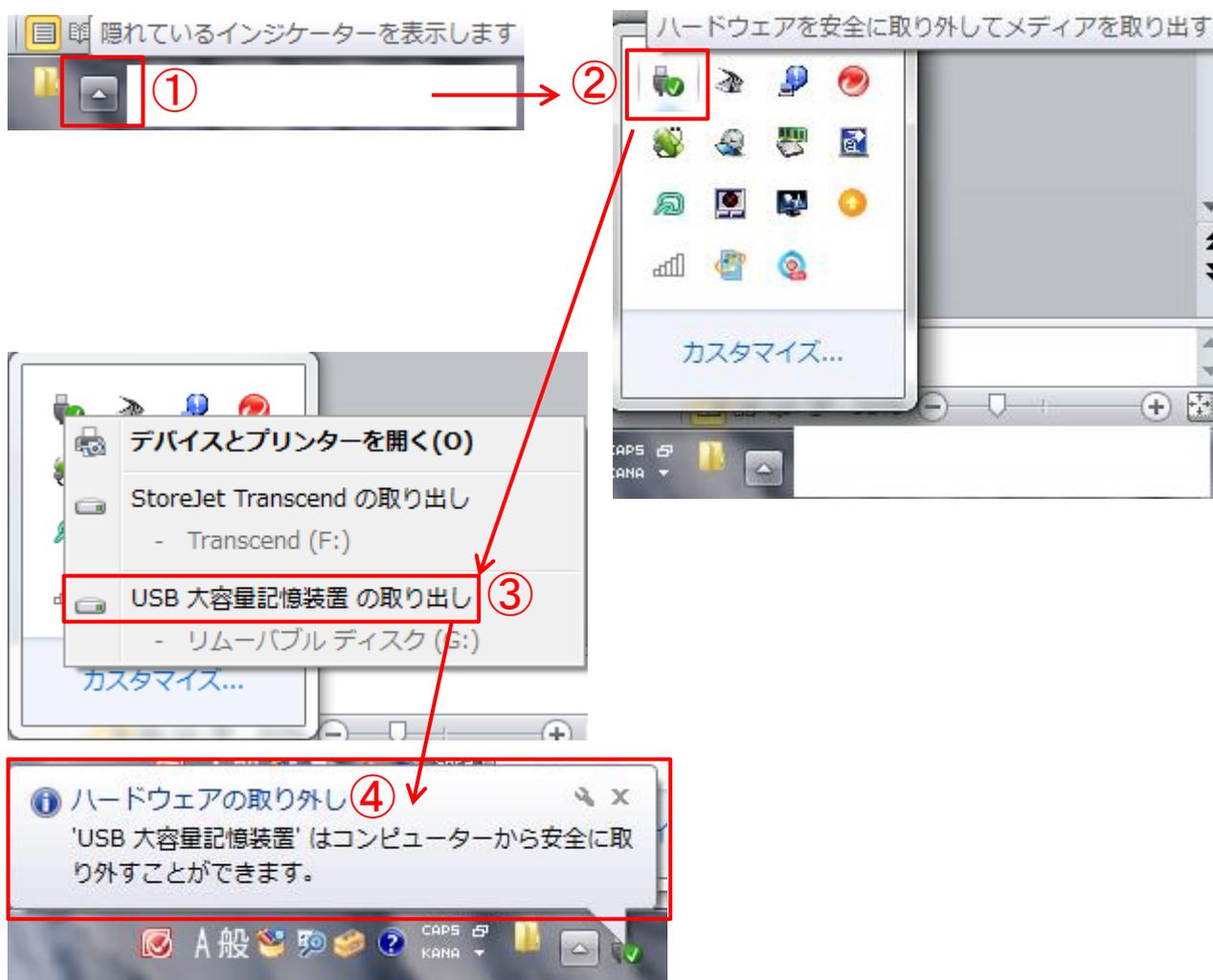
- ①ファイルを選択します。
- ②「名前を付けて保存」を選択します。
- ③保存先に「リムーバブルディスク」を選択します。
- ④「ファイル名」を入力します。
- ⑤「保存」をクリックします。

(メモ)

[目次へ戻る](#)

## 2. メディアの安全な取り外し(ここでは、USB メモリで説明)

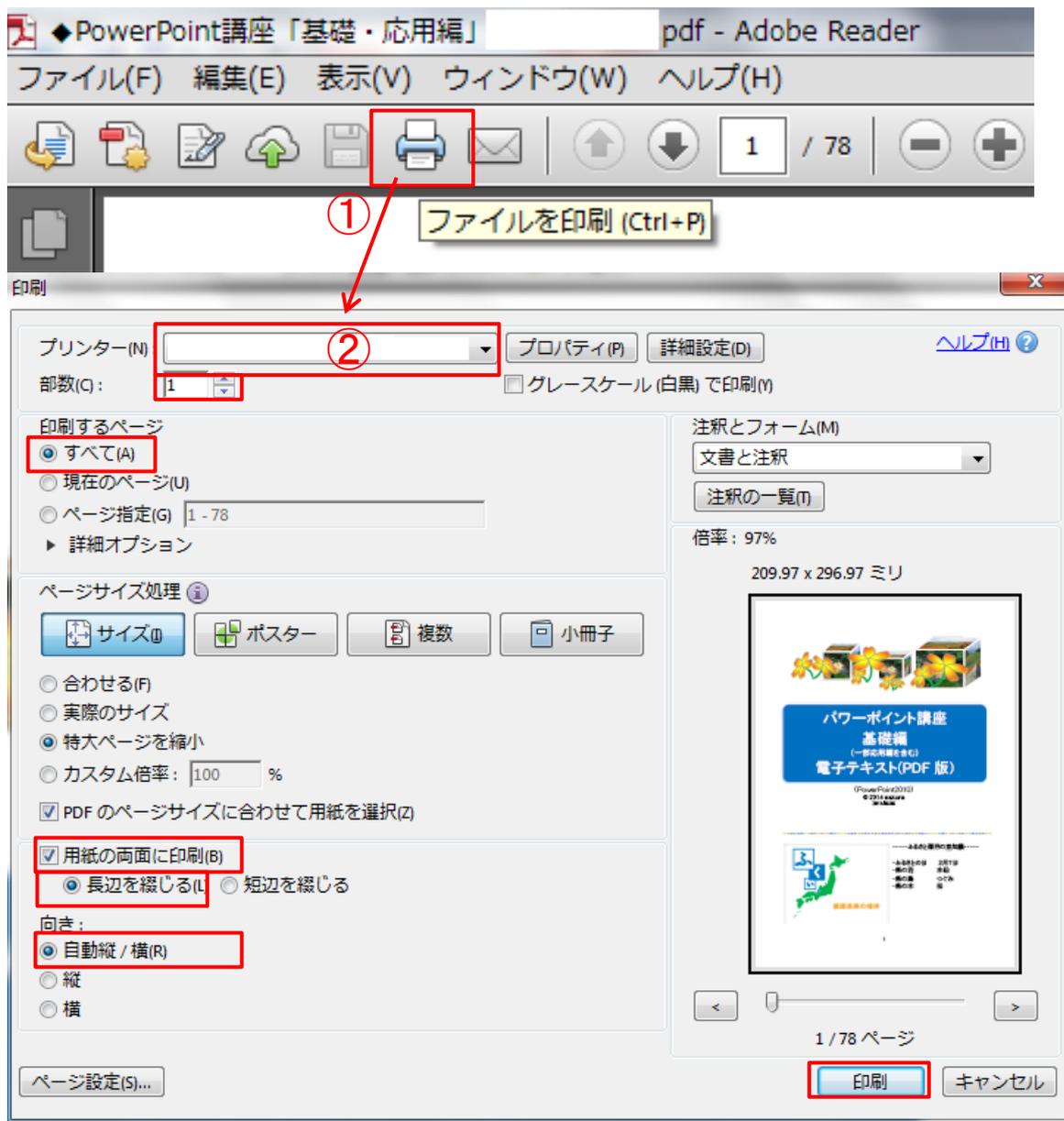
- ①画面のタスクバー「△」ボタンをクリックします。
- ②表示されたカスタマイズのダイアログボックスから「ハードウェア」の記号を選択します。
- ③デバイスから「USB 大容量記憶装置の取り出し」をクリックします。
- ④「ハードウェアの取り外し」が表示されます。これで、メディア(USB メモリ)を安全に取り出すことができます。



[目次へ戻る](#)

## 第13章 印刷

### 1. PDF テキストの印刷



①「プリンター」マークをクリックします。

②「プリンター」の選択→「部数」の選択→「印刷するページ」の選択→「用紙の両面に印刷」を選択(両面印刷機能のあるプリンタの場合)→印刷の「向き」選択→「印刷」ボタンをクリックします。

[目次へ戻る](#)

## 第14章 パソコン用語の基礎知識

本テキストにでてくる用語を理解するうえでの基礎知識としてご活用ください。

### 1. ハードディスクドライブ (HDD)

HDD・・・Hard disk drive の略。

OS やアプリケーション、文書などのファイルを保存しておくための記憶装置です。

### 2. メモリ (memory)

データを電氣的に記憶する装置のことです。

### 3. ダイアログボックス (dialog box)

パソコンから「警告」や「確認」が必要な場合に表示されるウインドウのことです。

### 4. ハンドル

「○」(丸ハンドル)

- ・クリップアートの縦横比をそろえたままサイズ変更できます。
- ・クリップアートのサイズを変更するとき、基本的には○(ハンドル)を使います。

「□」(四角ハンドル)

- ・クリップアートの高さまたは幅だけサイズ変更できます。
- ・クリップアートの縦横比が崩れて見た目が悪くなる場合があります。

### 5. ビットとバイト(容量を表す単位)

コンピューターで扱うデータは、bit(ビット)とbite(バイト)の単位。8bit 集まったものを 1bite といいます。

- ・1B(バイト) × 1,024 → 1KB
- ・1KB(キロバイト) × 1,024 → 1MB
- ・1MB(メガバイト) × 1,024 → 1GB
- ・1GB(ギガバイト) × 1,024 → 1TB
- ・1TB(テラバイト)

[目次へ戻る](#)

## 6. 10進数と2進数

例 15 を 2 進数に変換

2 で割った余りを調べて、下の桁から順に並べます。

$$15 \div 2 = 7 \text{ 余り } 1$$

$$7 \div 2 = 3 \text{ 余り } 1$$

$$3 \div 2 = 1 \text{ 余り } 1$$

$$1 \div 2 = 0 \text{ 余り } 1$$

となり、15 は 2 進数に変換すると「1 1 1 1」になります。

## 第15章 Windows の歴史

・1985年……Windows 1.0

～

・2000年……Windows Me

・2001年……Windows XP

・2003年……Windows 2003

・2007年……Windows VISTA

・2009年……Windows 7

・2012年……Windows 8

(メモ)

[目次へ戻る](#)

## おわりに

「パワーポイント講座 基礎編」いかがでしたか。プレゼンテーションを作成するとき、遊び心を取り入れることも大切です。ときには音楽や動画を入れることで、見る人の聴覚、視覚を刺激し脳の活性化にも繋がるとともに、印象に残る効果的なプレゼンテーションになります。

継続は力なり、一つ一つの学びの積み重ねが大切です。今回の講座で学んだことを繰り返し復習することをお勧めします。

旅行など、楽しい思い出でのデジタル写真を PowerPoint の持つ多彩な機能を活かして、新しい作品づくりにチャレンジ「世界に一つ、あなただけの素晴らしいオリジナル作品」を作り、学びの花を咲かせましょう。

パソコン講座で学んだ知識を人に教えることは、自らのスキルアップに繋がります。ぜひ、教えることにもチャレンジしていただき、共に「学ぶことの楽しさ」・「生きがい」・「人と人との触れ合い」を通して「学びの輪」、「人と人の和と輪」沢山の「虹の架け橋」を架けましょう。

電子テキストをPC画面に表示して復習、または新しい作品づくりの際にツールバーを右クリック、「ウインドウを左右に並べて表示」するなどしてご活用ください。

今後、このような講習会の機会があれば、ぜひ皆様に、またのご参加をいただき、さらなるスキルアップの一助になればとスタッフ一同、心からお待ちしております。

皆様のご健康とご多幸、ご活躍をお祈り申し上げます。

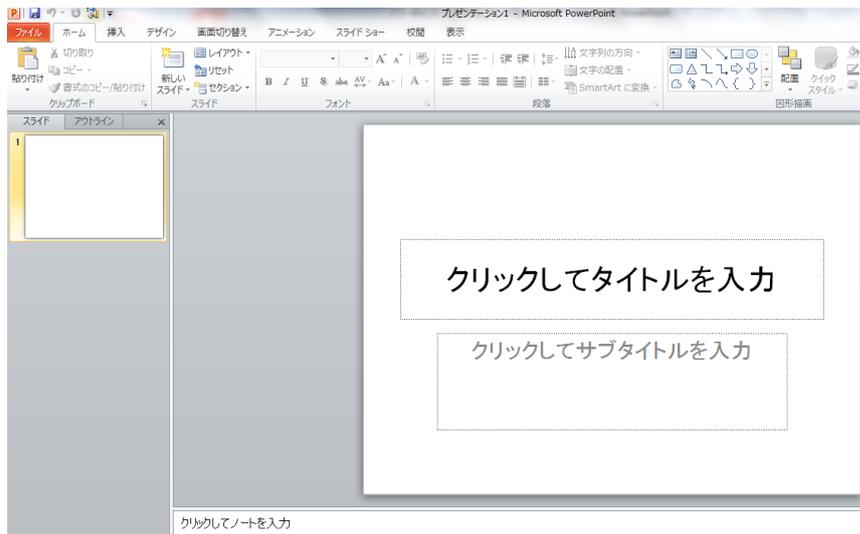
[はじめに戻る](#)  
[目次へ戻る](#)

## (応用編)

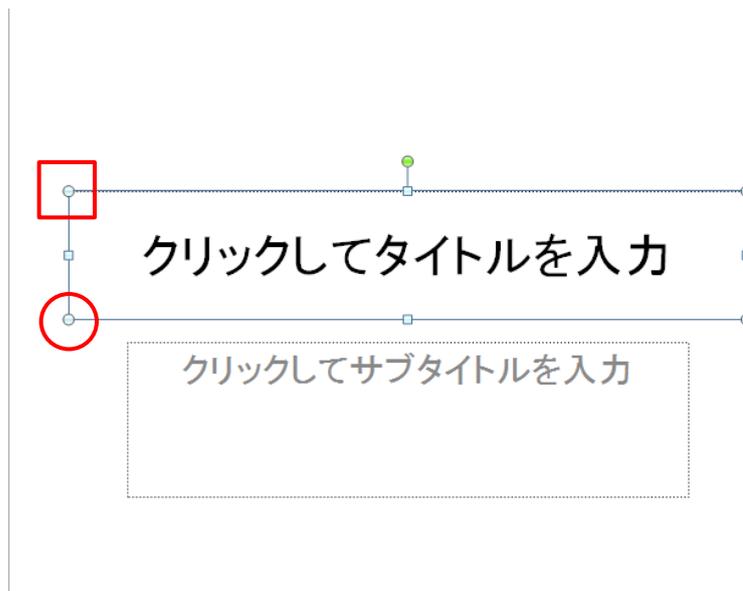
### 第16章 アニメーションの設定

#### 1. ユーザ設定パス

(1) PowerPoint を起動します。



(2) 「クリックしてタイトルを入力」の線上でクリックし選択状態にします。選択状態になると**ハンドル**が表示されます。



[目次へ戻る](#)

### (3) ユーザ設定パス

(ア) 「アニメーション」タブから「アニメーショングループ」の「ユーザ設定パス」を選択しクリックします。(図1)

(イ) スライド上にマウスカーソルを移動すると「+」のマークが表示され、描画が可能となります。(図2)

(ウ) マウスを使ってフリーハンドで始点から矢印の方向に線を描画します。描画した終点でダブルクリックし終了します。(図3)

※フリーハンドでの描画は、何度となく描くことで習得できます。アニメーション設定を学ぶ上で、習得しておく便利な描画の一つです。

図1

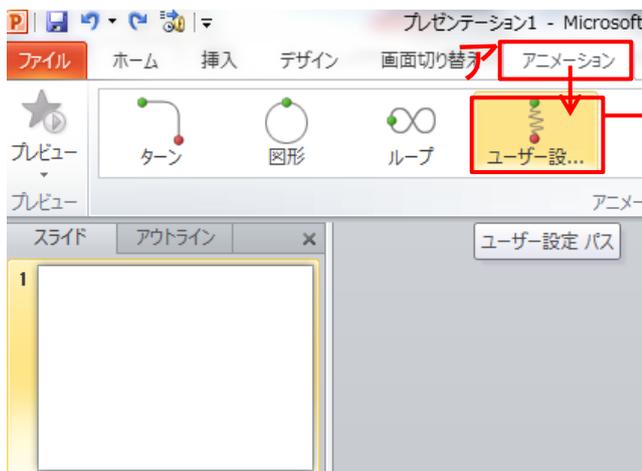


図2

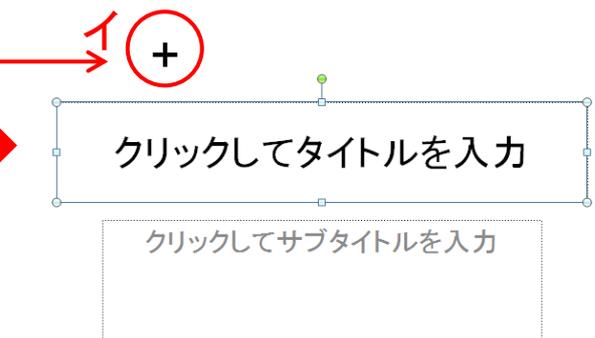
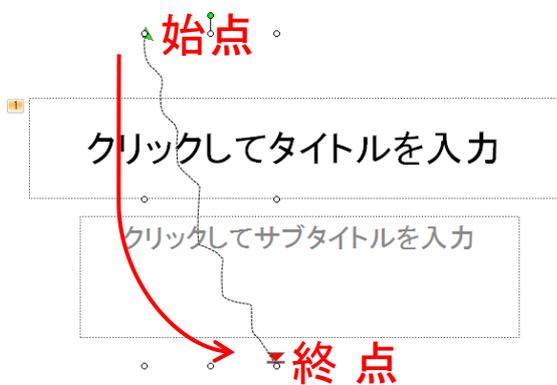


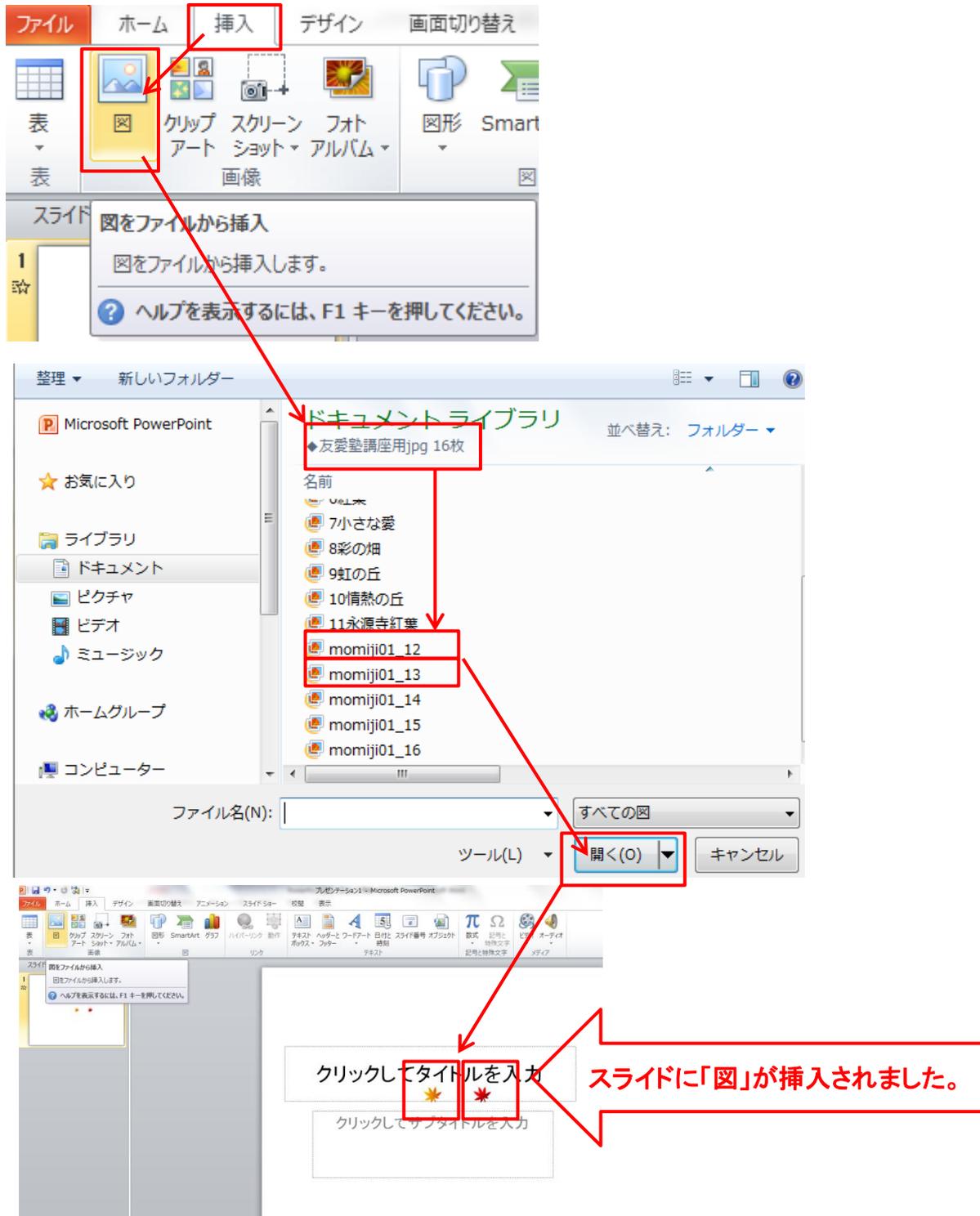
図3



[目次へ戻る](#)

## 2. 図の挿入とユーザ設定パス

- (ア) 「挿入」タブから「画像」グループの「図」を選択します。
- (イ) サンプル画像から「紅葉 12、13」を挿入します。



[目次へ戻る](#)

- (ウ) 「クリックしてタイトルを入力」と「クリックしてサブタイトルを入力」を選択(図1)して「Delete」キーを押下、削除します。
- (エ) 「図 12」、「図 13」を選択し「図2」のように移動します。

図1

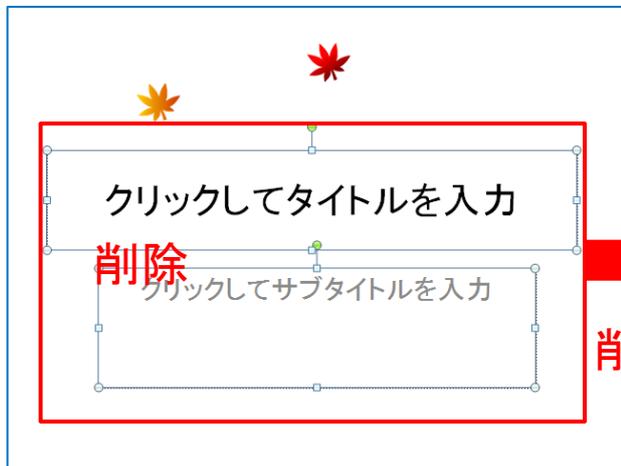


図2



- (オ) 「紅葉 12」を選択します。(図3)
- (カ) 「アニメーション」タブから「ユーザ設定パス」を選択します。

図3

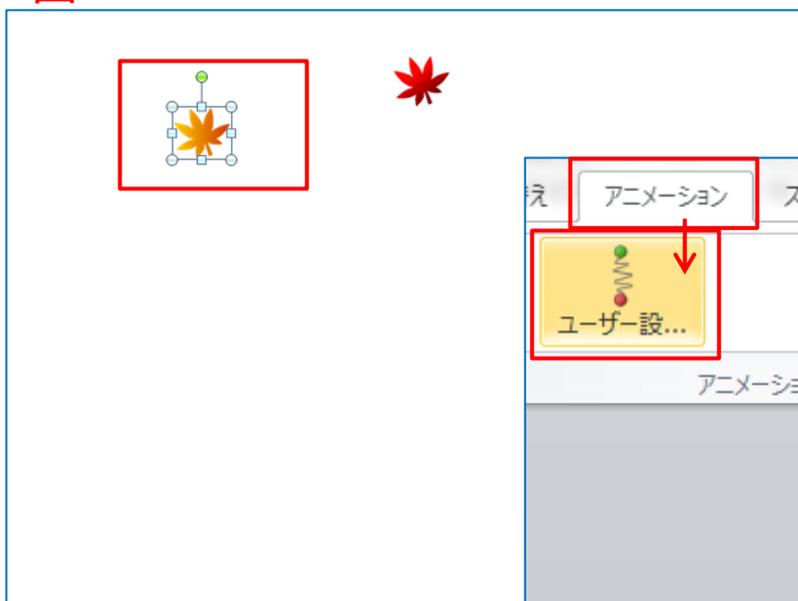
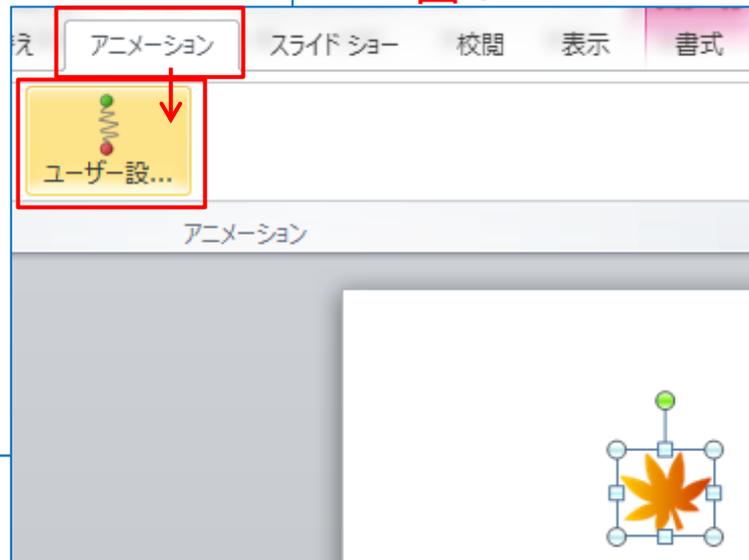


図4



[目次へ戻る](#)

- (キ) 「紅葉 12」と「紅葉 13」にそれぞれアニメーションの軌跡を描画します。(図 5・図 6)
- (ク) 描画したアニメーションの設定が「アニメーションウインドウ」に表示されます。(図 7)

図 5

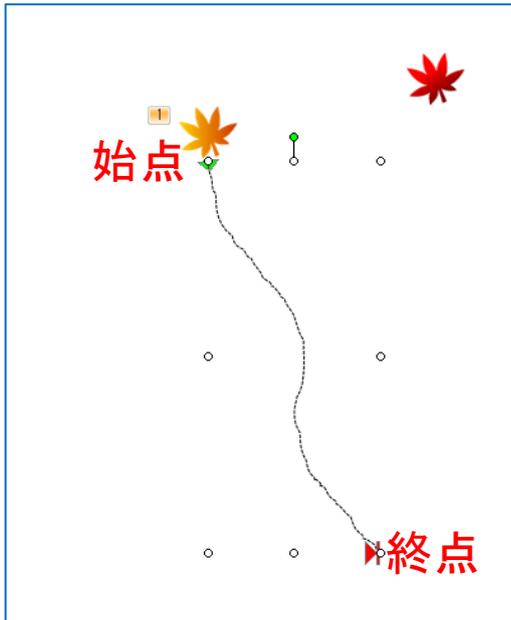


図 6

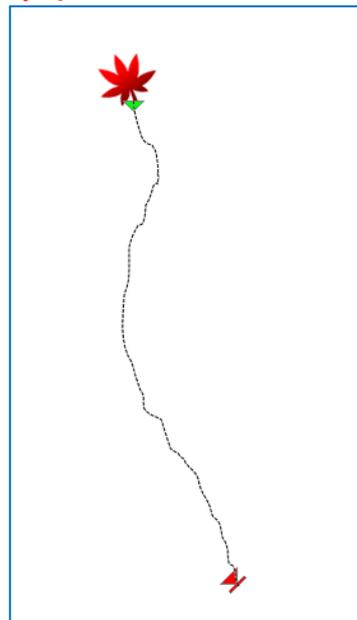
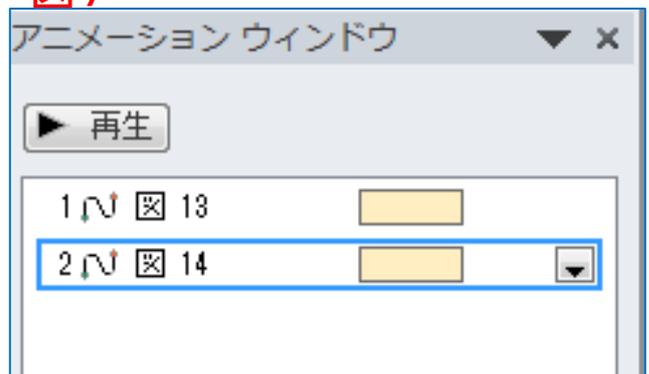
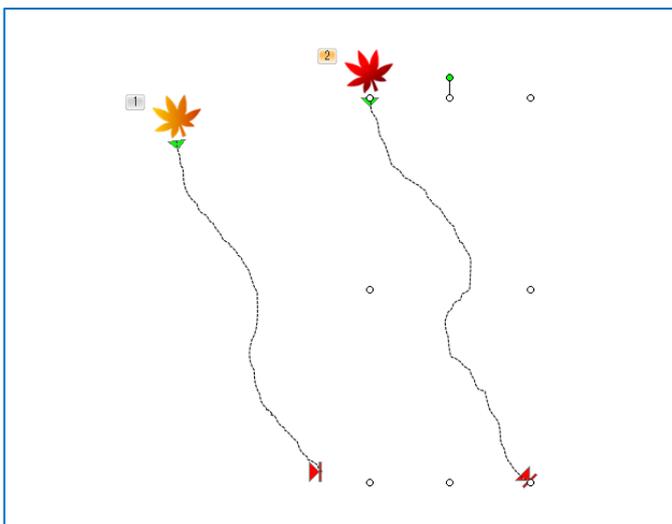


図 7



[目次へ戻る](#)

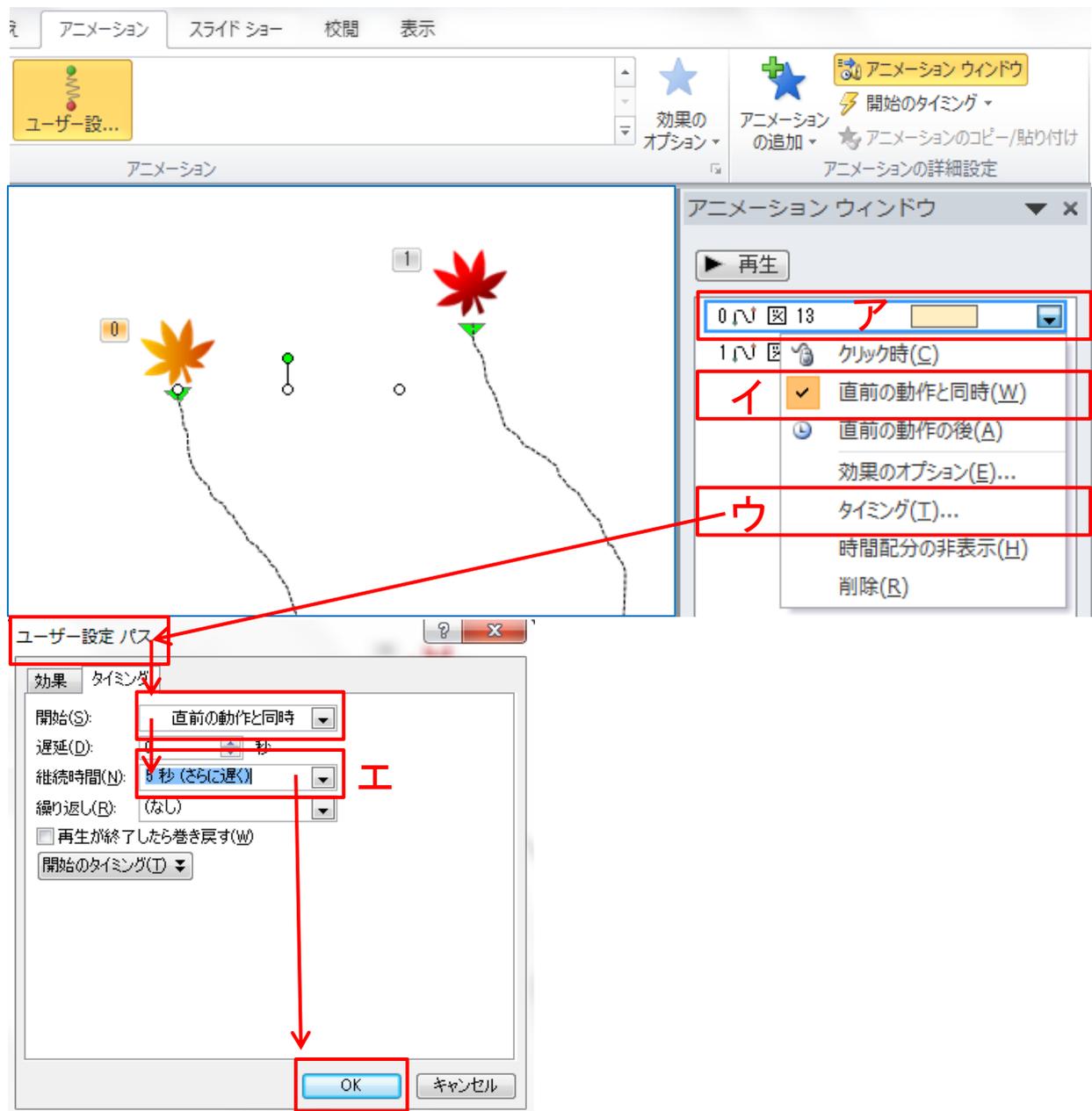
### 3. アニメーションの詳細設定

#### (1) 1枚目「紅葉」のアニメーション詳細設定

(ア) アニメーションウインドウの一つ目(ここでは図 13)の上で右クリックします。

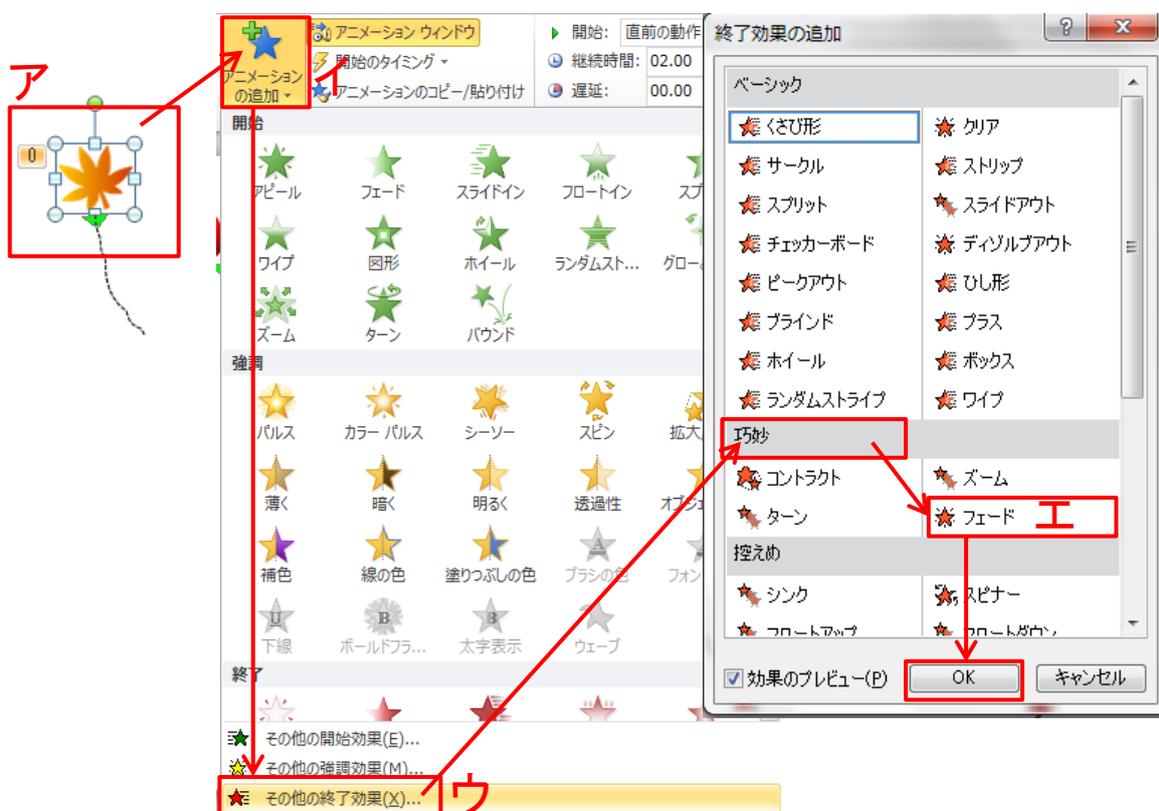
(イ) 「直前の動作と同時」にチェックを入れます。

(ウ) つぎに「タイミング」を選択します。「ユーザ設定パス」のダイアログボックスが開きます。



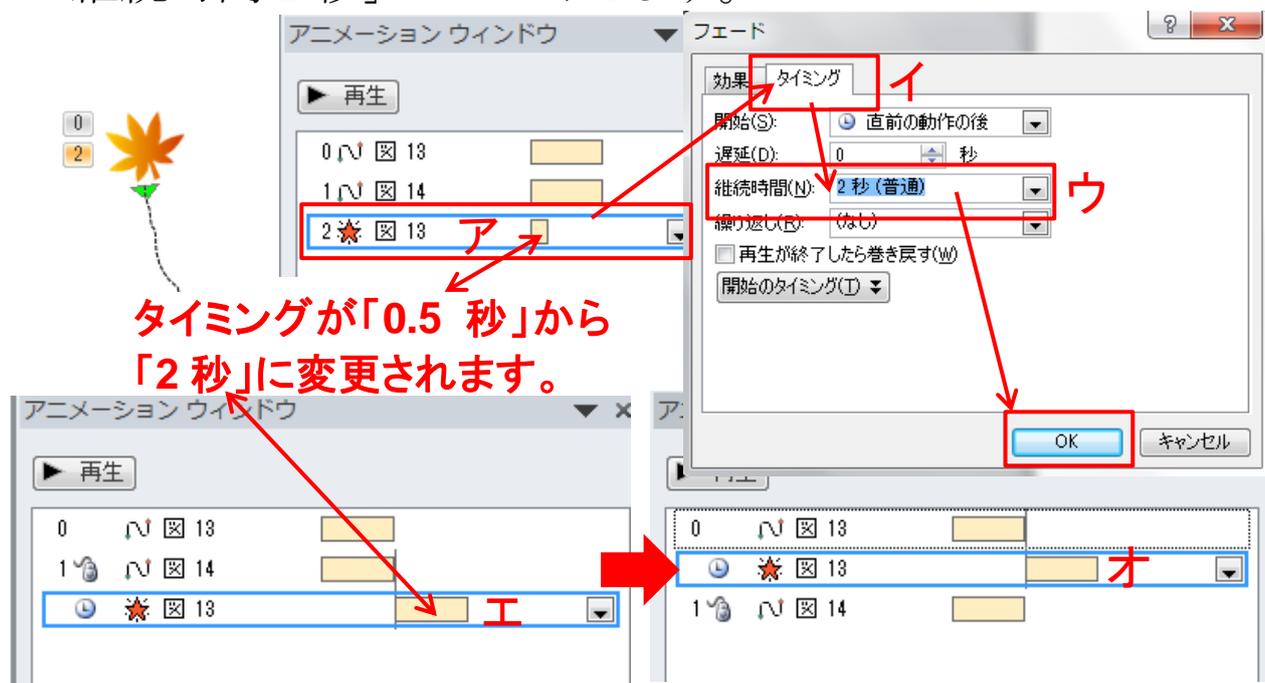
[目次へ戻る](#)

- (エ) 「ユーザ設定パス」のダイアログボックスのタイミングが「直前の動作と同時」になっていることを確認します。「継続時間」を「5秒(さらに遅く)」に設定し、「OK」ボタンをクリックします。
- (2) 2枚目「紅葉」のアニメーション詳細設定
- (ア) アニメーションウインドウの一つ目(ここでは図 14)の上で右クリックします。
- (イ) 「直前の動作と同時」にチェックを入れます。
- (ウ) つぎに「タイミング」を選択します。「ユーザ設定パス」のダイアログボックスが開きます。
- (エ) 「ユーザ設定パス」のダイアログボックスのタイミングが「直前の動作と同時」になっていることを確認します。「継続時間」を「5秒(さらに遅く)」に設定し、「OK」ボタンをクリックします。
- (3) 1枚目と2枚目の紅葉に「アニメーションの追加」設定をします。(1枚目の設定後、2枚目も同様に設定します。)



[目次へ戻る](#)

- (ア) 1枚目の紅葉を選択します。選択されると「紅葉」がハンドルのついた枠線で囲まれます。
- (イ) アニメーションの詳細設定グループの「アニメーションの追加」をクリックするとダイアログボックスが開きます。
- (ウ) ダイアログボックスから「その他の終了効果」をクリックします。
- (エ) 表示された「終了効果の追加」ダイアログボックスの中から「巧妙」の「フェード」を選択し「OK」ボタンをクリックします。
- (4) 「終了効果の追加」後のアニメーション「タイミング」設定。
- (ア) アニメーションウインドウ「★図 13」の上で右クリックします。
- (イ) 「フェード」ダイアログボックスのタイミングを設定します。
- (ウ) 「継続時間」に「2 秒(普通)」を設定し「OK」ボタンをクリックします。
- (エ) タイミング設定後のアニメーションウインドウの表示は「エ」のようになります。
- (オ) 「★図 13」を選択し「図 13」の下にドラッグします。この設定により「図 13 の紅葉」が動作したあとに終了効果として設定した「継続時間 2 秒」でフェードします。



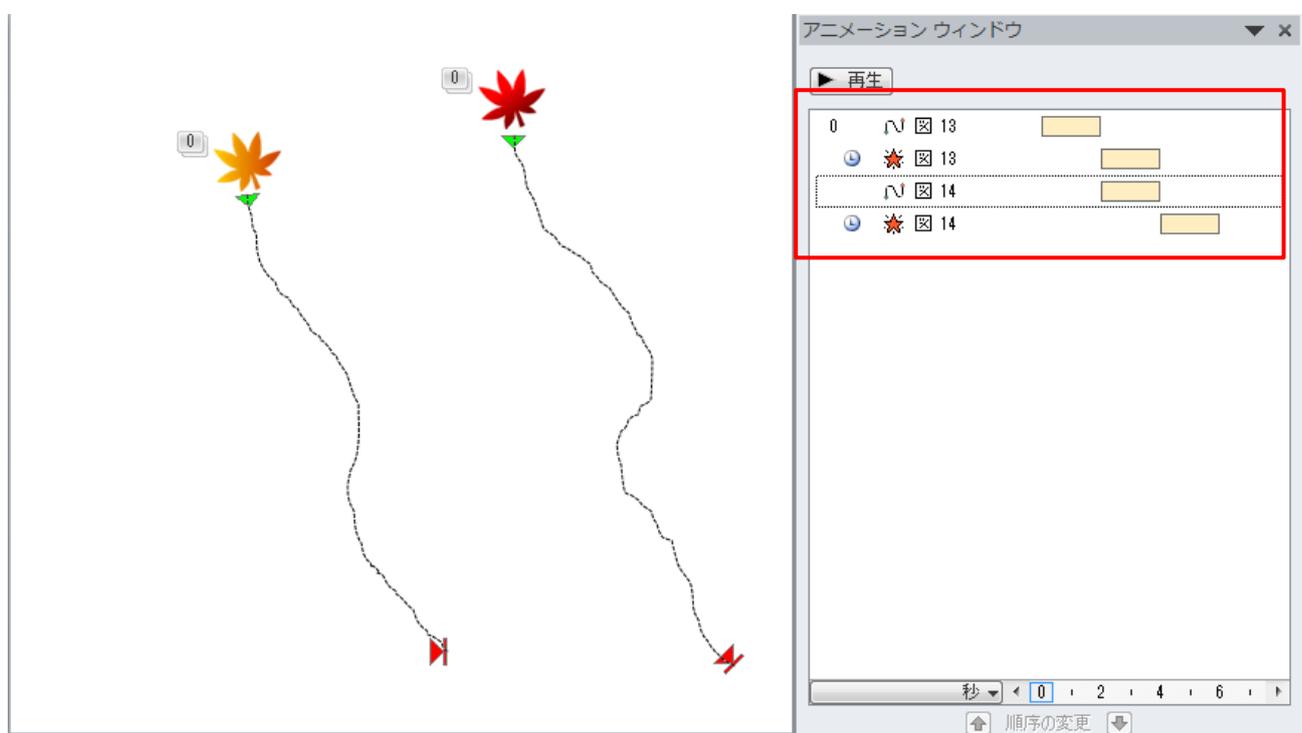
[目次へ戻る](#)

(カ) 前(8)項と同様に2枚目「図 14」について「終了効果の追加」を設定します。

(キ) 「図 13」、「図 14」のアニメーション設定後画面の表示は下図のようになります。

#### 4. アニメーション設定の動作確認

(1) スライドショーを実行して、ユーザ設定のアニメーションが正しく動作するか確認をします。1枚目の紅葉が散ったあとにフェードしながら、2枚目の紅葉が散り始めます。



[目次へ戻る](#)

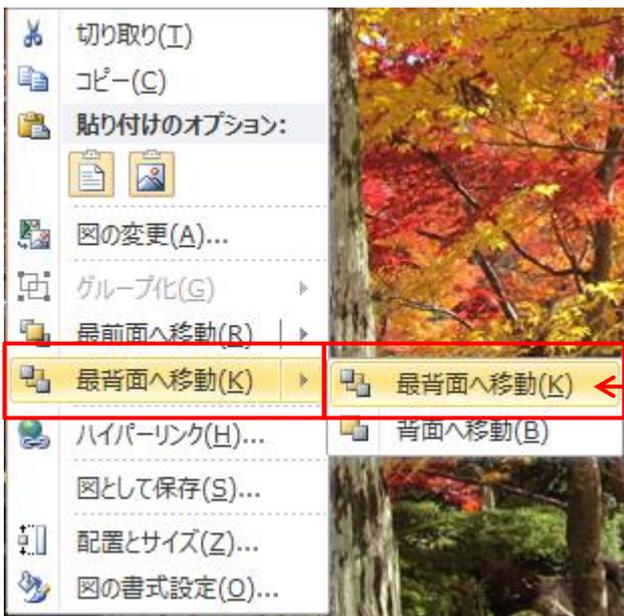
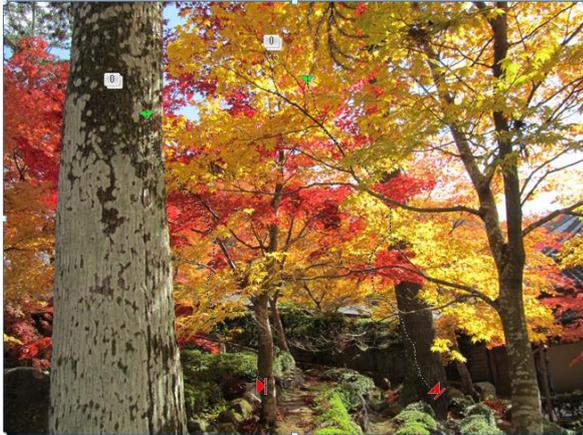
## 5. ユーザ設定アニメーションと図の重ね技法①

- (1) 「挿入」タブから「画像グループの「図」」を選択します。
- (2) 「友愛塾講座用 jpg」フォルダを開き「11 永源寺紅葉」の画像を選択、「挿入」ボタンをクリックします。
- (3) 「永源寺紅葉」の画像がスライドに挿入されます。



[目次へ戻る](#)

- (4) 挿入された画像を選択し**右クリック**します。
- (5) 「最背面へ移動」から「**最背面へ移動**」を選択しクリックします。  
先に挿入した「紅葉」が画像の全面に表示されます。



(メモ)

[目次へ戻る](#)

(6) 表示された「紅葉」の画像が、背景の画像に溶け込むように位置の調整をおこないます。

位置の調整前



位置の調整後



## 6. スライドに BGM の挿入

挿入 デザイン

中間省略

オーディオ

ファイルからオーディオ(E)...

クリップ アートのオーディオ(C)...

オーディオの録音(R)...

Microsoft PowerPoint

お気に入り

ライブラリ

ドキュメント

ピクチャ

ビデオ

ミュージック

ホームグループ

ミュージック ライブラリ

フリー-BGM (MIDI) Music with myuu ...

名前

ヨハンシュトラウス一世「ラデッキー行進曲」 radetzky

ラング「花の歌」 hananouta

讃美歌「きよしこのよる」 kiyosi

讃美歌「諸人こそりて」 morobito

日本古謡「さくらさくら」 sakura

日本古謡「仰げば尊し」 aogeba

日本民謡「ふるさと」 furucato

日本民謡「もみじ」 momiji

日本民謡「海」 umi

ファイル名(N): 日本民謡「もみじ」 momiji

オーディオ ファイル

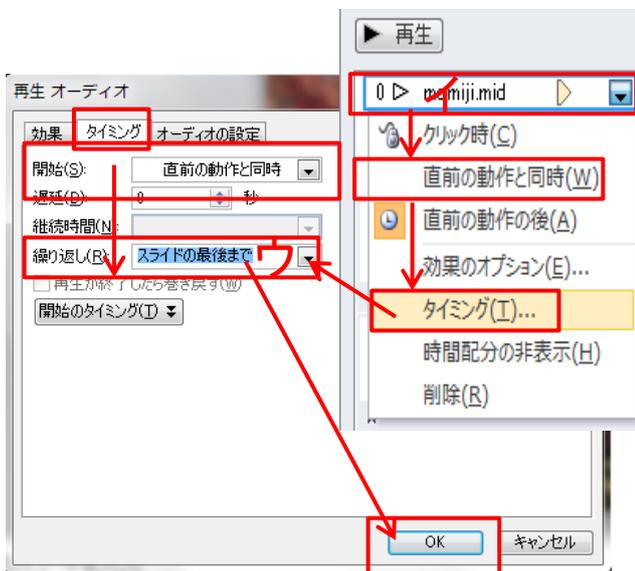
ツール(L) 挿入(S) キャンセル

[目次へ戻る](#)

- (1) 「挿入」タブから「オーディオ」の「ファイルからオーディオ」をクリックします。
- (2) ミュージックライブラリーから日本民謡「もみじ」momiji を選択し「挿入」ボタンをクリックします。BGM がスライドに挿入されます。



(ア) 「スピーカー」アイコンにマウスカーソルをあわせると「再生ボタン」が表示されます。再生ボタンを押して BGM を確認します。



(イ) アニメーションウインドウの「momiji.mid」上で右クリック、「直前の動作と同時」を選択、次に「タイミング」をクリックします。

(ウ) 再生オーディオのダイアログボックスからタイミングの「繰り返し」を「スライドの最後まで」を選択し、OK ボタンをクリックします。

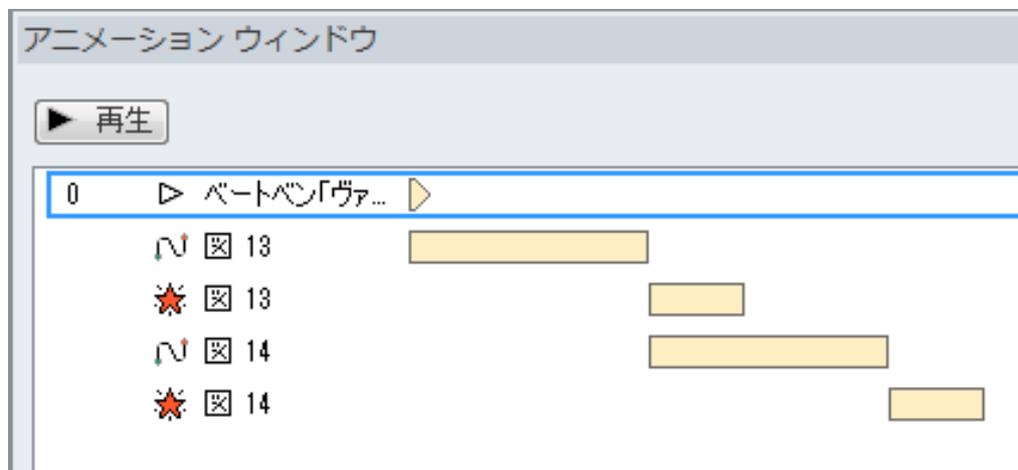
(エ) 「オーディオツール」タブ再生のオーディオオプションにある「スライドショーを実行中にサウンドのアイコンを隠す」のにチェックを入れます。チェックを入れることでスライド実行中にサウンドの「スピーカー」アイコンを隠すことができます。



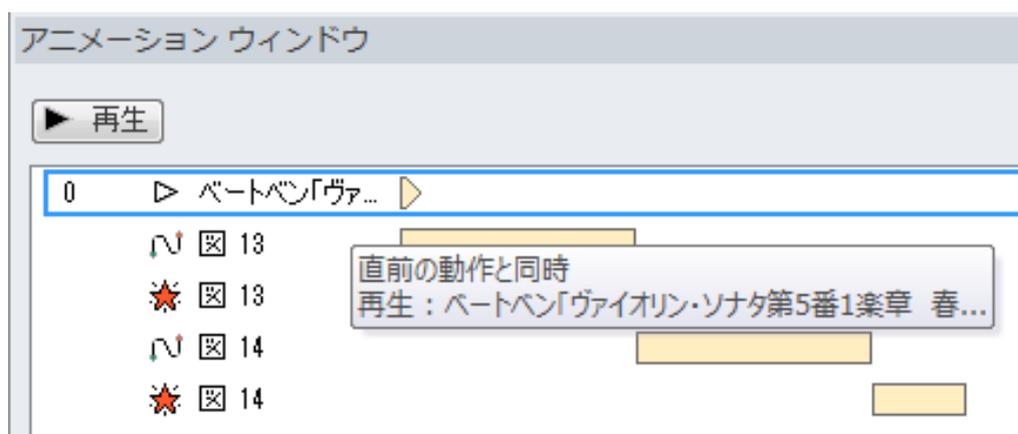
[目次へ戻る](#)

- (3) BGM 挿入後のアニメーションウィンドウのタイムライン
- (ア) 「図 13」と「図 14」の開始(クリック時・直前の動作と同時・直前の動作の後)とタイミング(継続時間)の関係をすることで、複数のアニメーションを組み合わせた楽しいオリジナル作品を作ることができます。
- (イ) 1枚目の「終わり」と2枚目の「開始」のタイミングを正しく設定することがポイントです。(複数枚の場合も同様です。)

### ① 全体のタイムライン

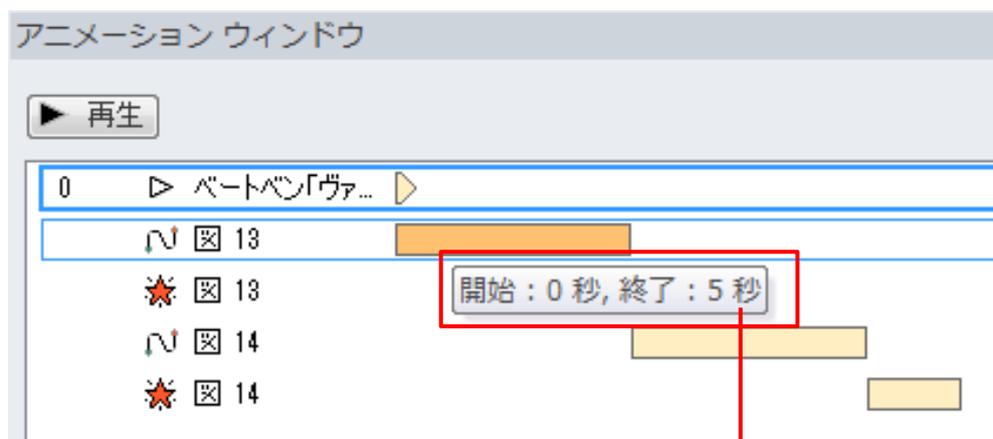


### ② 「BGM」のタイムライン詳細

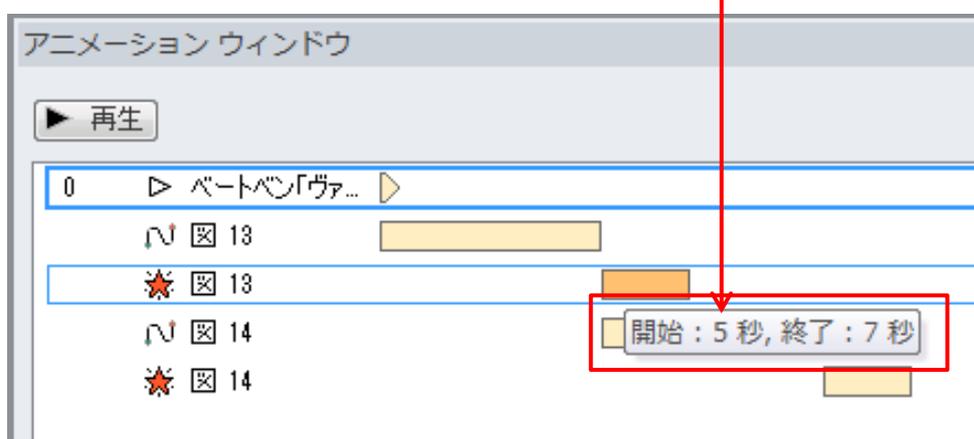


[目次へ戻る](#)

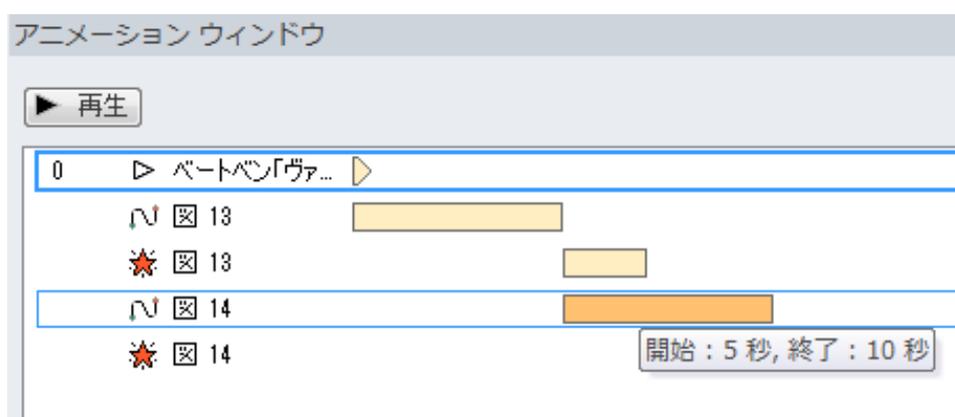
③ 「図 13」のタイムライン詳細



(エ) 「図 13」終了のタイムライン詳細



(オ) 「図 14」のタイムライン詳細



[目次へ戻る](#)

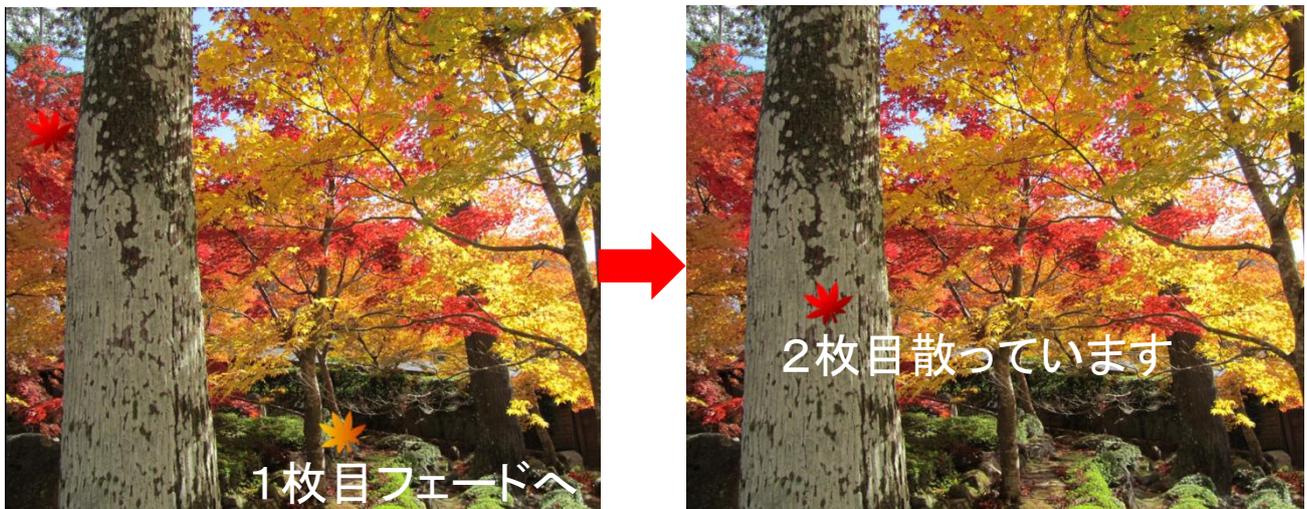
(カ) 「図 14」終了のタイムライン詳細



## 7. スライドショーの実行

(1) スライドショーを実行して、画像に溶け込んでいる紅葉のアニメーションが正しくに動作するかを確認します。1枚目の紅葉が散ったあとにフェードしながら、2枚目の紅葉が散り始めます。

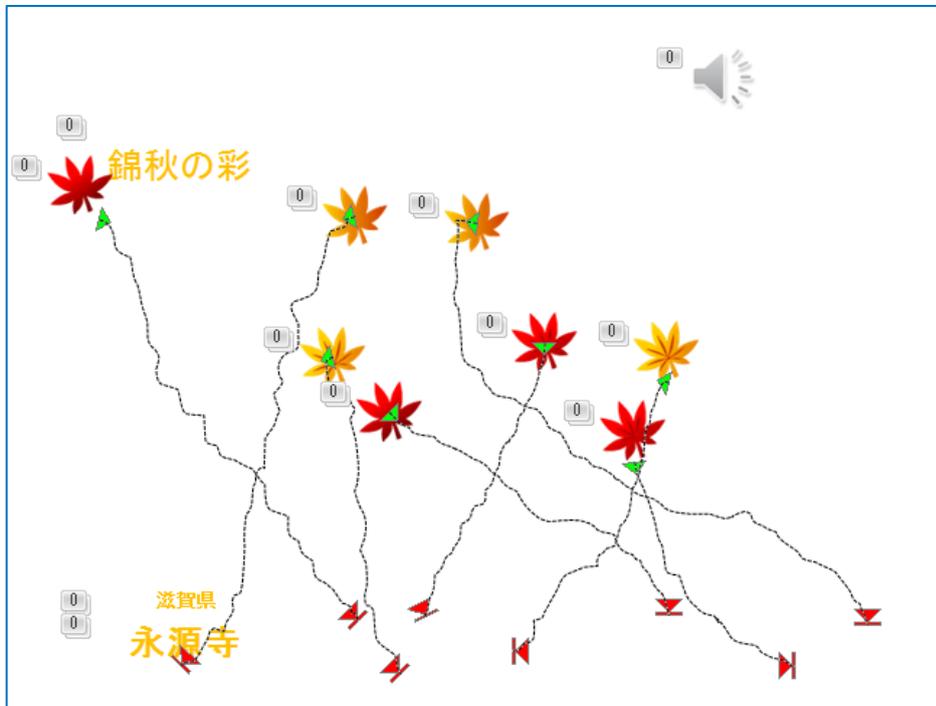
(スライドショーのイメージ画像)



[目次へ戻る](#)

## 8. ユーザ設定アニメーションと図の重ね技法②

(1) 「紅葉」複数枚(紅葉8枚の例)のアニメーションと「画像」の重ねイメージ

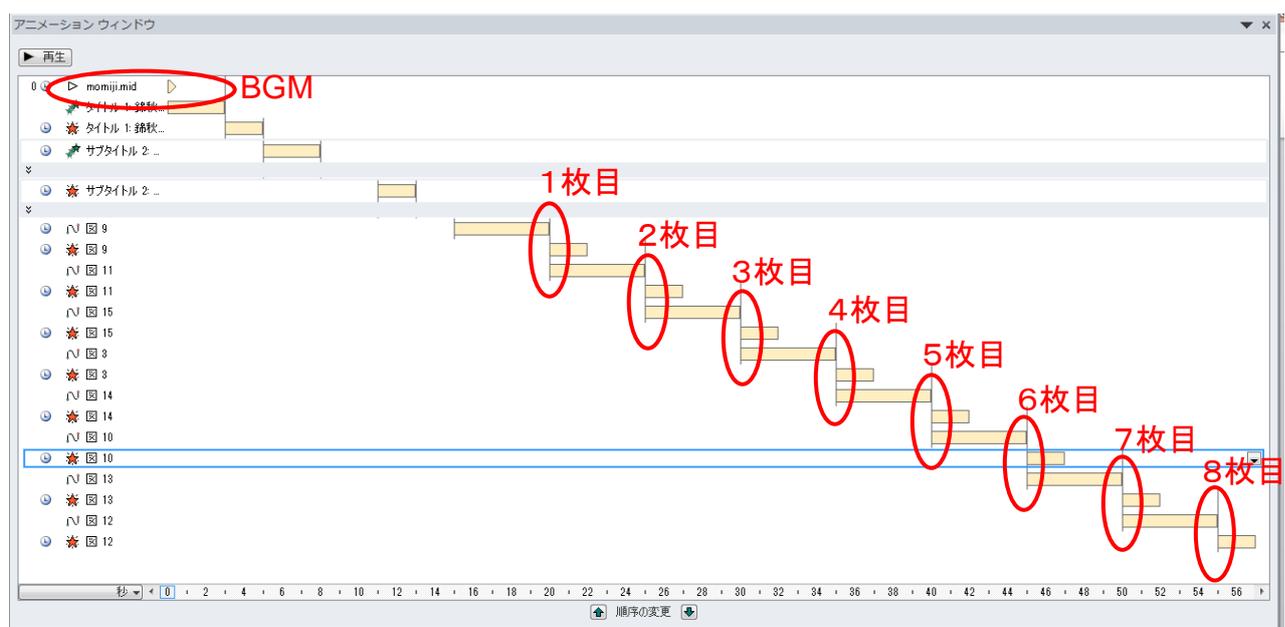


[目次へ戻る](#)

(2) 「紅葉」複数枚のアニメーションと「画像」の重ね合わせ後のイメージ



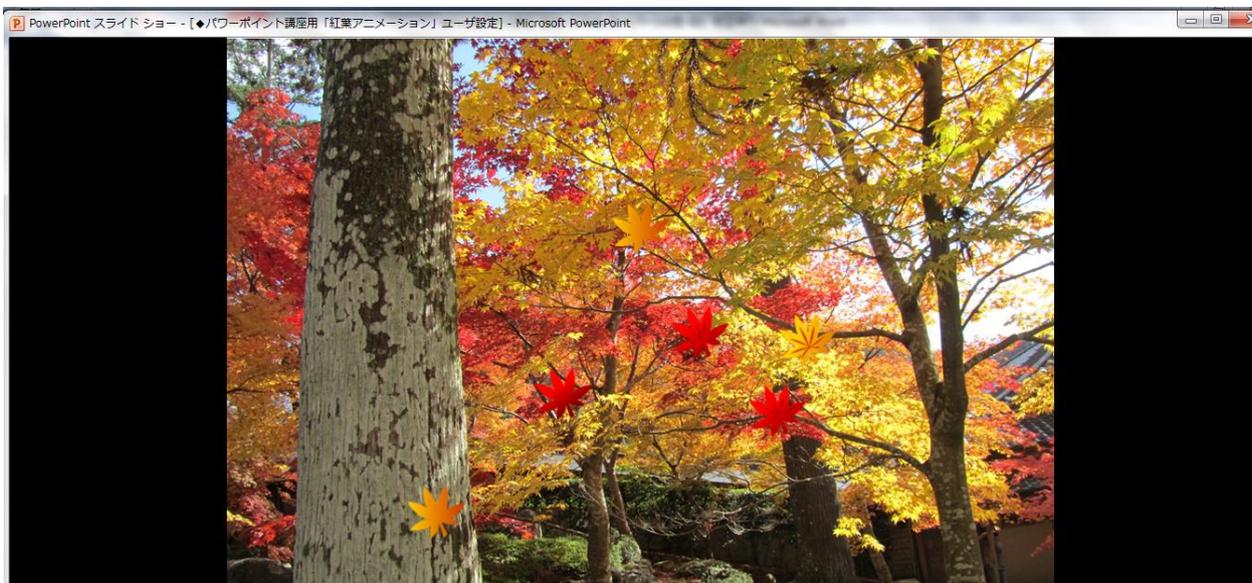
(3) 「紅葉」複数枚のアニメーションと「BGM」のタイムライン



[目次へ戻る](#)

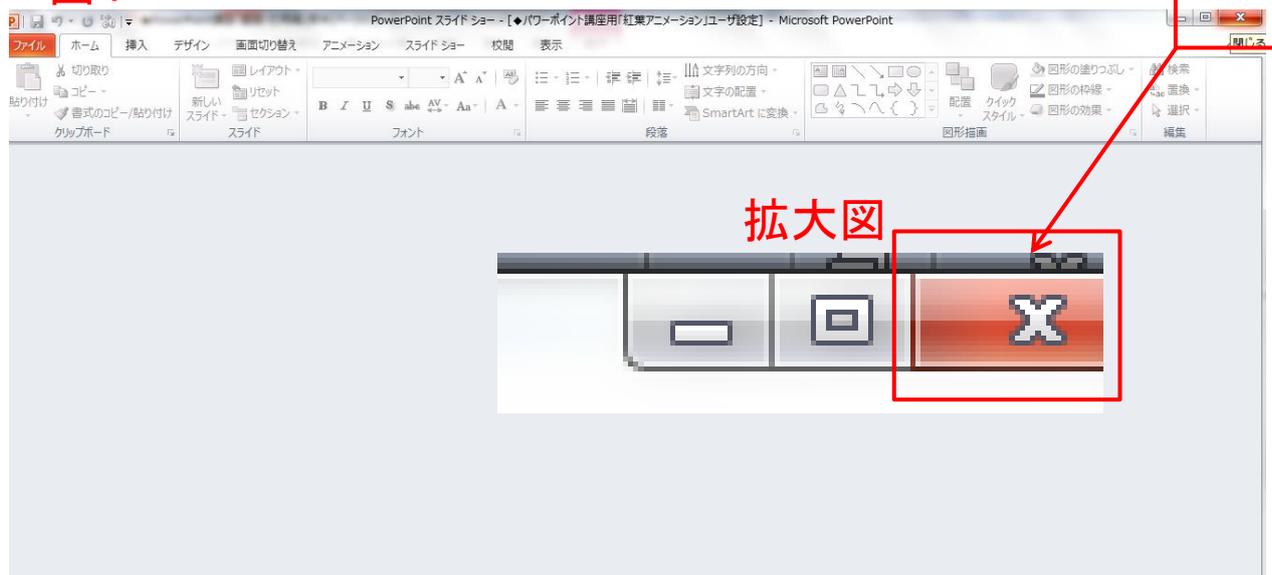
(4) ユーザ設定アニメーション「サンプルスライドショー」  
別添ファイル、サンプル「スライドショー(ppsx)」参照。

①スライドショーが開始します。



②スライドショーを終了するときには「Esc」キーを押します。画面が「図1」のように変わります。つぎに画面右上の「」をクリックして閉じます。

図1



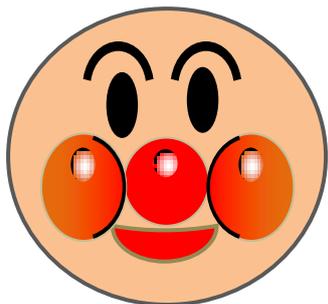
[表紙へ戻る](#)

[目次へ戻る](#)

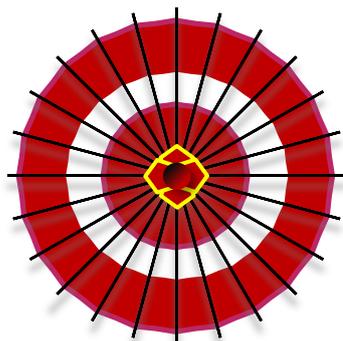
(メモ)

☆アプリケーションソフト「Word」、「Excel」、「PowerPoint」でこんなこともできます。学んで、作って、見て、楽しめる「新しい作品づくり」にチャレンジしましょう。

～作品例～



Word 図形で描画した「アンパンマン」



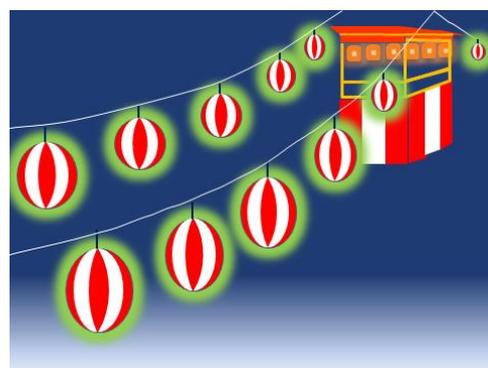
Word 図形で描画した「和傘」



Word 図形で描画した「和菓子」



Word 図形で描画した祭り「裃纏」



Word 図形で描画した夏祭り「提灯」

パワーポイント講座  
基礎編  
電子テキスト(PDF 版)

2013 年 12 月 初版  
2014 年 2 月 改定版  
編著者 Sakura

